Panasonic

取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

Mini DV NTSC

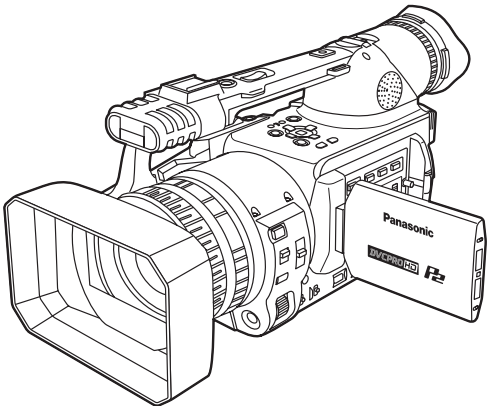
品番　AG-HVX200

DVCPRO HD

DVCPRO 50

DVCPRO

DV



SD™

このたびは AG-HVX200 をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（6 ～ 12 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

F1205S2016 -H D
Printed in Japan

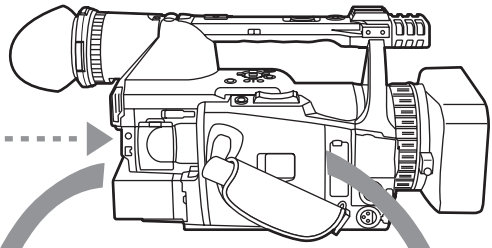
JAPANESE
VQT0S51-2

本機の使いかた

本機では、P2（Professional Plug-in）カードまたは DV テープで記録することができます。
大容量で転送速度にすぐれた P2 カードは、HD（ハイビジョン）記録を始めとして、スムーズな編集やダビングが行えますので、ハンディカメラながら高度な映像作りを行うことができます。

本機での撮影、再生、保存

SD メモリーカードに、ユーザーファイルなどの設定数値を保存、読み出しできます。



① P2 カード への撮影と再生 (➔ 28 、73 ページ)

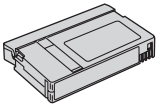
P2 カード

- **HD（ハイビジョン）記録**
- **マルチフォーマット記録**
- **バリアブルフレームレート**
  スロー＆クイックモーション記録
- **最大4 CH の非圧縮デジタルオーディオ記録**
- **DV 記録（480i)**

などができます。

② テープへの撮影と再生 (➔ 31、73 ページ)

DV テープ



- **DV 記録（480i)**
- **P2 カードからのダビングモード記録**

などができます。

③ ダビングモード (➔ 86 ページ)

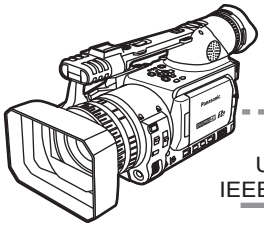
ダビングモードは　P2 カードに HD 記録（1080i ,720P）したコンテンツを DV フォーマット（480i）にダウンコンバートしてテープに記録する機能です。DV テープにスロー＆クイックモーション効果のコンテンツを記録できます。
映像のバックアップや AV 機器などで映像を確認する時に便利です。

- P2 カードと DV テープへの同時撮影はできません
- DV テープへの HD（ハイビジョン）記録はできません。

外部機器を使った編集、保存

④ PC モード (→ 83 ページ)

パソコンなどでノンリニア編集を行うためのデータ（ファイル）転送をします。



P2カード

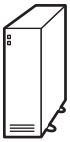
パソコン

USB2.0 (Windows)
IEEE1394 (Macintosh)

⑤ 1394 ホスト モード (→ 84 ページ)

本機が直接外部ハードディスクをコントロールして、データ転送します。

外付ハードディスク

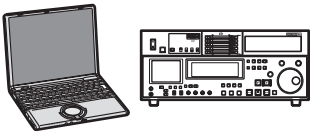


IEEE1394 (SBP-2*)

DVテープ

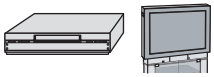
IEEE1394
(Windows/Macintosh)

パソコン/
メモリーカードレコーダー



コンテンツをストリーム転送します。
(デジタルダビング)

ビデオ機器/テレビ



AVケーブル

コンポーネント
ビデオケーブル

*Serial Bus Protocol-2

もくじ

本機の使いかた 2

はじめに

安全上のご注意 6
まずお読みください 13
付属品 14
本書の見かた 14

各部の名称

各部の名称 15
- 右面、後面 15
- 左面 16
- 端子部、取り付け部 17
- リモコン 18

準備

バッテリーの充電 19
- 充電する 19

電源の取り付け・取り外し 20
- バッテリーの取り付け・取り外し 20
- 電源コードの取り付け・取り外し 20

グリップベルトの調節 21
ショルダーベルトの取り付け 21
レンズフードの取り外し・取り付け 21
リモコンの準備 22
- コイン電池を入れる 22
- リモコンの設定 22

電源の入れかた・切りかた 23
タリーランプについて 23
ファインダーの使いかた 24
- ビューファインダーを使う 24
- 液晶モニターを使う 25
- 映像の輪郭を強調する 25
- 画面表示を調整する 26

カレンダーを合わせる 27

撮影

撮影の基本操作（P2 カード） 28
- P2 カードへの撮影準備 28
- オートモードで撮影する 28
- 撮影した映像を確認する（REC CHECK） 28
- P2 カードアクセスランプについて 29
- P2 カードの保護について 29
- P2 カードのフォーマット 29
- P2 カードの記録時間について 30
- P2 カードを取り出す 30

撮影の基本操作（DV テープ） 31
- テープの撮影準備 31
- オートモードで撮影する 31
- 撮影した映像を確認する（REC CHECK） 32
- テープを取り出す 32
- テープについて 32

SD メモリーカードを使う 33
- SD メモリーカードの取り付け・取り出し 33
- SD メモリーカードのフォーマット 33
- SD メモリーカード使用上の注意 33

ズーム機能を使う 34
バリアブルフレームレート（VFR） 35
- ネイティブ記録 36
- スタンダード記録 36
- バリアブルフレームレート（VFR）の活用 37

1080i/480i のプログレッシブモードで撮影する 38
マニュアルモードで撮影する 39
- マニュアルモードに切り替える 39
- ピントを合わせる（マニュアルフォーカス） 39
- フォーカスアシストを使う 39
- 絞りを調整する 40
- ゲインを調整する 40
- 光量調節 40
- ホワイトバランスを調整する 41

便利な撮影機能を使う 43
- ローアングル撮影 43
- 対面撮影 43
- ゼブラパターン 44
- マーカー 44
- 撮影状態の確認と表示 45
- 映像サイズを変える 45
- 手ぶれ補正機能 46
- 映像に効果を加える 46
- USER ボタンの活用 46
- 逆光補正 46
- カラーバー 46
- 撮影時の音量調整 47
- バックアップ記録 47
- プリレック (PRE REC) 48
- インターバル記録 (INTERVAL REC) 48
- ワンショット記録 (ONE-SHOT REC) 48
- ループレック (LOOP REC) 49
- 2 スロット連続記録 49
- ショットマーク機能 49
- テキストメモ記録 49
- 撮影した場面を探す（イメージサーチ） 50
- インデックス記録 50

シャッタースピードを調整する 51
- シンクロスキャン 52

入力音声を切り替える 53
- 内蔵マイクを使う 53
- 外部マイクやオーディオ機器を使う 53
- 音声の記録レベルを調整する 54

撮影用の設定を使い分ける（シーンファイル） 55
- シーンファイルの設定変更 55

SD メモリーカードにシーンファイルなどを保存する 57

クリップメタデータについて 58
カウンターを利用する 59
カウンター表示（P2 カード / テープ） 59
メモリーストップモード（テープ） 59
1394TC プリセットモード 59
内蔵電池の充電 / タイムデータを設定する ..60
内蔵電池の充電 60
タイムコードを設定する 60
タイムコードを指定する
（TC PRESET 項目） 60
ユーザーズビットを設定する 62

再生

再生の基本操作（P2 カード） 64
再生の基本操作（テープ） 65
サムネール画面について 66
サムネール画面の基本操作 66
クリップにショットマークを付ける 67
サムネール画面を解除する 67
ダイレクト撮影機能について 67
サムネールの操作 68
サムネールの表示方法を選ぶ
（THUMBNAIL） 68
クリップの消去やカードのフォーマットなどを行う
（OPERATION） 69
クリップやカードの情報を確認する
（PROPERTY） 70
メタデータのアップロードなどを行う
（META DATA） 72
再生に便利な機能 73
可変速サーチ（P2 カード / テープ） 73
スロー再生（P2 カード / テープ） 73
早送り / 早戻し再生（P2 カード） 73
早送り / 巻き戻し再生（テープ） 73
コマ送り再生（P2 カード / テープ） 74
クリップ送り / 戻し（P2 カード） 74
エンドサーチ（テープ） 74
インデックスサーチ（テープ） 75
音量を調整する（P2 カード / テープ） 75
テレビに接続して見る（P2 カード / テープ） 75
撮影日時を確認する（P2 カード / テープ） 76

編集

外部機器を接続する 77
ヘッドホン 77
外部マイク 77
パソコン（ノンリニア編集 / ファイル転送） . 78
ハードディスク（データコピー） 78
デジタルビデオ（ダビング） 79
ビデオデッキ（ダビング） 80
テレビ / モニター（再生 / ダビング） 80
アフレコをする 81
P2 カードのノンリニア編集をする
（PC モード） 83
P2 カードから HDD にコピーする
（1394 ホストモード） 84
警告表示 85
ダビングをする 86
P2 カードの内容をテープにダビングする
（ダビングモード） 86
デジタル入出力（P2 カード / テープ） 88
アナログ出力（P2 カード / テープ） 88
アナログ入力（テープ） 89

表示

画面の表示 90
通常の表示 90
警告表示 93
画面表示内容の選択 94

メニュー

設定メニューの基本操作 95
設定メニューの操作方法 95
設定メニューを初期化する 96
設定メニューの構成 97
カメラ（CAMERA）モードのメニュー 97
MCR/VCR（再生）モードのメニュー 98
ダビングモードのメニュー 98
設定メニュー一覧 99
SCENE FILE 画面 99
CAMERA SETUP 画面 101
SW MODE 画面 102
AUTO SW 画面 104
RECORDING SETUP 画面 105
PLAYBACK FUNCTIONS 画面 108
DUBBING SETUP 画面 109
AV IN/OUT SETUP 画面 109
DISPLAY SETUP 画面 110
CARD FUNCTIONS 画面 112
OTHER FUNCTIONS 画面 112
OPTION MENU 画面 115

ご参考

故障？と思ったら（Q&A） 116
使用上のご注意 120
本機搭載ドライバーのアップデート 122
システムリセット 123
お手入れについて 123
ビデオヘッド 124
結露 124
保管上のお願い 125
本製品に関するソフトウェア情報 126
記録フォーマット一覧 127
保証とアフターサービス
（よくお読みください） 128
修理を依頼されるとき 128
定格 129

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（＋・－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては 120 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

バッテリーパックは、本機専用の AC アダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 警告

不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電につながります。

電源コードや接続コードが破損するようなことはしない

傷を付けたり、加工したりしないでください。高温部や熱器具に近づけないでください。無理に曲げたり、ねじったりしないでください。引っ張ったり、束ねたりしないでください。ケーブルの上に重いものを載せないでください。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する

本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機が濡れたり、水などの液体や異物が入らないようにする

火災や感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因になります。
また、使用機器を損傷することがあります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

指定のカバー以外は外さない

火災や感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

表示された電源電圧以外は使用しない

火災や感電の原因になります。

コンセントや配線機器の定格を超えて使用しない

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

火災や感電の原因になります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、AC アダプターの電源（プラグ）を抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

異常が発生したときは使用を中止し、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す

本機から煙が出たり、変な臭いや音がしたり、内部に異物が入ったりしたまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

異常が発生したときは使用を中止し、AC アダプターの電源（プラグ）を抜く

本機から煙が出たり、変な臭いや音がしたり、内部に異物が入ったりしたまま使用するとショートして、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

コイン電池やメモリーカードは乳幼児の手に届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的に取る

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

⚠ 注意

カセットテープ挿入口に、指をはさまれないように注意する

けがの原因になります。

指に注意

油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない

火災や感電の原因になります。

禁　止

風通しの悪い状態で使用しない

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

禁　止

- 押し入れや本箱など狭いところに入れないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- 通風孔やファンがある場合は、ふさがない様にしてください。
- 横倒し、逆さまにしないでください。

プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

禁　止

- 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。

⚠ 注意

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因になります。

長時間使用しないときは、バッテリーを外す

火災の原因になります。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

- 落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。
- 重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品破損の原因となり、破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災の原因になります。

使用時は、安定した場所と、充分な体勢を確保する

けがや事故の原因になります。

不安定な場所で、三脚を使わない

倒れると、けがの原因になります。

コードやショルダーベルトを下にたらさない

触れたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがの原因になります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

⚠ 注意

お手入れの際は、AC アダプターの電源（プラグ）を抜く

電源プラグを抜く

火災や感電の原因になります。

お手入れの際は、POWER スイッチを切り、バッテリーを外す

火災や感電の原因になります。

1 年に 1 度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする

本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になります。

異常や故障が発生した際に、すぐに電源プラグが抜けるようにする

放置すると、火災や感電の原因になります。

- 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。

コイン電池の端子部（＋・－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

禁　止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

コイン電池は、極性（＋・－）を正しくつなぐ

破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染の原因になります。

コイン電池は、指定の品番のものと交換する

指定外の電池と交換すると、破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲の汚染の原因になります。

- バックアップ電池の交換は、販売店またはサービス店にご依頼ください。

まずお読みください

ためし撮りをしましょう
- 大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前にためし撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

必ずカレンダー、タイムゾーンの確認・設定を行いましょう
- 記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。（➔ 27 ページ）

録画内容の補償はできません
- 本機および P2 カードやテープの使用中、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について
- あなたがカメラで録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

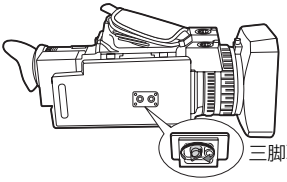
レーザー光線についてのご注意
- レーザー光線が CCD に照射されると、CCD を破損するおそれがあります。レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分ご注意ください。

DV(IEEE1394) ケーブルで接続する時のご注意
- Windows：
  本機の電源を切り、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。
- Apple Macintosh：
  Macintosh の電源を入れた後、端子の形状と向きをご確認の上、接続してください。

（➔ 78、79 ページ）

本機で使えるメディアについて
以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。
- P2 カード（➔ 30 ページ）
- デジタルビデオカセットテープ （➔ 32 ページ）
- SD メモリーカード （➔ 33 ページ）

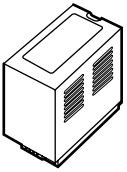
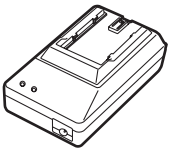
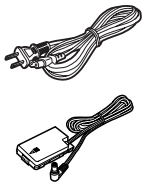
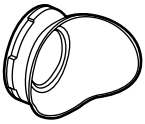
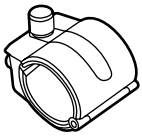
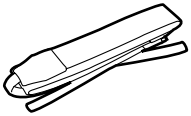
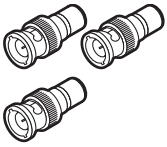
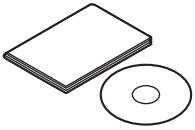
三脚の取り付けについて
三脚取り付け穴の深さは、5.5 mm です。本機を三脚に取り付ける時は、三脚のネジを無理に締め付けないでください。また、1/4-20UNC タイプ以外のネジを使用すると、本機が破損する場合があります。



三脚取り付け穴に三脚を取り付ける。

その他の使用上の注意については 120 ページをご覧ください。

付属品

バッテリー※1 	AC アダプター 	AC コード /DC コード 	ワイヤレスリモコン リモコン用ボタン電池 (CR2025)
アイキャップ 	マイクホルダー 	マイクホルダー用ネジ 長さ 6 mm（2 個） 長さ 12 mm（2 個） 	マイクホルダーアダプター
ショルダーベルト 	コンポーネント映像ケーブル 	ピン -BNC 変換プラグ（3個） 	フェライトコア※2
印刷物 /CD 等一式 			

その他、レンズフードキャップ（➔ 21 ページ）や INPUT 1/2 端子（➔ 17 ページ）のキャップは本体に取り付けられています。

※1：「バッテリー」の品番につきましては、【別売周辺機器】の項目（➔ 130 ページ）を参照してください。

※2：1394 ケーブル（別売）を使う時、パソコン側の端部に取り付けます。（➔ 79 ページ）

本書の見かた

本書内のイラストについて

• カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

• 本書では、参照ページを（➔ 91 ページ）のように示しています。

アイコンについて

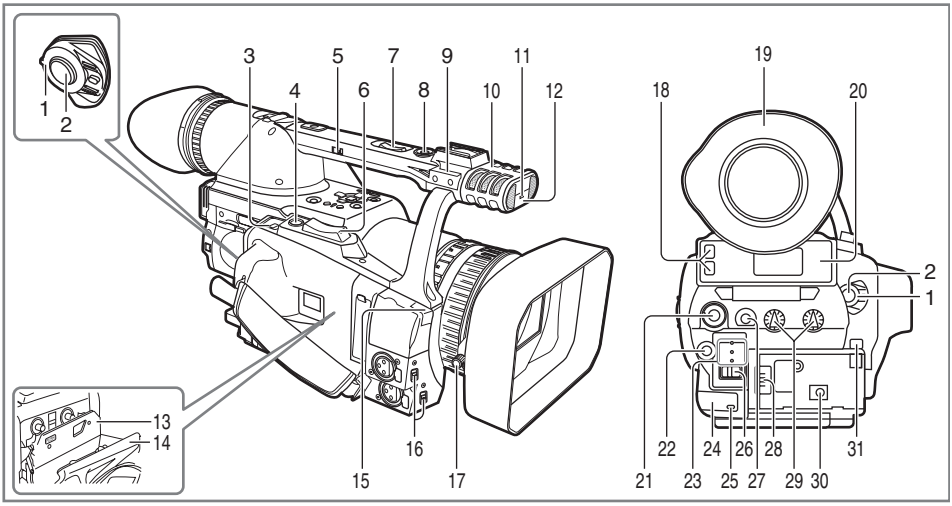
• 使用するメディアによる固有の説明は、以下のアイコンで区別しています。

P2 : P2 カード使用時のみの説明です。

TAPE : テープ使用時のみの説明です。

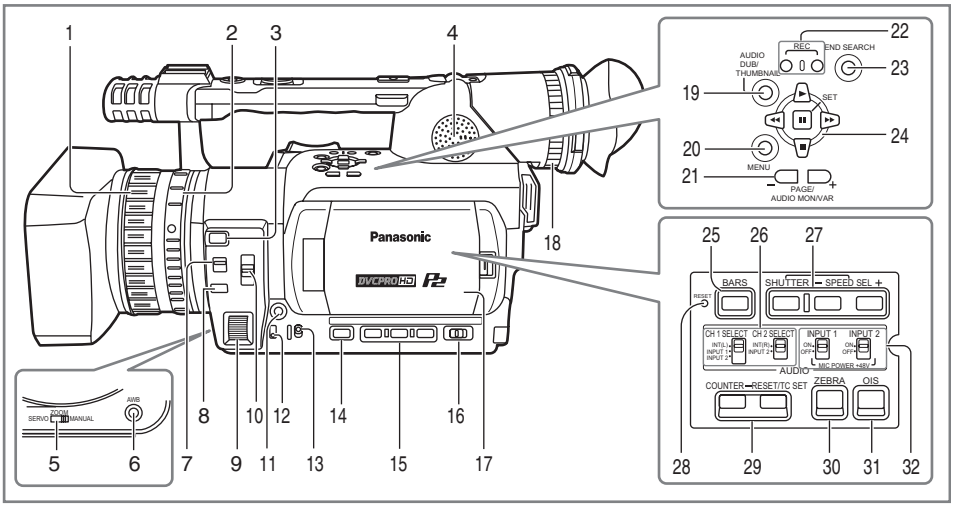
各部の名前

右面、後面



1 POWER スイッチ (➔ 23 ページ)
2 START/STOP ボタン (➔ 28、31 ページ)
3 OPEN/EJECT スイッチ (➔ 31 ページ)
4 REC CHECK ボタン (➔ 28、32 ページ)
5 HANDLE ZOOM スイッチ (➔ 34 ページ)
6 ズームボタン (➔ 34 ページ)
7 ズームボタン（ハンドル側）(➔ 34 ページ)
8 START/STOP ボタン（ハンドル側）
(➔ 28、31 ページ)
9 ピンホルダー（ズームリングピン用）
(➔ 16 ページの 2)
10 マイクロホン（内蔵、ステレオ）
(➔ 53 ページ)
11 タリーランプ（フロント）(➔ 23 ページ)
12 リモコンセンサー（フロント）
13 カセットホルダー (➔ 31、32 ページ)
14 カセットカバー (➔ 31、32 ページ)
15 ホワイトバランスセンサー (➔ 41 ページ)
16 INPUT 1/2（音声入力切替）スイッチ
(➔ 53 ページ)
17 レンズフード固定ネジ (➔ 21 ページ)
18 P2 カードアクセスランプ（x 2）
(➔ 29 ページ)
19 ビューファインダー (➔ 24 ページ)
20 P2 カードスロット（カバー）
(➔ 28 ページ)
21 SCENE FILE ダイヤル (➔ 55 ページ)
22 動作モードボタン (➔ 28、31 ページ)
23 動作ランプ (➔ 28、31 ページ)
24 リモコンセンサー（リア）
25 タリーランプ（リア）(➔ 23 ページ)
26 MEDIA（P2/TAPE）スイッチ
(➔ 28、31 ページ)
27 EVF DTL ボタン (➔ 25 ページ)
28 電源端子 (➔ 20 ページ)
29 AUDIO コントロールつまみ (CH1, CH2)
(➔ 54 ページ)
30 DC INPUT 端子（7.9V）
31 バッテリー取り外しボタン (➔ 20 ページ)

左面



1 フォーカスリング（➔ 39 ページ）

2 ズームリング（➔ 34 ページ）
ズームリングのピンが不要な場合、ピンホルダー（➔15 ページの 9）に取り付け、紛失しないようにしてください。

3 FOCUS ASSIST ボタン（➔ 39 ページ）

4 内蔵スピーカー（➔ 75 ページ）

5 ZOOM スイッチ（➔ 34 ページ）

6 AWB ボタン（➔ 41 ページ）

7 FOCUS スイッチ（➔ 39 ページ）

8 PUSH AUTO ボタン（➔ 39 ページ）

9 IRIS ダイヤル（➔ 40 ページ）

10 ND FILTER スイッチ（➔ 40 ページ）

11 IRIS ボタン（➔ 40 ページ）

12 GAIN スイッチ（➔ 40 ページ）

13 WHITE BAL スイッチ（➔ 41 ページ）

14 DISP/MODE CHK ボタン（➔ 45 ページ）

15 USER ボタン（➔ 46 ページ）

16 AUTO/MANUAL スイッチ（➔ 28、31 ページ）

17 液晶モニター（➔ 25 ページ）

18 視度調整ダイヤル（➔ 24 ページ）

19 AUDIO DUB/THUMBNAIL ボタン（➔ 67、81 ページ）

20 MENU ボタン（➔ 95 ページ）

21 PAGE、AUDIO MON/VAR ボタン（➔ 47、73 ページ）

22 REC ボタン（➔ 87 ページ）

23 END SEARCH ボタン（➔ 74 ページ）

24 操作ボタン（➔ 95 ページ）

25 BARS ボタン（➔ 46 ページ）

26 CH1、CH2 SELECT スイッチ（➔ 53 ページ）

27 SHUTTER − SPEED SEL ボタン（➔ 51 ページ）

28 RESET ボタン（➔ 123 ページ）

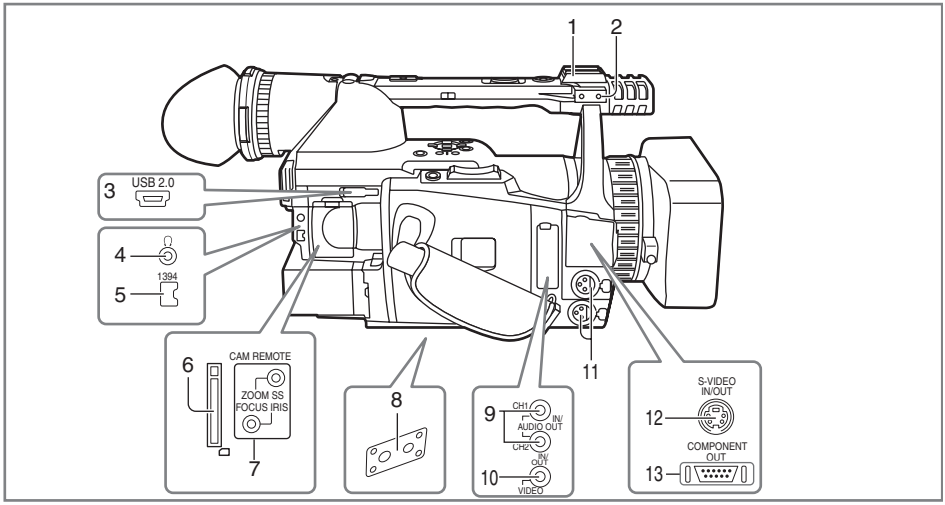
29 COUNTER − RESET/TC SET ボタン（➔ 59 ページ）

30 ZEBRA ボタン（➔ 44 ページ）

31 OIS ボタン（➔ 46 ページ）

32 INPUT1、2 スイッチ（MIC POWER + 48 V）（➔ 53 ページ）

端子部、取り付け部



1 **ライトシュー**

2 **マイクロホンシュー** (➔ 77 ページ)

3 **USB 端子（Mini-B)** (➔ 78、83 ページ)

4 **PHONES ジャック (3.5 mm ステレオミニジャック)** (➔ 77 ページ)

5 **1394 端子** (➔ 78 ページ)

6 **SD メモリーカードスロット** (➔ 33、57 ページ)

7 **CAM REMOTE ジャック ***
FOCUS/IRIS (3.5 mm ミニジャック)
リモコンを接続して、フォーカス（ピント）操作、およびアイリス（絞り）操作をリモート制御できます。
ZOOM S/S（2.5 mm スーパーミニジャック）
リモコンを接続して、ズーム操作と記録スタート / ストップの操作をリモート制御できます。

8 **三脚取り付け穴** (➔ 13 ページ)

9 **AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子** (➔ 80 ページ)

10 **VIDEO IN/OUT 端子** (➔ 80 ページ)

11 **INPUT 1/2 端子（XLR、3 ピン)** (➔ 53、81 ページ)

12 **S-VIDEO IN/OUT 端子** (➔ 80 ページ)

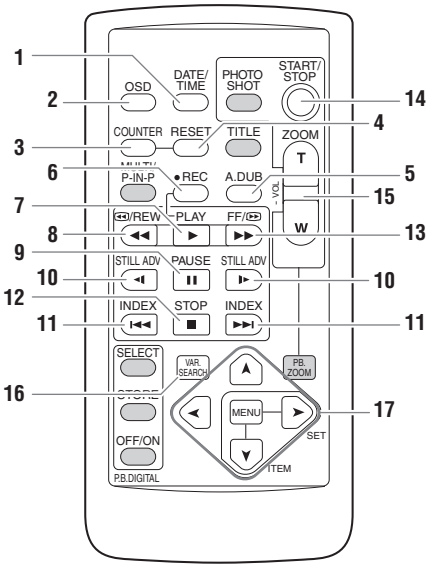
13 **COMPONENT OUT 端子** (➔ 80 ページ)

*CAM REMOTE ジャックにはリモコン以外の機器を接続しないでください。リモコン以外の機器を接続すると、映像の明るさが変化したり、ピントが合わなくなったりすることがあります。

リモコン

下記に示すボタンは本機では動作しない機能のボタンです。ご了承ください。

- PHOTO SHOT
- MULTI/P-IN-P
- STORE
- PB.ZOOM
- TITLE
- SELECT
- OFF/ON



1 **DATE/TIME ボタン** (➔ 76 ページ)

2 **OSD ボタン** (➔ 75 ページ)

3 **COUNTER ボタン** (➔ 59 ページ)
カメラ本体の COUNTER ボタンと同じ働きです。

4 **COUNTER RESET ボタン** (➔ 59 ページ)
カメラ本体の COUNTER RESET ボタンと同じ働きです。

5 **A.DUB ボタン** (➔ 81 ページ)
カメラ本体の AUDIO DUB ボタンと同じ働きです。

6 **REC ボタン** (➔ 87 ページ)

＜VCR 操作ボタン＞

7 **PLAY ボタン（▶）** (➔ 64 ページ)

8 **/REW ボタン（◀◀）** (➔ 64 ページ)

9 **PAUSE ボタン（❚❚）** (➔ 64 ページ)
本体の操作ボタンと同様に、MENU 操作の時は SET ボタンになります。

10 **STILL ADV ボタン（ ◀❚、❚▶ ）**
(➔ 73 ページ)

11 **INDEX ボタン（⏮、⏭）** (➔ 75 ページ)

12 **STOP ボタン（■）** (➔ 64 ページ)

13 **FF/ ボタン（▶▶）** (➔ 64 ページ)

＜撮影操作 / 音量調節部＞

14 **START/STOP ボタン**
本体の START/STOP ボタンと同じ働きです。

15 **ZOOM/VOL ボタン** (➔ 34、75 ページ)

16 **VAR. SEARCH ボタン** (➔ 73 ページ)

17 **MENU ボタン**
カメラ本体の MENU ボタンと同じ働きです。
[◀] [▶] [▲] [▼] ボタン
カメラ本体の◀、▶、▲、▼、ボタンと同じ働きです。

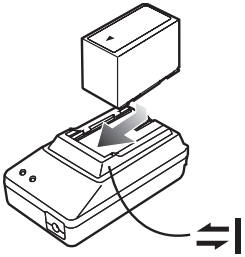
バッテリーの充電

充電する

バッテリーを使用する前に、AC アダプターでフル充電を行ってください。
また、予備のバッテリーを 1 本用意されることをお勧めします。

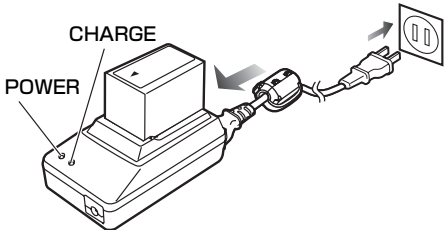
1 **AC アダプターの ⇌| マークにそってバッテリーを水平にのせ、スライドさせる。**

- AC アダプターに DC コードを接続している場合は、取り外しておいてください。接続していますと、充電できません。



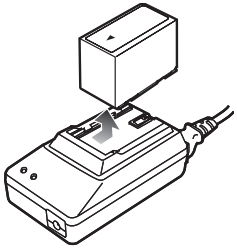
2 **AC コードをコンセントに接続する。**

- AC アダプターの POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
- バッテリーを取り付けた時に CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- 充電が終わると、AC アダプターの CHARGE ランプが消灯します。

3 **バッテリーをスライドさせて取り外す。**



付属のバッテリーの充電時間と録画時間

容量	充電時間	連続録画可能時間
5400 mAh	約 330 分	約 140 分

- 上の表はビューファインダーを使いながら、P2 カードに DVCPRO HD モードで撮影した時の目安です。
- 上の表は、動作周囲温度 20 ℃、動作相対湿度 60% での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くかかることがあります。

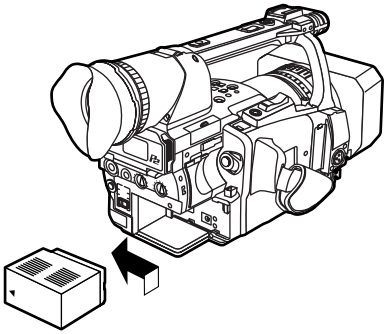
- バッテリーおよびカメラ本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- 必要以上に録画と停止を繰り返すと、録画時間は上の表より短くなります。
- バッテリーは、放電した状態で保管してください。
  長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、カメラで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりする時、もしくは、バッテリーが長期間使用されず放電したままになっている時、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続ける時は、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くかかります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、AC アダプターからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- AC アダプターからカメラ本体に電源を供給している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- 別売バッテリーパック VW-VBD33C（1500mAh）は動作保証いたしません。

電源の取り付け・取り外し

バッテリーの取り付け・取り外し

取り付け

カチッというまで入れる。

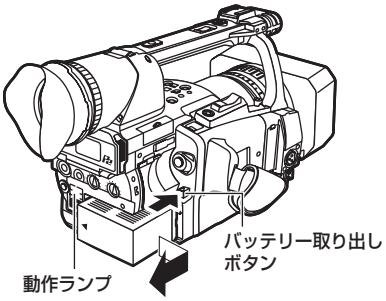


取り外し

1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。

2 バッテリー取り出しボタンを押しながらバッテリーを取り外す。

- バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。



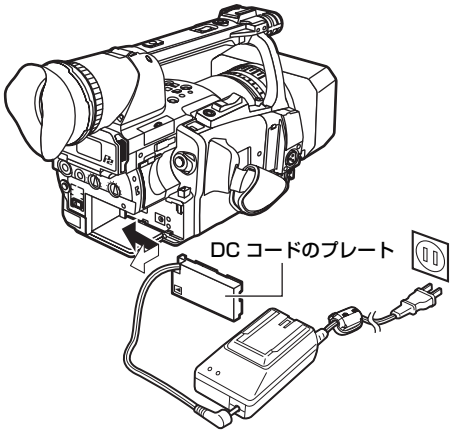
電源コードの取り付け・取り外し

取り付け

1 DC コードを AC アダプターに接続する。

2 AC コードをコンセントに接続する。

3 DC コードのプレートをカチッというまで入れる。



取り外し

1 POWER スイッチを OFF にして、動作ランプが消灯したことを確認する。

2 バッテリー取り出しボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す。

3 AC コードをコンセントから抜く。

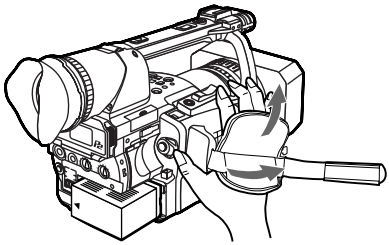
- AC アダプターからカメラ本体に電源を供給している時は、バッテリーの充電を行うことができません。
- AC アダプターは全世界の電源電圧（100 V – 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談の上、お求めください。
- 本機を使用しない時は、AC コードをコンセントから外してください。

グリップベルトの調節

グリップベルトを手の大きさに合わせて調節してください。

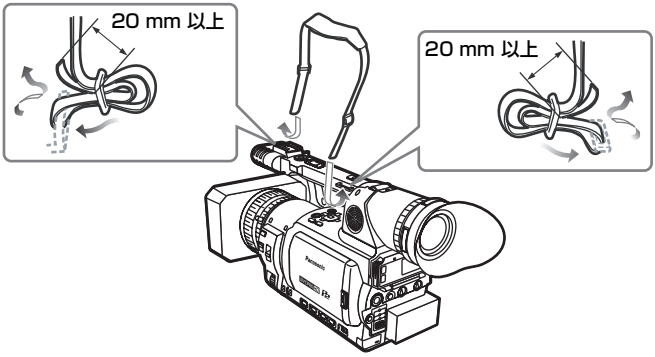
1 **カバーを開き、ベルトの長さを調節する。**

2 **カバーを元に戻す。**
- しっかりとカバーを密着させてください。



ショルダーベルトの取り付け

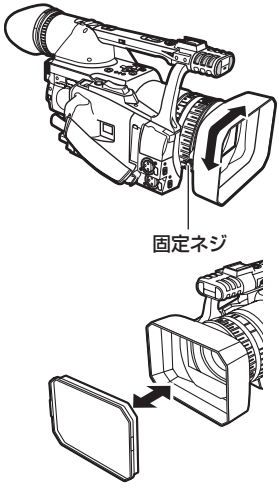
カメラを落とさないように、ショルダーベルトを取り付けることをお勧めします。



レンズフードの取り外し・取り付け

レンズフードを外す
- 固定ネジをゆるめ、反時計方向にレンズフードを回して外します。

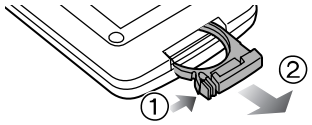
レンズフードを取り付ける
- 時計方向にレンズフードを回して、固定ネジで固定します。
- 使用しない時はレンズを保護するためにレンズフードキャップを取り付けてください。



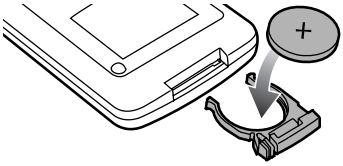
リモコンの準備

コイン電池を入れる

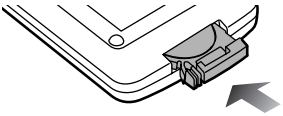
1 **つまみを矢印①の方向に押しながら、ホルダーを引き抜く。**



2 **電池の“+”マークを上に向け、入れる。**



3 **ホルダーを元に戻す。**



- 電池（CR2025）が消耗した場合は、新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です）
  リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、電池が消耗しています。
- **電池は、幼児の手の届かない所に置いてください。**

リモコンの設定

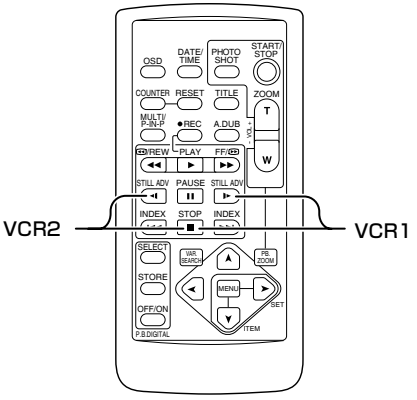
同時に 2 台のカメラを使用した時に、リモコン操作での誤操作を防ぐため、本機と付属のワイヤレスリモコンの設定を、［VCR1］用または［VCR2］用に切り替えることができます。

設定方法

- **ワイヤレスリモコン**
  VCR 操作ボタンの STOP（■）と STILL ADV（▮►）を同時に押すと VCR1 用のリモコンに設定されます。
  同様に、の STOP（■）と STILL ADV（◄▮）を同時に押すと VCR2 用のリモコンに設定されます。
  リモコンの電池を交換した時は、VCR1 用の設定になります。

- **カメラ本体**
  設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の REMOTE 項目で VCR1 と VCR2 を設定します。（➔ 112 ページ）

カメラ本体とリモコンの設定が違う時は、ビューファインダーや液晶モニターに赤い文字の REMOTE が点灯して表示されます。

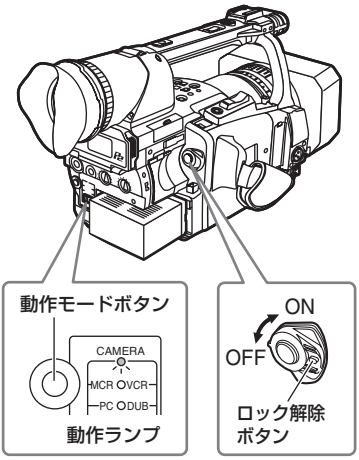


電源の入れかた・切りかた

ロック解除ボタンを押しながら、POWER スイッチを回す。

電源を入れると：
動作ランプ（CAMERA）が赤点灯し（カメラモード）、撮影の一時停止状態になります。

電源を切ると：
動作ランプ（CAMERA）が消灯します。

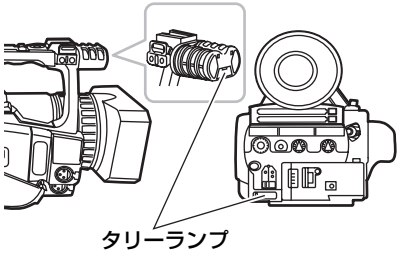


- 省電力モードについて撮影一時停止またはスタンバイ状態で約 5 分間、特定の操作 * がない場合、設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWERSAVE 項目の設定 (➔ 115 ページ）によって次のようになります。
  ON ：自動的に本機の電源を OFF にします。
  OFF：電源を OFF にしません。ただし、TAPE モード時は、シリンダーヘッドのみ停止状態（スタンバイ）にします。
  * 特定の操作については、設定メニュー「POWER SAVE」の項目 (➔ 115 ページ) をご覧ください。
- 動作モードボタンが上から順に点滅し、電源が切れる場合はバッテリーの残量がありません。バッテリーを充電してください。

タリーランプについて

OTHER FUNCTIONS 画面の REC LAMP 項目 (➔ 113 ページ) を ON に設定すると、撮影中にタリーランプを点灯させることができます。
また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが点滅します。

- リモコン操作の受信時（1 秒間に 8 回）
- TAPE モードでの撮影開始時（1 秒間に 8 回）
- テープの終端位置になった時（1 秒間に 4 回）
- テープ走行系の異常が発生した時（1 秒間に 4 回）
- バッテリーの残量がなくなった時（1 秒間に 4 回）
- P2 カードやテープの記録残量、およびバッテリーの残量が少なくなった時（1 秒間に 1 回）
- P2 カードのアクセス中にカードを抜いた時（1 秒間に 4 回）
- P2 カードの記録残量がなくなった時（1 秒間に 4 回）



ファインダーの使いかた

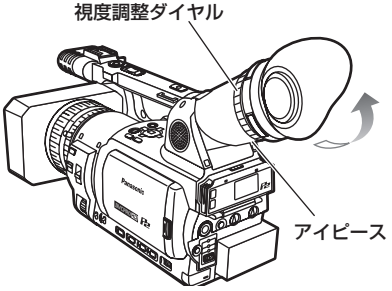
本機のファインダーには、小型の LCD を採用したビューファインダーと、3.5 インチの液晶モニターがあります。
用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。
- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とでは、明るさや色合いが違う場合があります。
  最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

ビューファインダーを使う

1 **本機の POWER スイッチを ON にし、ビューファインダーに映像が映っていることを確認する。**
- 液晶モニターは閉じたままにしてください。

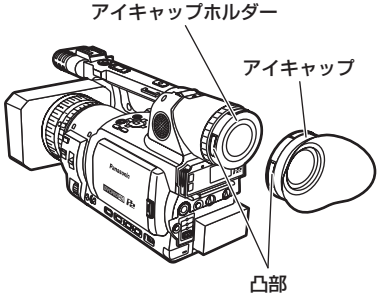
2 **ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にする。**
- ビューファインダーは、約 90° まで垂直に起こすことができます。

3 **視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整する。**



ビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。
内部の部品が破損するおそれがあります。

アイキャップの取り付け
アイキャップホルダーとアイキャップの凸部どうしを合わせて取り付けてください。
- 取り付けた後にアイキャップを回すと、アイキャップホルダーが外れることがあります。
  アイキャップホルダーが外れた時は、「ビューファインダーのお手入れ」（➔ 123 ページ）を参照して取り付けてください。

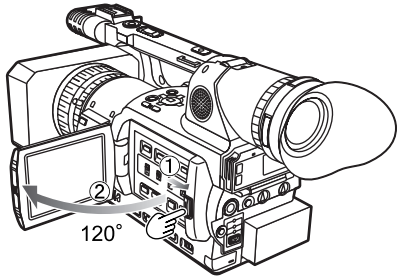


液晶モニターを使う

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

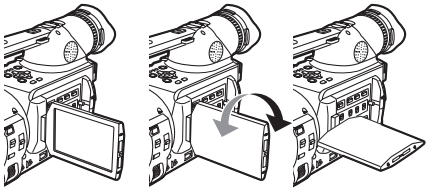
2 **OPEN ボタンを矢印①の方向に押しながら、液晶モニターを開く。**

- 開く角度は、120 度までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります



3 **液晶モニターの画面が一番見やすい位置にする。**

- レンズ方向に 180°、手前方向に 90°まで回転します。
- **開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。**

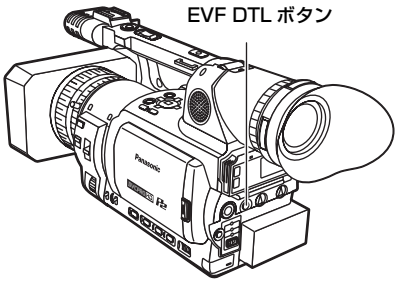


- 液晶モニターを閉じる時は、確実に閉じてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ回転させた時（対面撮影時）は、ビューファインダーと液晶モニターが同時に点灯します。

映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。
輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。

1 **カメラモードの時に EVF DTL ボタンを押す。**
画面中央に「EVF DTL ON」と約 2 秒間表示されます。



元に戻す時は、もう一度 EVF DTL ボタンを押します。この時、画面中央に「EVF DTL OFF」と約 2 秒間表示されます。

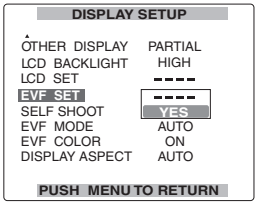
画面表示を調整する

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**
（➔ 23 ページ）

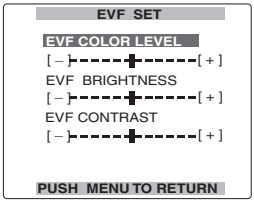
2 **MENU ボタンを押す。**

- メニューの操作（➔ 95 ページ）
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン）」をご参照ください。（➔ 18 ページ）

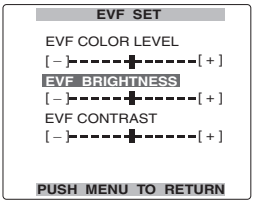
3 **ビューファインダーの調整**
設定メニューDISPLAY SETUP 画面の EVF SET 項目で YES を選ぶ。
液晶モニターの調整
設定メニューDISPLAY SETUP 画面の LCD SET 項目で YES を選ぶ。



4 **設定したい項目を操作ボタンの△または▽で選ぶ。**



5 **選んだ項目を操作ボタンの◁または▷で調整する。**



6 **MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除する。**

- EVF SETまたはLCD SETの各項目を選択して設定値を変更可能な状態の時、COUNTER RESET ボタンを押すと、その項目の設定値を工場出荷値にすることができます。
- 設定メニューDISPLAY SETUP画面のEVF MODE 項目で ON を選ぶと、液晶モニターを開いても、常にビューファインダーに映像を表示します。
- ビューファインダー表示はカラーとモノクロを選択できます。（設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の EVF COLOR 項目）なお、解像度はどちらも同じです。

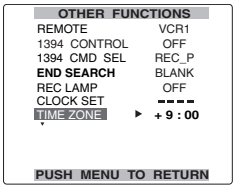
カレンダーを合わせる

CLOCK SET の値は、コンテンツ（クリップ）に記録され、サムネールによる再生順序に影響します。記録の前に、必ず CLOCK SET と TIME ZONE を確認・設定してください。
カレンダーを 2005 年 12 月 25 日午後 5 時 20 分に設定する手順を示します。

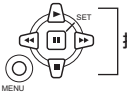
1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**
(➔ 23 ページ)

2 **MENU ボタンを押す**

3 **設定メニュー OTHER FUNCTION 画面の TIME ZONE 項目で、グリニッジ標準時間からの時差を操作ボタンの▲または▼で設定する。(➔ 114 ページ)**
日本で使う場合、「+9:00」（工場出荷モード）に設定します。



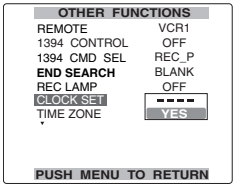
(TAPE モードでの MENU 例)



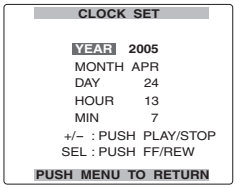
操作ボタン

- メニューの操作 (➔ 95 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン）」をご参照ください。(➔ 18 ページ)

4 **設定メニュー OTHER FUNCTION 画面の CLOCK SET 項目で YES を選ぶ。**

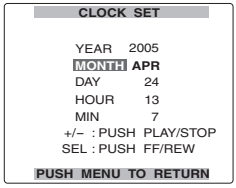


5 **操作ボタンの◀◀または▶▶を押して、YEAR を 2005 にする。**

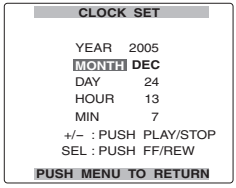


2000 から 2030 まで設定できます。

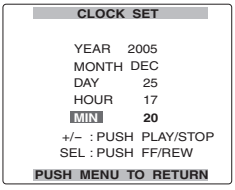
6 **操作ボタンの▼を押して、設定の項目を MONTH に移動する。**



7 **操作ボタンの◀◀または▶▶を押して、MONTH を DEC にする。**



8 **手順 4、5 と同様の方法で、DAY・HOUR・MIN を設定する。**
- HOUR は 24 時間表示です。



9 **MENU ボタンを 3 度押して、メニューモードを解除する。**

- 時刻には誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 海外で使う場合、CLOCK SET 項目を現時時間に合わせるのではなく、TIME ZONE によるグリニッジ標準時間からの時差入力を行ってください。

撮影の基本操作（P2 カード）

P2

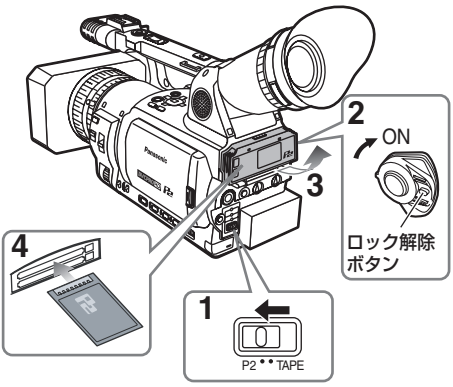
P2 カードへの撮影準備

1 MEDIA スイッチを「P2」に切り替える。

2 本機の POWER スイッチを ON にする。
(➔ 23 ページ)

3 ビューファインダーを上に起こし、カードスロットカバーを開く。

4 P2 カードをカードスロットに奥までしっかり差し込む。
- 2 つのカードスロットがあります。
- ほこり等から保護するため、カードスロットカバーは必ず閉じてください。



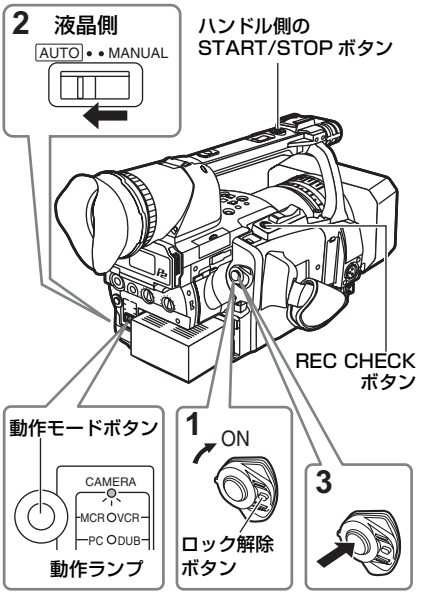
電源が入っている状態で MEDIA スイッチを切り替えないでください。切り替えると「TURN POWER OFF」が表示されます。この場合、電源を切って、再度電源を入れてください。

オートモードで撮影する

1 POWER スイッチを ON にする。(➔ 23 ページ)
- 動作ランプ（CAMERA）が赤点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、動作モードボタンを押してください。

2 AUTO/MANUAL スイッチを AUTO にする。
- 「A」がビューファインダーや液晶モニターの上部に表示されます。
- フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランスが自動調整されます。

3 START/STOP ボタン（赤）を押し、撮影を開始する。
- 再度押すと撮影の一時停止状態になります。
- ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の START/STOP ボタンを使うと便利です。



撮影した映像を確認する（REC CHECK）

撮影一時停止の時に REC CHECK ボタンを押す。直前約 2 秒間の映像と音声を再生します。
- 機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、この REC CHECK 映像も記録されます。
- REC CHECK 中は、POWER および START/STOP ボタンのみ動作します。
- 動作モードが PC、MCR、および DUB モードの時は動作しません。

工場出荷モードでは、HD（720P/60P）記録の設定になっています。
（現在の設定状態を見るには：➔ 45 ページ）

P2 カードアクセスランプについて

CAMERA モード（MCR）

緑色点灯	：書き込み、読み込み可能
緑色点滅（遅）	：カード残量なし、書き込み保護状態
オレンジ点灯	：記録対象スロット
オレンジ色点滅	：アクセス中
オレンジ色点滅（速）	：認識中
オレンジ色同時点滅	：アクセス中のカード取り出し
消灯	：未挿入、未フォーマット未対応カードの挿入

PC モード（USB DEVICE）

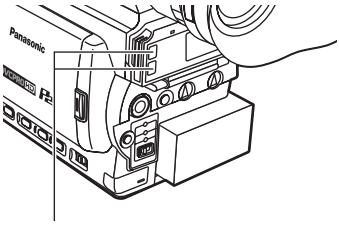
オレンジ点滅	：アクセス中
消灯	：アクセス中以外

PC モード（1394 DEVICE）

オレンジ点滅	：接続中
消灯	：接続なし

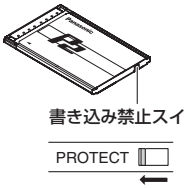
PC モード（1394 HOST）

緑点灯	：アクセス待機
オレンジ点滅	：アクセス中
消灯	：未挿入、未フォーマット未対応カードの挿入



P2 カードの保護について

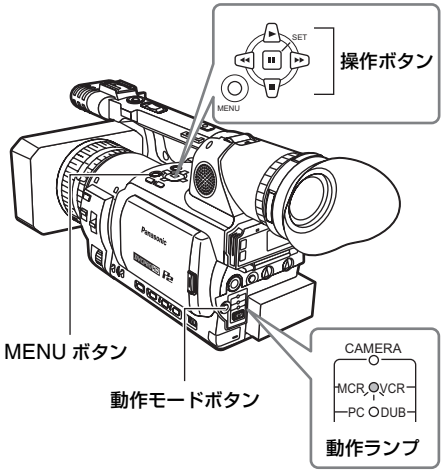
P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



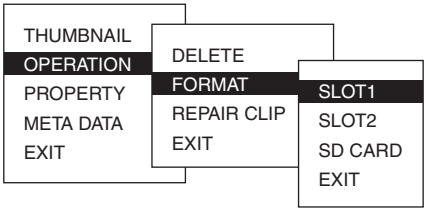
P2 カードのフォーマット

1 **動作モードボタンを押して、MCR モード（MCR/VCR ランプが点灯）にする。**
- サムネールが表示されます。

2 **MENU ボタンを押す。**



3 **メニューから OPERATION→FORMAT を選ぶ。****（➔ 69 ページ）**
- 下記のような画面が表示されますので、フォーマットしたい P2 カードが挿入されたスロット番号を選び、選択します。フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。
- MENU ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。



4 **確認の画面で YES を選ぶ。**
- 選択したP2カードがフォーマットされます。

P2 カードの記録時間について

品番	容量	DVCPRO/DV Audio 2CH	DVCPRO50 Audio 4CH	DVCPRO HD*1	DVCPRO HD 720P/24PN	DVCPRO HD 720P/30PN
AJ-P2C004HG	4 GB	約 16 分	約 8 分	約 4 分	約 10 分	約 8 分
AJ-P2C008HG	8 GB	約 32 分	約 16 分	約 8 分	約 20 分	約 16 分

- **AJ-P2C002SG(2 GB) のカードは使用できません。**
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- **P2 カードに記録されるクリップの分割について**
  本機で 8 GB 以上の P2 カードを使用した場合、 1 回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を継続します。 なお、P2 機器にてクリップのサムネール操作（表示、削除、修復、コピーなど）を行う場合は、 1 つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトおよびパソコンなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。

記録フォーマット	記録時間
DVPRO HD*1	約 5 分
DVCPRO50	約 10 分
DVCPRO/DV	約 20 分

*1 DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN を除きます。

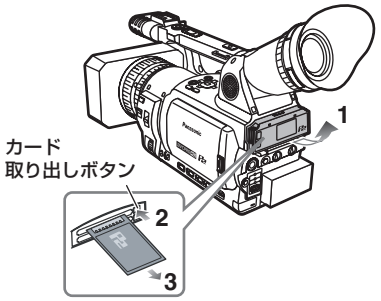
- 上記以外のカードを使用する場合は、本機搭載ドライバーのアップデートが必要になることがあります。（➔ 122 ページ）
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。
  http://panasonic.biz/sav/

P2 カードを取り出す

1 **ビューファインダーを上に起こし、カードスロットカバーを開く。**
- P2 カードアクセスランプがオレンジ色に点滅していないことを確認してください。

2 **カード取り出しボタンを 1 回押し、ボタンが出たらもう一度押す。**

3 **P2 カードを取り出す。**



- アクセス中や、挿入後の認識中（P2 カードアクセスランプがオレンジ色に点滅）に、P2 カードは取り出さないでください。
- 万が一、フォーマットやアクセス中の P2 カードを取り出した場合、ビューファインダーに “TURN POWER OFF” と表示され、アラーム、タリーランプなどで警告表示を行います。この場合、電源を入れなおしてください。
  フォーマット中に取り出した時：
  フォーマットをやり直してください。
  アクセス中に取り出した時：
  内部データは破壊されませんが、クリップ（➔ 58 ページ）が不正規の状態になることがあります。クリップをご確認の上、修復を行ってください。（クリップの修復について ➔69 ページ）
- 再生中は、他の空きスロットに P2 カードを挿入しても認識されず、P2 カードアクセスランプは点灯しません。再生が終了してから、P2 カードの認識を始めます。
- サムネールが表示されている時、P2 カードを取り出すとサムネール画面は解除されます。

撮影の基本操作（DV テープ）

TAPE

テープへの撮影準備

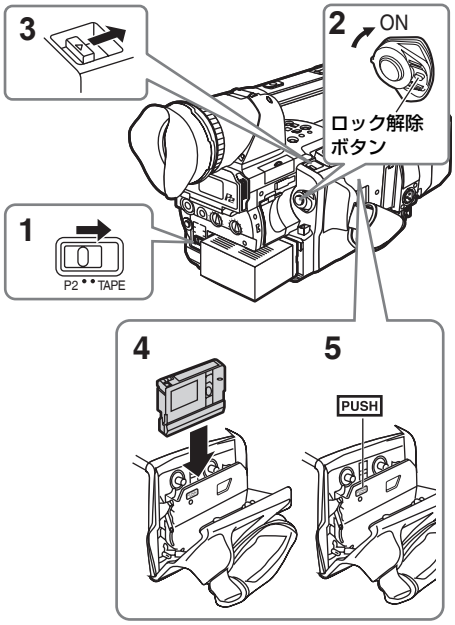
1 MEDIA スイッチを「TAPE」に切り替える。

2 本機の POWER スイッチを ON にする。
（➔23 ページ）

3 矢印の方向に OPEN/EJECT スイッチをスライドさせて、カセットカバーを開く。
- カセットホルダーが出てきて、自動的に開きます。
- 本機に電源（AC アダプターまたはバッテリー）が接続されていることを確認してください。

4 図のように向きを合わせてテープを入れる。

5 PUSH が表示されている部分を押して、カセットホルダーを確実に閉じる。
- カセットホルダーが完全に収納されてから、カセットカバーを閉じてください。



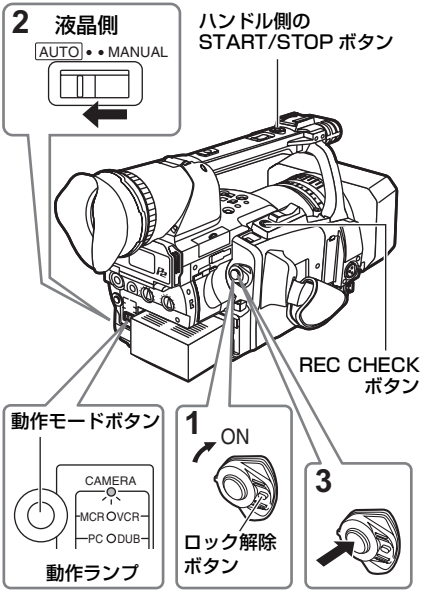
電源が入っている状態で MEDIA スイッチを切り替えないでください。切り替えると「TURN POWER OFF」が表示されます。この場合、電源を切って、再度電源を入れてください。

オートモードで撮影する

1 POWER スイッチを ON にする。(➔ 23 ページ)
- 動作モードランプ（CAMERA）が赤点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、動作モードボタンを押してください。

2 AUTO/MANUAL スイッチを AUTO にする。
- 「A」がビューファインダーや液晶モニターの上部に表示されます。
- フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランスが自動調整されます。

3 START/STOP ボタン（赤）を押し、撮影を開始する。
- 再度押すと撮影の一時停止状態になります。
- ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の START/STOP ボタンを使うと便利です。



撮影した映像を確認する（REC CHECK）

撮影一時停止の時に REC CHECK ボタンを押す。直前約 2 ～ 3 秒間の映像と音声を再生し、撮影一時停止状態に戻ります。

- 1 秒間以上記録されていない場合は、REC CHECK 機能は使用できません。
- 機器を 1394 ケーブルで接続してバックアップ映像を記録している場合、REC CHECK 中は、映像が出力されません。
- 動作モードがDUBおよびVCRモードの時は動作しません。

テープを取り出す

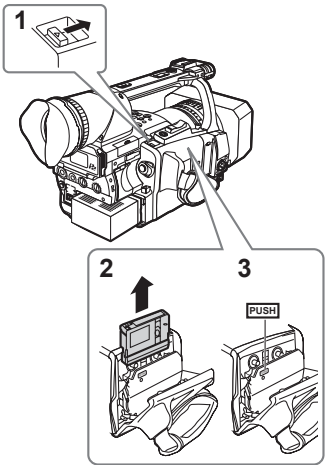
1 矢印の方向にEJECTスイッチをスライドさせて、カセットカバーを開く。

- カセットホルダーが出てきて、自動的に開きます。
- 本機に電源（AC アダプターまたはバッテリー）が接続されていることを確認してください。
- P2 モードの時および TAPE モードの記録中は取り出せません。

2 テープを取り出す。

3 PUSH が表示されている部分を押して、カセットホルダーを確実に閉じる。

- カセットホルダーが完全に収納されてから、カセットカバーを閉じてください。



テープについて

■ 本機で使用できるカセットは、Mini DV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。下記のミニ DV カセットテープの使用を推奨しています。
AY-DVM30（SP モードで 30 分）
AY-DVM60（SP モードで 60 分）

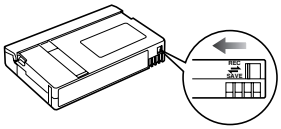
- 80 分用のミニ DV カセットテープは使用しないでください。

■ LP モードで撮っても画質は悪くなりませんが、モザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限される場合があります。
次のような時にモザイク状のノイズが出たり、正常な再生ができない場合があります。

- 本機で LP モードで撮影したテープを、他のデジタルビデオ機器で再生する場合
- 他のデジタルビデオ機器で LP モードで撮影したテープを、本機で再生する場合
- 本機で LP モードで撮影したテープを、LP モードがないデジタルビデオ機器で再生する場合
- スロー／コマ送り再生をしている場合
- カメラサーチ機能を使用している場合

■ LP モードではテープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。

誤消去を防ぐには
テープの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、カセットのツメを「SAVE」側にします。



テープの出し入れについて

- MEDIA スイッチが「P2」の時は、出し入れできません。
- カセットカバー側だけを持って、テープの出し入れを行わないでください。
- テープの出し入れは、安定した水平な場所に置いて行うか、カセットカバーが開いても安定した状態が保てるように、本機を支えながら行ってください。
- カセットホルダーが動作している時に、カセットホルダーを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。
- カセットカバーは、カセットホルダーが完全に収納されてから閉じてください。カセットホルダーが動作している時にカセットカバーを閉じると、故障の原因になります。
- テープを取り出し後すぐに、再びテープを挿入しない場合は、カセットホルダーを閉めておいてください。
- 記録中は、この操作を行わないでください。カセットカバーは開きますが、記録を継続していますので、外部の光やホコリがテープに悪影響を及ぼします。

SD メモリーカードを使う

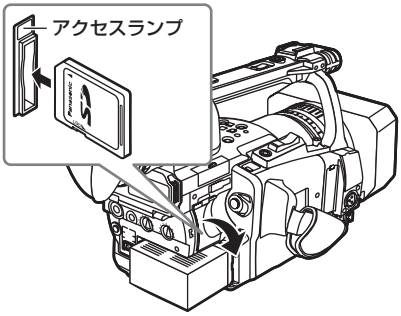
P2

SD メモリーカードを使って、SCENE ファイル、USER ファイルの保存・読み込みができます。
(➔57 ページ)

SD メモリーカードの取り付け・取り出し

＜取り付け＞

1 カバーを開け、カードの向きに注意して入れる。



2 カバーを閉じる。

＜取り出し＞

1 カバーを開け、アクセスランプが点灯していないことを確認する。

2 カードをさらに本体側へ押し込み、カードをつまんで取り出す。

3 カバーを閉じる

SD メモリーカードのフォーマット

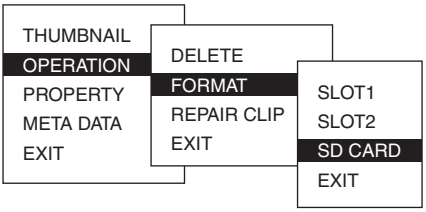
1 MEDIA スイッチを「P2」に切り替える。

2 本機の POWER スイッチを ON にする。
(➔ 23 ページ)

3 動作モードボタンを押して、MCR モード（MCR/VCR ランプが点灯）にする。

4 MENU ボタンを押す。

5 メニューからOPETATION→FORMAT→SD CARD を選ぶ。(➔ 69 ページ)
- フォーマットしない場合は EXIT を選択してください。



6 確認の画面で YES を選ぶ。
- 選択した SD メモリーカードがフォーマットされます。

CARD FUNCTIONS 画面の SD CARD FORMAT 項目からもフォーマットできます。
(➔112 ページ)

SD メモリーカード使用上の注意

- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格に準拠したものをお使いください。また、SD メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを下記のサポートサイトよりダウンロードしてご使用ください。本機では、以下の容量（8 MB ～ 1 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。

8 MB	16 MB	32 MB	64 MB
128 MB	256 MB	512 MB	1 GB

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。
http://panasonic.biz/sav/

- 使用時、保管時は以下の点にご注意ください。
  高温・多湿を避ける。
  水滴を付けない。
  帯電を避ける。
- SD メモリーカード使用時は、必ずカバーを閉じてください。
- SD メモリーカードは TAPE モードでは使用できません。

ズーム機能を使う

本機は、13 倍光学ズームを備えています。
ズームボタン、またはズームリングでズーム動作を行います。

ズームボタン

ZOOM スイッチを SERVO 位置にすると、ズームボタンでモータードライブによるズーム動作が行えます。

T：ズームイン
W：ズームアウト

ビューファインダー側のズームボタンを軽く押すと低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。
ハンドル側のズームボタンで行うズーム動作のスピードは、HANDLE ZOOM スイッチで 3 段階に切り替えることができます。
HANDLE ZOOM スイッチのスピード設定は、設定メニュー SW MODE 画面の HANDLE ZOOM 項目で変更できます。（➔ 102 ページ）

ズームリング

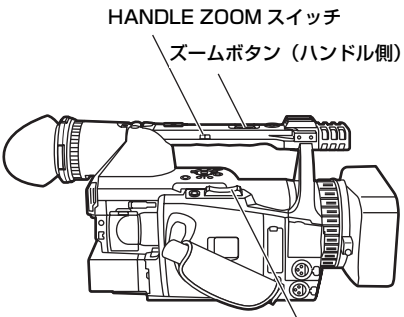
ZOOM スイッチを MANUAL 位置にすると、ズームリングで手動によるズーム動作が行えます。

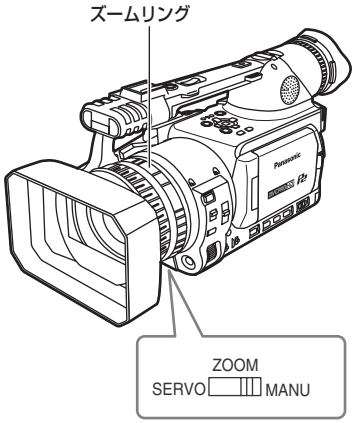
- ZOOM スイッチが SERVO 位置の時は手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。

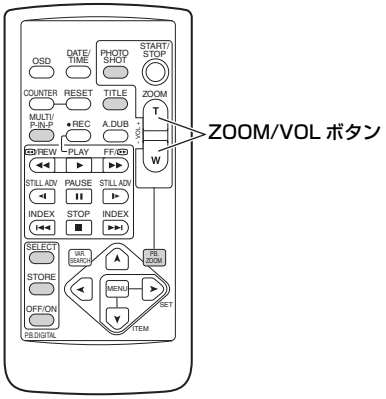
リモコンでの操作

ZOOM/VOL ボタンを押すと、モーターードライブでのズーム動作を行います。

- ズームスピードは中速に固定されています。







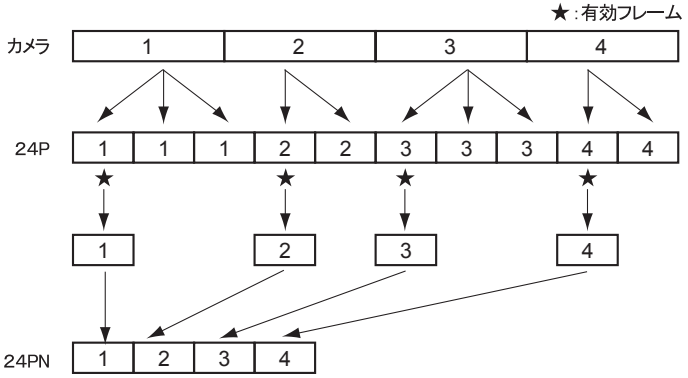
バリアブルフレームレート（VFR）

P2

本機は、P2 カードの特徴を生かし、映画の手法であるコマ落とし（アンダークランク）や高速度（オーバークランク）撮影を、フレームレートコンバーターを使用することなく行うことができます（30PN または 24PN に設定する必要があります）。有効フレームのみ記録（ネイティブ記録）するため、24P、30P および 60P モードで記録する（スタンダード記録）より記録時間を 2 ～ 2.5 倍長く記録できます。

またバリカム (AJ-HDC27 シリーズ) と同様に、ノンリニア編集を使ってのフレームレート変換が可能な記録フォーマットも兼ね備えています（30P または 24P に設定する必要があります）。

24PN モード：
24 コマ / 秒のネイティブモードで撮影を行います。映像信号は、24 コマ／秒の画像が 24 フレームに記録されます。有効フレームのみ記録されるので、2.5 倍長い時間記録できます。



- VFR 撮影するには、あらかじめ記録フレームレートと記録フォーマットを設定しておく必要があります。
- 記録中にフレームレートを変更することはできません。
- VFR 撮影は、垂直ライン数 720 のプログレッシブ撮影の P2 モードのみ可能です。

記録フレームレートは、秒間 12 コマ（12fps）から 60 コマ（60fps）までの任意の 11 通りの中から設定できます。
本機で記録可能なフォーマット一覧について（➔ 127 ページ）

表示される記録フレームレートと実際に記録されるフレームレートには若干の誤差があります。下表を参照ください。

記録フレームレート	60	48	36	32	30	26	24	22	20	18	12
実記録フレームレート	59.94	48.17	35.68	32.11	29.97	26.44	23.98	22.48	19.55	17.98	12.26

ネイティブ記録

1 RECORDING SETUP画面のREC FORMAT（P2）項目（➔105 ページ）で記録フォーマット 720P/30PN または 720P/24PN を選ぶ。

2 適切なシーンファイルを SCENE FILE ダイヤルで選ぶ。
必要ならば、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録しておく。（➔ 55 ページ）

3 SCENE FILE 画面 で OPERATION TYPE 項目（➔ 99 ページ）で FILM CAM を選び、FRAME RATE 項目（➔ 99 ページ）で任意の記録フレームレートを設定する。

4 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでネイティブ記録を開始します。

- ネイティブ記録の場合、記録待機中および記録中は 1394 出力されません。
- 音声は記録されませんが、記録と再生のフレームレートが同一の場合は音声が記録されます。
- 長時間記録したクリップを再生し、バリカム対応ノンリニア編集システムで取り込みを行う場合は、RECORDING SETUP 画面の UB MODE 項目を FRM.RATE に設定する必要があります。
- バリカム対応ノンリニア編集システムから本機に記録する場合、有効フレーム情報を継承するには、RECORDING SETUP 画面の 1394 UB REGEN 項目を ON にする必要があります。
- 編集後はノンリニア編集システムから 1080i/24P または 720P/60P（24P over 60P）で出力されます。

スタンダード記録

1 RECORDING SETUP画面のREC FORMAT（P2）項目（➔105 ページ）で記録フォーマット 720P/60P、720P/30P または 720P/24P を選ぶ。

2 適切なシーンファイルを SCENE FILE ダイヤルで選ぶ。
必要ならば、あらかじめ設定メニューでカメラ設定を行い、シーンファイルを登録しておく。（➔ 55 ページ）

3 SCENE FILE 画面 で OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）で FILM CAM を選び、FRAME RATE 項目（➔99 ページ）で任意の記録フレームレートを設定する。
記録フォーマット 720P/30P 720P/24P を選択した場合、SCENE FILE 画面の FRAME RATE 項目の設定に応じて以下の表示になります。
1）PROPERTY-CLIP PROPERTY -VIDEO に表示される PULL DOWN 情報
Default 設定時　：2:2 または 2:3
Default 以外の設定時：other
2）サムネイル表示時の画面左下のフォーマット情報
Default 設定時　：720P/30P または 720P/24P
Default 以外の設定時：720P/60P
（Default 設定とは、記録フォーマットのフレームレートが 30P であれば 30FRAME、24P であれば 24FRAME の設定を示します。）

4 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでスタンダード記録を開始します。
- 音声が記録されます。
- 有効フレーム取り出し機能を備えたバリカム対応ノンリニア編集システムの場合、アンダークランク／オーバークランク撮影素材もそのままアップロードできます。
（RECORDING SETUP 画面の UB MODE 項目を FRM.RATE に設定する必要があります。）
- 編集後はノンリニア編集システムから 1080i/24P または 720P/60P（24P over 60P）で出力されます。
- 記録フレームレート 24P は 2:3 プルダウン記録、30P は 2:2 プルダウン記録になります。

バリアブルフレームレート（VFR）の活用

映画制作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ 24fps（毎秒 24 コマ）のフレームレートが通常（1 倍速）となります。以下の設定にすれば上映時と同じ再生を得ることができます。720P プログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな高画質映像が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	720P/24P (2:3 プルダウン)	720P/24PN (ネイティブ記録)
記録フレームレート (FRAME RATE)	24fps ※	

CM ／ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV ／ SDTV 放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30fps（毎秒 30 コマ）のフレームレートが通常（1 倍速）となります。以下の設定にすれば放送時と同じ再生を得ることができます。CM、ミュージッククリップの収録がフィルムライクな高画質で、しかもテレビ放送に適したコマ数で可能です。

記録フォーマット (REC FORMAT)	720P/30P (2:2 プルダウン)	720P/30PN (ネイティブ記録)
記録フレームレート (FRAME RATE)	30fps ※	

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 24P で撮影した場合、VFR 記録フレームレートを 12fps にすれば 2 倍速のクイックモーション効果が得られます。

記録フォーマット (REC FORMAT)	720P/24P、720P/24PN	720P/30P、720P/30PN
記録フレームレート (FRAME RATE)	22 fps 以下に設定※	26 fps 以下に設定※

- 720P/24P および 720P/30P の場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでクイックモーションの効果が得られます。

オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 30P で撮影した場合、記録フレームレートを 60fps にすれば 1/2 倍速のスローモーション効果が得られます。720P プログレッシブ映像が滑らかで高画質のスローモーションを生み出します。

記録フォーマット (REC FORMAT)	720P/24P、720P/24PN	720P/30P、720P/30PN
記録フレームレート (FRAME RATE)	26 fps 以上に設定※	32 fps 以上に設定※

- 720P/24P および 720P/30P の場合、収録したものをノンリニア編集システムで処理することでスローモーションの効果が得られます。

※記録フレームレート（FRAME RATE）は 11 種類からの選択になります。（➔ 99 ページ）

1080i/480i のプログレッシブモードで撮影する

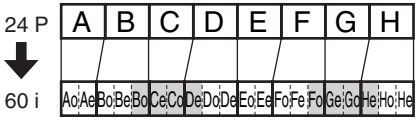
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目（➔105 ページ）で 1080i および 480i モードの 30P、24P、24PA を選ぶと、プログレッシブモードで撮影できます。

30P モード：

30 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号は、30 コマ / 秒の画像を 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
高画質な映像を得ることができます。

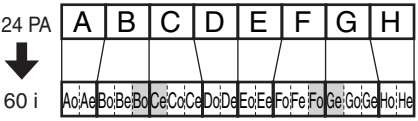
24P モード：

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号は、24 コマ / 秒の画像を一般的な［2：3］変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
映画感覚の映像を得ることができます。



24P アドバンスモード

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号は、24 コマ / 秒の画像を、アドバンス変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。



従来の 24P［2：3］変換方式で編集を行う場合、図の［BoCe］［CoDe］［FoGe］［GoHe］フレームでは、異なるコマの映像を伸張するため、画質の劣化が多くなります。
24P アドバンス変換方式では、図の［BoCe］［FoGe］のフレームを間引くことで、24P モードの画質劣化が少ない映像を得ることができます。また、アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用すると、24P モードに比べ、画質の劣化が少ない編集が実現できます。

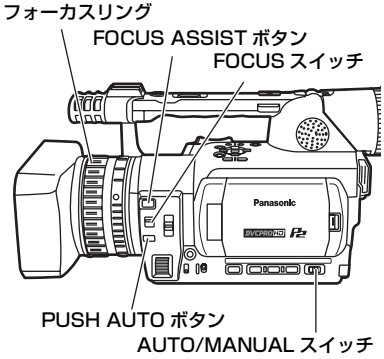
- アドバンス変換方式に対応した編集システムを使用しない場合は、通常の 24P モードで撮影を行ってください。

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

- ゲイン 18 dB にはできません。
- シャッタースピードを 1/50（OFF）または、1/60 に設定されることをお勧めします。
- 24P モードと 24P アドバンスモードで撮影を行う時は、5 フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。また、テープの場合は記録の最少時間は約 3 秒になります。

マニュアルモードで撮影する

手動でフォーカス、絞り、ゲイン、およびホワイトバランスを調整する場合は、本機をマニュアルモードにします。



マニュアルモードに切り替える

本機がオートモードになっている場合は AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替えます。（ビューファインダーや液晶モニターの A 表示が消えます）

ピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

1 **AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。**

2 **FOCUS スイッチでフォーカスの制御方法を切り替えます。**

A（AUTO）：
オートフォーカスモード
自動的にピントを合わせます。

M（MANUAL）：
マニュアルフォーカスモード
フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。

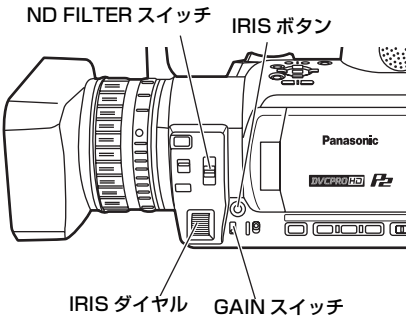
∞：
ピント距離を無限遠に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。
∞の位置にしても、FOCUS スイッチは、M（MANUAL）の位置に戻ります。

一時的にオートフォーカスモードにする
FOCUS スイッチが M（MANUAL）の位置でも、PUSH AUTO ボタンを押している間は、オートフォーカスモードになり、自動で焦点を合わせることができます。

- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しない時がありますので、照明に適したシャッタースピードを選んでください。（➔ 51 ページ）
- 60i、60P 以外の時にオートフォーカスモードにすると、通常のフォーカスモードの時よりも、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。
- 設定メニューAUTO SW 画面の AF 項目で ON が選ばれている場合、オートモードの時は FOCUS スイッチのポジションに関係なくオートフォーカスになります。（➔ 104 ページ）
- マクロ撮影時は「AF」、「MF」の画面表示が枠付き文字になります。

フォーカスアシストを使う

FOCUS ASSIST ボタンを押すと、画面中央部分が拡大され、ピントを容易に合わせることができます。フォーカスリング操作後の約 10 秒後に通常表示に戻ります。マニュアルフォーカス時に便利です。1080i、720P の HD モードで記録している時、または記録待機中のみ有効で、外部入力モードの時は動作しません。



絞りを調整する

1 **AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。（➔ 39 ページ）**

2 **IRIS ボタンを押して、レンズ絞りの調整方法を切り替える。**
AUTO IRIS：（オートアイリス）
絞り値を自動調整します。
MANUAL IRIS：（マニュアルアイリス）
手動でレンズの絞りを調整します。

3 **マニュアルアイリスになっている時は、IRIS ダイヤルを回して、レンズの絞りを調整する。**
オートアイリス時は、このダイヤルでレンズの絞りを補正することができます。

設定メニュー SW MODE 画面の IRIS DIAL 項目で、IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定することができます。（➔ 102 ページ）
設定メニュー AUTO SW 画面の A. IRIS 項目で ON が選ばれている場合、オートモードの時は、強制的にオートアイリスになります。（➔104 ページ）

本機におけるレンズ絞りが開放の時の F 値は、レンズズームの広角側（W）端で F1.6、望遠側（T）端で F2.8 になっています。
ビューファインダーや液晶モニターに表示されるレンズ絞りが開放の時のアイリス表示には、広角側（W）端で OPEN が表示され、望遠側（T）端では F2.8 または OPEN が表示されます。

ゲインを調整する

カメラの画面が暗い時は、ゲインを上げ、画面を明るくすることができます。

1 **AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。（➔ 39 ページ）**

2 **GAIN スイッチで、ゲインを切り替える。**
L：
通常は、この位置にします。（0 dB）
M：
カメラ映像アンプのゲインを上げます。
（工場出荷時は 6 dB）
H：
カメラ映像アンプのゲインを上げます。
（工場出荷時は 12 dB）

M と H のゲイン値は、設定メニュー SW MODE 画面の MID GAIN 項目と HIGH GAIN 項目で変更することができます。（➔102 ページ）
設定メニュー AUTO SW が ON の場合、AGC 項目で OFF 以外が選ばれている場合、オートモードの時は GAIN スイッチのポジションに関係なくオートゲインになります。（➔104 ページ）
記録フレームレート 22fps 以下の時、およびスローシャッター（1/15）の時は、GAIN スイッチの位置に関係なく、0 dB に固定されます。（➔ 35、51 ページ）

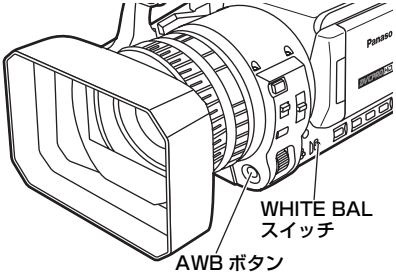
光量調節

外光が強い時 ND FILTER スイッチで、使用する ND フィルター（光量の調節フィルター）を切り替えることができます。

OFF：
ND フィルターを使用しません。
1/8：
光の量を、約 8 分の 1 にカットします。
1/64：
光の量を、約 64 分の 1 にカットします

ホワイトバランスを調整する

白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。
マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わった時には、必ずホワイトバランスを調整し直してください。
ホワイトバランスの調整値は、WHITE BAL スイッチの A と B の位置にメモリーすることができます。
また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。
撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。



ホワイトバランスの調整

1 **AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(➔ 39 ページ)**

2 **シャッタースピードを設定する。**
(➔ 51 ページ)

3 **被写体の照明光源と同じ条件の所にホワイトパターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写す。**
被写体近くの白い物（白布、白壁）を代用することもできます。
- 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。

4 **WHITE BAL スイッチを A または B の位置(ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置)にする。**

5 **AWB ボタンを押す。**
- 数秒で調整が完了します。
（図のようなメッセージが表示されます。）

調整中のメッセージ

AWB Ach ACTIVE

調整終了時のメッセージ

AWB Ach OK

ホワイトバランスの自動調整ができていない時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。

調整できない時のメッセージ

AWB Ach NG

- ATW（Auto Tracking White）自動追尾式ホワイト機能が動作している時は、ホワイトバランスの調整ができません。

設定メニュー AUTO SW 画面の ATW 項目で、ON が選ばれている場合、オートモードの時は WHITE BAL スイッチのポジションに関係なく ATW になります。(➔104 ページ)

エラーメッセージ	調整方法
LOW LIGHT	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
LEVEL OVER	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

上記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

- 繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ホワイトバランスを調整する（つづき）

プリセット値の利用

ホワイトバランスを調整する時間がない時などに便利です。

1 **AUTO/MANUAL スイッチで、マニュアルモードに切り替える。（ビューファインダーや液晶モニターの A 表示が消えます）**

2 **WHITE BAL スイッチを PRST の位置にする。**
現在のホワイトバランス値が表示されます。
- PRST の位置には、3200 K と 5600 K のホワイトバランス値がメモリーされています。
  プリセット値の目安
  P3.2K(3200 K) : ハロゲンライト
  P5.6K(5600 K) : 屋外

3 **AWB ボタンを押す。**
3200 K と 5600 K のホワイトバランス値が交互に切り替わります。

ブラックバランスの調整

黒を正確に再現するために、RGB 三原色のゼロレベルをそろえます。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。
ブラックバランスは、通常、調整し直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。
- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- 標準（OFF）のシャッタースピードや遅いシャッタースピードにした時
- プログレッシブモードと標準（60i）モードを切り替えた時

AWB ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整します。
さらにこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。

- AWB ボタンを押すと、まず、ホワイトバランスを調整しますので、ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。
- 記録中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

調整中のメッセージ

ABB ACTIVE

調整終了時のメッセージ

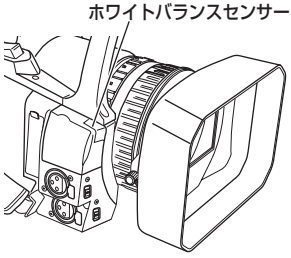
ABB END

ATW（Auto Tracking White）自動追尾式ホワイト機能

設定メニュー SW MODE 画面の ATW 項目では、WHITE BAL スイッチ（A/B/PRST のいずれかのポジション）に ATW 機能を割り当てることができます。(➔102 ページ)
また、工場出荷時の設定では、オートモードで ATW 機能が働くようになっています。
(➔ 104 ページ)

ATW 機能を使用して撮影を行うと、常にホワイトバランスを自動的に調整しながら記録を行います。
- ATW 機能は、撮影環境を自動的に判定して、最適なホワイトバランスに調整する機能です。環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。
  高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、前ページのホワイトバランス調整を行ってください。

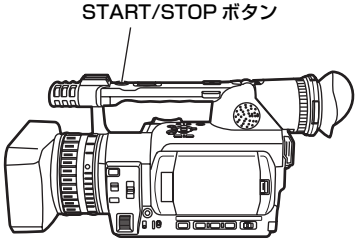
ATW 機能を使用しての撮影時には、ホワイトバランスセンサーを手などでふさがないでください。ATW 機能が正常に働きません。



便利な撮影機能を使う

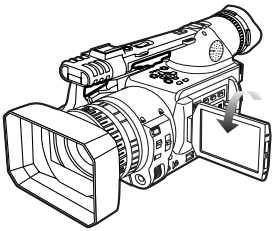
ローアングル撮影

ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の START/STOP ボタンで撮影を行うことができます。



対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に、180 度回転させて撮影者自身を録画することができます。
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の SELF SHOOT 項目で MIRROR を選ぶと、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。

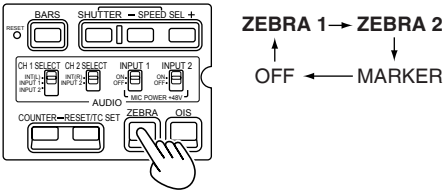


ゼブラパターン

カメラモード時に ZEBRA ボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカーが、ビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。
露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。

- 極端に明るい部分
- 光っている部分

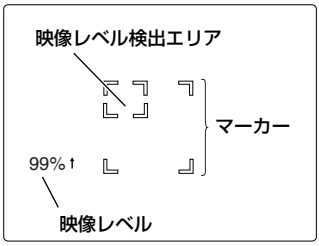
ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。
ZEBRA ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZEBRA DETECT 1 項目と ZEBRA DETECT 2 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。(➔ 110 ページ)
設定されたゼブラパターンは一定時間（約 2 秒間）、% で表示されます。

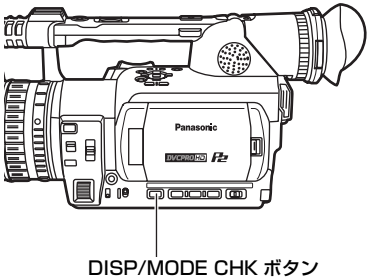
マーカー

ゼブラパターンを表示している時に、再度 ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカーを表示します（設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の MARKER 項目を ON に設定している時）。
画面中央付近の明度を数値で確認できます（0%～99%）。
99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。



再度 ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

撮影状態の確認と表示



記録待機または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンを放すと通常の表示に戻ります。

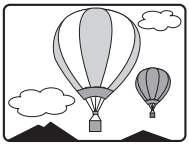
記録待機または記録中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、すべての表示がオフになります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。
本機の電源を切る、またはメディアや動作モードを切り替えても維持されます。

映像サイズを変える

480i モードで記録する場合、記録する映像のサイズ（アスペクト比）を変えることができます。
設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目 (➔ 101 ページ) で選びます。

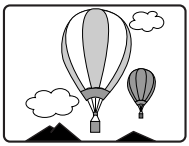
• メニューの操作 (➔ 95 ページ)

NORMAL：
標準の 4：3 モードで記録します。



LETTER BOX：
画角を 16：9 にして記録します。
画面の上下に黒い帯が記録されます。

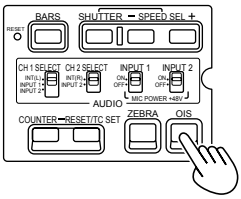
SQUEEZE：
カメラ映像を水平方向に圧縮して記録します。
記録された映像をワイド画面に対応したモニターテレビで再生すると、アスペクト比 16：9 の映像になります。
SQUEEZE に設定されている時は、画面に「SQU」が表示されます。



EVF/LCD 表示のサイズ（アスペクト比）を変えるには
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の DISPLAY ASPECT 項目（➔ 111 ページ）で設定することができます。

手ぶれ補正機能

カメラを手に持って撮影する時は、手ぶれ補正機能を使うことで、手ぶれの少ない撮影を行うことができます。
OIS ボタンで手ぶれ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ぶれ補正が ON の時は、ビューファインダーや液晶モニターに (✋) が表示されます。
三脚を使用する時は、手ぶれ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

映像に効果を加える

BLACKFADE 機能や WHITEFADE 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。再生、REC CHECK、サムネール表示時は強制的にボタンが無効になります。

BLACKFADE：
ボタンを押し続けると映像全体を黒でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

WHITEFADE：
ボタンを押し続けると映像全体を白でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。ボタンを放すとフェードインします。

USER ボタンの活用

USER1 ～ 3 ボタンには、12 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。
被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時に切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。
工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。
USER1：WHITEFADE
USER2：BACKLIGHT
USER3：INDEX/MEMO
詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 ～ 3 項目 (➔ 103 ページ) を参照してください。
以下の機能を割り当てた USER ボタンを押して動作させた状態で電源を切ると、元の状態に戻ります。
SPOTLIGHT、BACKLIGHT、ATW、ATWLOCK、GAIN: 18dB、FOCUS RING

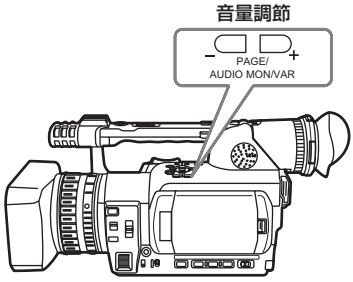
逆光補正

逆光で被写体を撮影する時は、BACKLIGHT 機能を割り当てた USER ボタンを押します。
画面に BACK が表示されます。
逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。
再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。（マニュアルアイリス時は、逆光補正を解除しても逆光補正状態を維持します。）

カラーバー

カメラモードの時に、BARS ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度押すと、元の映像に戻ります。

撮影時の音量調整



ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、PAGE、AUDIO MON/VAR ボタンで音量を調整することができます。

- 入力音声レベルの調整について (➔ 54 ページ)。

バックアップ記録

1394 端子に接続した外部機器 (➔ 78、79 ページ) に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

- 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目と 1394 CMD SEL 項目で、外部機器の制御方法を設定してください。(➔ 112 ページ)
- テープ使用時にバックアップ記録する場合、DISPLAY SETUP 画面（➔110 ページ）を以下のように設定してください。
  - VIDEO OUT OSD 項目を OFF
  - DATE/TIME 項目を OFF

バックアップ記録を行う場合は、次のことに注意してください。

- テープ使用時にバックアップ記録する場合：
  - 以下のいずれかの設定にしていると**本機が記録状態以外の時に 1394 出力に OSD が出力されます。**
    - DISPLAY SETUP 画面の VIDEO OUT OSD 項目（➔110 ページ）が ON
    - DISPLAY SETUP 画面の DATE/TIME 項目（➔110 ページ）が OFF 以外
  - OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目（➔112 ページ）を OFF 以外に設定してバックアップ記録している場合は、予期せず OSD が記録されることがありますので特にご注意ください。
  - **リモコンの DATE/TIME ボタンを押すと記録中、記録待機中にかかわらず 1394 出力に日付や時刻が出力されます。**
- メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記憶されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のメディアに映像を上書きしてしまうことがあります。バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。
- バックアップ記録を行う外部機器として、もう 1 台の AG-HVX200 を使用する場合、外部機器側の 1394 CONTROL 項目を OFF に設定し、MCR/VCR モードにして使用してください。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続する時の DV（IEEE1394）ケーブルの長さは、4.5 m までにしてください。
- バックアップ記録を行う時は、外部機器で 1394 信号を記録できる状態にしておいてください。
- 1394 CONTROL 項目 (➔ 112 ページ) で「CHAIN」を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のメディアが終端付近になった時に、記録待機状態にしているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
- P2 カード使用時に REC CHECK を行うと、その映像も記録されてしまいますのでご注意ください。テープ使用時、REC CHECK 中は映像が出力されません。
- ネイティブ記録では、バックアップ記録はできません。
- P2 カードの特殊記録モード（➔48、49 ページ）のうち、インターバル記録、ワンショット記録、ループレック中はバックアップ記録は働きません。
- MCR モードからのダイレクト撮影中（➔67 ページ）はバックアップ記録は働きません。

P2 カードに記録している場合、RECORDING SETUP 画面（➔105 ページ）で設定することにより、プリレック、インターバル記録、ワンショット記録、ループレックなどの特殊な記録ができます。
1080i/60i、720P/60P、480i の 60i および 30P の記録フォーマットで、SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）が VIDEO CAM の時のみ可能です。

プリレック (PRE REC)

記録を開始した時点より一定時間前（HD 記録で約 3 秒前、480i 記録で約 7 秒前）からの映像と音声を記録します。

1 **PREREC MODE 項目（➔105 ページ）で、ON を選ぶ。**
- メニューの操作 (➔95 ページ)

2 **START/STOP ボタンを押す。**
一定時間前からの映像と音声を記録します。
- IEEE1394 入力記録時、再生から記録への移行時、およびループレック、インターバルレック、ワンショットレック時は無効です。
- MCR モードから CAMERA モードへの切り替え直後、電源 ON 直後、PRE-REC 項目を変更した直後は、すぐに記録を開始しても上記記載時間前の映像と音声が記録できない場合があります。

インターバル記録 (INTERVAL REC)

1 フレーム記録した後、設定した時間一時停止する動作を繰り返し行います。

1 **REC FUNCTION 項目（➔105 ページ）で、INTERVAL を選ぶ。**
- メニューの操作 (➔95 ページ)

2 **INTERVAL TIME 項目で時間を設定する。(➔105 ページ)**

3 **START/STOP ボタンを押す。**
1 フレーム記録して、INTERVAL TIME 項目で設定した時間だけ一時停止する動作を繰り返します。
停止するには、操作ボタンの■を押します。
解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。
- 動作状態表示の左に以下のように表示されます。
  記録中：「I-REC」点灯
  一時停止中：「I-PAUSE」点灯
  停止中：「I-PAUSE」の「I-」点滅
  ただし、手順3の設定が 2 秒未満の場合は、設定時間に応じて記録中「I-REC」が点滅します。
- プリレックは働きません。
- 音声は記録されません。
- このモード中に記録したデータは、まとめてひとつのファイルとなります。
- 1394 出力の映像は保証されません。

ワンショット記録 (ONE-SHOT REC)

設定した時間単位で一度だけ記録します。

1 **REC FUNCTION 項目（➔105 ページ）で、ONE SHOT を選ぶ。**
- メニューの操作 (➔95 ページ)

2 **ONE-SHOT TIME 項目で記録時間を設定する。(➔105 ページ)**

3 **START/STOP ボタンを押す。**
手順 2 で設定した時間の記録を行い、記録一時停止になります。
停止するには、操作ボタンの■を押します。
解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。
- 動作状態表示の左に以下のように表示されます。
  記録中：「I-REC」点灯
  一時停止中：「I-PAUSE」点灯
  停止中：「I-PAUSE」の「I-」点滅
- 動作中は、他の操作を受け付けません。
- プリレックは働きません。
- 音声は記録されません。
- このモード中に記録したデータは、まとめてひとつのファイルとなります。
- 1394 出力の映像は保証されません。

ループレック (LOOP REC)

P2 カードスロットに 2 枚の P2 カードが挿入されている時、順次カードを切り替えながら記録します。カードの残量がなくなると 1 枚目に戻り上書きして記録します。上書き実行時、保存されているクリップを削除してから新しいクリップを記録します。

1 REC FUNCTION 項目（➔105 ページ）で、LOOP を選ぶ。

- メニューの操作 (➔95 ページ)

2 START/STOP ボタンを押す。

記録を開始します。
停止するには、START/STOP ボタンを押します。
解除するには、本機の電源を切るか、REC FUNCTION 項目で NORMAL を選びます。

- 動作状態表示の左に以下のように表示されます。
  記録中：「L-REC」点灯
  停止中：「L-PAUSE」点灯

メモリー残量少：「P2 LACK L-」点滅

- 1 分以上の記録残量がある P2 カードを 2 枚ご使用ください。どちらかのカードを抜くと記録が停止します。
- IEEE1394 入力記録時は動作しません。
- プリレックは働きません。

2 スロット連続記録

2 つの P2 カードスロット両方に P2 カードを装着すれば、2 枚のカードにわたって連続記録することができます。
また、一方が記録中にもう片方のカードを差し替えて、3 枚以上に連続記録することもできます（ホットスワップ記録）。
SW MODE 画面の USER 項目（➔103 ページ）で USER ボタンに SLOT SEL を割り当てると、ワンタッチで記録対象スロットを変更できます。

- スロットの変更は記録中にはできませんので、記録待機中に行ってください。
- ホットスワップ再生には対応していません。

ショットマーク機能

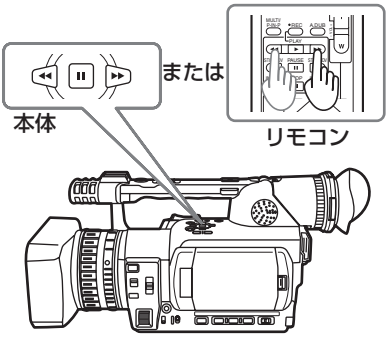
クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといいます。サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。
記録中、SHOT MARK 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、液晶モニターやビューファインダーに“MARK ON”と表示され、記録中のクリップのサムネールにショットマークが設定されます。もう一度押すと解除されます。
また、クリップのサムネール操作でもショットマークの設定／解除が可能です。（➔67 ページ）

テキストメモ記録

記録中または再生中のクリップのある映像ポイントに、テキストメモを付加する機能です。
INDEX/MEMO 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、そのポイントにテキストメモ信号が記録されます（➔58 ページ）。
サムネール画面でテキストメモを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。
テキストメモは 1 クリップにつき、最大 100 個まで記録できます。
テキストメモを編集するには、P2 ビューア最新アップデート版が必要です（➔58 ページ）。

- インターバル記録中、およびワンショット記録中はテキストメモを記録できません。

撮影した場面を探す（イメージサーチ）



テープへの撮影の一時停止中、今まで撮影した場面を確認することができます。
探し出した場面から続けて撮影（つなぎ撮り）を行う時に便利です。

1 **撮影一時停止中、▶▶ または ◀◀ を押す。**
ボタンを押している間、再生、または逆再生します。

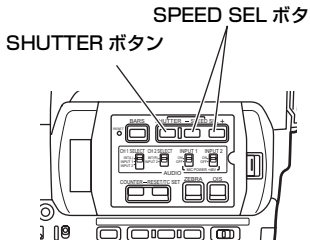
2 **場面が見つかったら、ボタンから指を放す。**
イメージサーチ終了後は、撮影の一時停止状態に戻ります。

- 記録状態によっては撮影がうまくつながらないことがあります。

インデックス記録

テープへ記録している場合、INDEX/MEMO 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、インデックス信号が記録されます。
記録の一時停止状態の時にこの USER ボタンを押すと、インデックス信号の記録待機状態になり、記録を開始すると、インデックス信号が記録されます。信号を記録することで、再生時に検索（インデックスサーチ）することができます（➔75 ページ）。

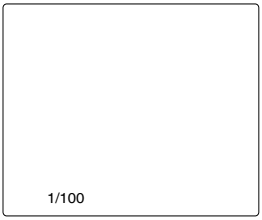
シャッタースピードを調整する



1 **SHUTTER ボタンを押す。**
押すごとに、標準（OFF）のシャッタースピードと、SPEED SEL ボタンで選んだシャッタースピードが切り替わります。

2 **SHUTTER ボタンを押した後に SPEED SEL ボタンを押して、シャッタースピードを選ぶ。**
SPEED SEL+ ボタンを押すごとに、下記の表のようにシャッタースピードが変化していきます（−ボタンは逆順になります）。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動の時には、シャッタースピードが速くなるにつれて絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- シャッタースピードを遅くした場合、合焦時間が長くなるため三脚等に固定して使用することをお勧めします。



設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目で OFF 以外に設定している時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在設定されているシャッタースピードが表示されます。ただし、標準（OFF）のシャッタースピードに設定されている時は表示されません。

（次ページへ続く）

OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）が FILM CAM の場合

1080/60i、720/60P、480/60i の時	
標準（OFF） 1/60	SYNCRO SCAN⟷1/100⟷1/120⟷1/250⟷1/500 ⟷1/1000⟷1/2000
上記以外の時 (30P/24P/24PA)	
標準（OFF） 1/50	SYNCRO SCAN⟷1/30(1/24)⟷1/60⟷1/120⟷1/250 ⟷1/500⟷1/1000

OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）が VIDEO CAM の場合（下線はスローシャッター）

1080/60i、720/60P、480/60i の時	
標準（OFF） 1/60	SYNCRO SCAN⟷1/15⟷1/30⟷1/100⟷1/120⟷ 1/250⟷1/500⟷1/1000⟷1/2000
30P の時	
標準（OFF） 1/50	SYNCRO SCAN⟷1/15⟷1/30⟷1/60⟷ 1/120⟷ 1/250⟷1/500⟷1/1000
24P/24PA/24PN の時	
標準（OFF） 1/50	SYNCRO SCAN⟷1/24⟷1/60⟷ 1/120⟷ 1/250⟷1/500⟷1/1000

- 720P/24P、720P/24PN の時のみ、1/12 モードが追加されます。

人工照明、特に蛍光灯や水銀灯などは、電源周波数に同期して輝度が変化しています。特に電源周波数が 50 Hz の地域では、本機の垂直同期周波数（約 60 Hz）と照明の周波数（50 Hz）がお互いに干渉するため、ホワイトバランスが周期的に変化することがあります。
人工照明下で撮影する時やホワイトバランスを調整する時は、シャッタースピードを下記の設定にして行ってください。

プログレッシブモード	シャッタースピード	
	50 Hz	60 Hz
OFF（60i）	1/100	OFF（1/60）
30P	OFF（1/50）	1/60
24P/24PA/24PN	OFF（1/50）	1/60

- スローシャッター 1/12、1/15 では、0dB に固定されます。

シンクロスキャン

テレビ画面やパソコンのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、設定メニュー SCENE FILE 画面の SYNCRO SCAN 項目で設定します。（➔ 99 ページ）

- テレビ画面やパソコンのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）を FILM CAM に設定した場合、シャッター開角度を 10 度から 350 度まで 0.5 度ステップで可変できます。
  例）記録フレームレートを 24fps に設定して露出時間を半分にする場合
  1/24 ÷ 2 = 1/48 = 180 度（1/24 = 360 度）
  デフォルト設定（180 度）では、1/2 の露出時間になります。
  90 度ならば 1/4、45 度ならば 1/8 の露出時間になります。
  （シャッター開角度：フィルムカメラのシャッタースピードに相当し、角度が広いほど光が当たる時間が長くなります。）
- シャッタースピードが青文字で、後ろに (1/60) と表示された場合は、現在の記録フォーマットでは青文字のシャッタースピードに変更できません。(1/60) に固定されます。

プログレッシブモードは、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目（➔ 105 ページ）で切り替えることができます。

入力音声を切り替える

撮影時は、最大4チャンネルの音声を記録することができます。また、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、および接続したオーディオ機器に切り替えることができます（下表参照）。

CH1*	CH2**	CH3	CH4
INT(L)：内蔵マイク L	INT(R)：内蔵マイク R	INPUT1	INPUT2
INT(L)：内蔵マイク L	INPUT2	INPUT1	INT(R)：内蔵マイク R
INPUT1	INT(R)：内蔵マイク R	INT(L)：内蔵マイク L	INPUT2
INPUT1	INPUT2	INT(L)：内蔵マイク L	INT(R)：内蔵マイク R
INPUT2	INPUT2	INT(L)：内蔵マイク L	INT(R)：内蔵マイク R
INPUT2	INT(R)：内蔵マイク R	INT(L)：内蔵マイク L	INPUT1

＊ CH1 に記録する入力音声は CH1 SELECT スイッチにより切り替えることができます。

＊＊ CH2 に記録する入力音声は CH2 SELECT スイッチにより切り替えることができます。

- CH3・CH4 の入力音声は CH1 SELECT スイッチおよび CH2 SELECT スイッチの切り替えによって自動的に決定されます。

また、使用メディアやフォーマットによって次の制限があります。フォーマットについて（➔ 127 ページ）

テープ使用：

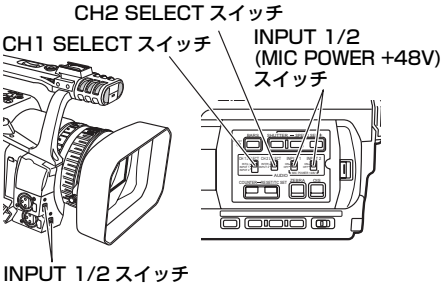
撮影時は、 CH1、 CH2 へのみ記録できます。

P2 カード使用で DVCPRO HD または DVCPRO50 フォーマット：

4 チャンネル記録に固定されます。

P2 カード使用で DVCPRO25 または DV フォーマット：

設定メニュー RECORDING SETUP の 25M REC CH SEL 項目で 2CH または 4CH を選ぶことができます。



内蔵マイクを使う

1 **CH1 SELECT スイッチを INT（L）の位置にする。**

- 内蔵マイクLchの音声信号が音声チャンネル 1 のトラックに記録されます。

2 **CH2 SELECT スイッチを INT（R）の位置にする。**

- 内蔵マイクRchの音声信号が音声チャンネル 2 のトラックに記録されます。

外部マイクやオーディオ機器を使う

1 **INPUT 1/2端子(XLR3ピン)に外部マイクまたはオーディオ機器を接続する。**
(➔ 77 ページ)

2 **INPUT 1/2 スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える。**

LINE：（オーディオ機器を接続した時）
入力レベルは 0 dBu です。

MIC：（外部マイクを接続した時）
入力レベルは− 50 dBu です。
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN 1 と MIC GAIN 2 項目で入力レベルを− 60 dBu に変えることができます。（➔ 105 ページ）ただし、− 60 dBu に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

3 **ファントムマイク (+48 V 電源が必要なマイク) を使用する場合は**

INPUT 1/2（MIC POWER +48V）スイッチを ON の位置にする。

ON：（ファントムマイクを接続した時）
INPUT1/2 端子に +48V 電源を供給します。

OFF：（ファントムマイクを接続しない時）
INPUT1/2 端子に電源を供給しません。

- ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
- + 48 V 電源に対応していない機器を接続する時は OFF の位置にしてください。ON の位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。

（次ページへ続く）

4 **CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 のトラックに記録する入力信号を選ぶ。**

INT（L）：
内蔵マイク Lch の音声を記録します。

INPUT1：
INPUT1 端子に接続した機器の音声を記録します。

INPUT2：
INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

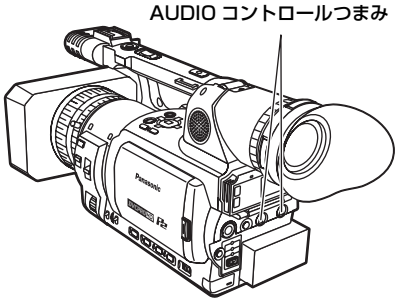
5 **CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 のトラックに記録する入力信号を選ぶ。**

INT（R）：
内蔵マイク Rch の音声を記録します。

INPUT2：
INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

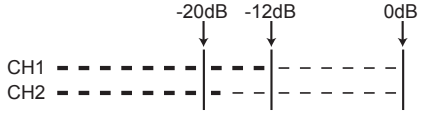
- 外部マイクの信号を CH1 と CH2 に入力する時は、外部マイクを INPUT 2 端子に接続し、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチの両方を INPUT 2 の位置にしてください。

音声の記録レベルを調整する



AUDIO コントロールつまみで、内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。（モニター音量の調整については ➔ 47 ページ）
音声信号の記録レベルは、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目（➔ 105 ページ）の設定に関係なく、このつまみで液晶モニター、ビューファインダー左下のオーディオレベルメーターの表示を参考に調整してください。

- P2 モードと TAPE モードでは、音量レベルに多少差があります。



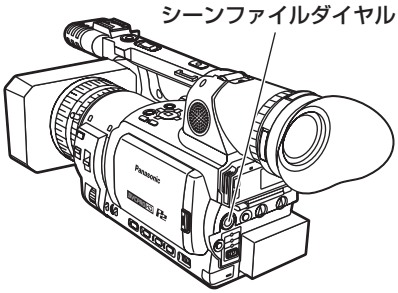
AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子 (ピンジャック) に入力された音声信号は調整できません。

撮影前に記録音量レベルを確認してください。

- P2 モードでの記録時、当社放送用カメラレコーダー（品番 AJ シリーズ）と比較すると、記録レベルが高く設定されています。

撮影用の設定を使い分ける（シーンファイル）

各種撮影状況に応じた設定を、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存しています。
撮影時、シーンファイルダイヤルで瞬時に必要なファイルが読み出せます。



- 記録中にシーンファイルを変更しても、OPERATION TYPE と FRAME RATE（➔ 99 ページ）は変更されません。OPERATION TYPE と FRAME RATE を変更する場合は、記録待機状態にしてください。

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

F1：SCENE
　標準の撮影に適したファイル。
F2：SCENE FLUO.
　蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。
F3：SCENE SPARK
　解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけた撮影に適したファイル。
F4：SCENE B-STR
　暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。
F5：SCENE CINE V
　コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。➔ 105 ページ）
F6：SCENE CINE D
　ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。RECORDING SETUP 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。➔ 105 ページ）

シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。
また、変更したシーンファイルを、シーンファイルダイヤルの各ポジションに保存することもできます。

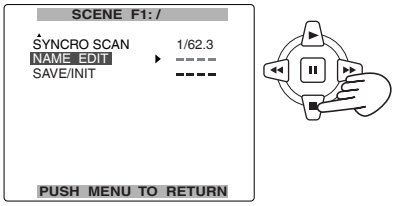
例：シーンファイルのファイル名を変更する

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

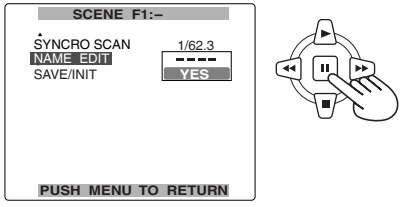
2 **シーンファイルダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ。**

3 **設定メニュー SCENE FILE 画面を選ぶ。**
- メニューの操作（➔ 95 ページ）
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン）」をご参照ください。（➔ 18 ページ）

4 **▽、△ボタンで NAME EDIT 項目を選ぶ。**



5 **⏸（または▷）ボタンを押し、▽ボタンで YES を選び、⏸ボタンを押す。**



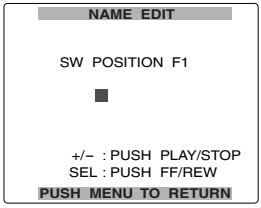
（次ページへ続く）

6 下記の画面が表示されたら

▲、▼、◀、▶ボタンで 6 文字のファイル名を設定する。

ユーザーズビットの設定と同じ方法（➔ 62 ページ）で行います。

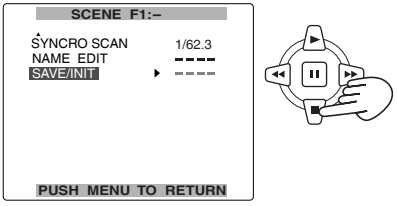
- 設定できる文字
  （スペース）、A ～ Z、0 ～ 9、: ; < = > ? @ [¥] ^ _ - . /
  ファイル名を設定している時に COUNTER RESET ボタンを押すと、文字がクリアされます。



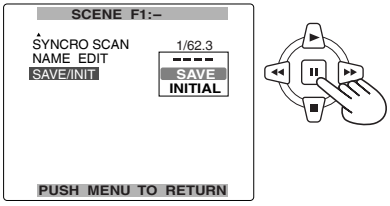
7 ファイル名の設定が完了したら、MENU ボタンを押す。

- 手順 10 の操作を完了しないと、名前の変更は完了しません。

8 ▼ボタンで SAVE/INIT を選ぶ。

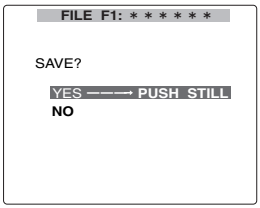


9 ⏸ボタンを押し、▼ボタンで SAVE を選び、⏸ボタンを押す。



10 下記の画面が表示されたら

YES を選び、⏸ボタンを押す。（一階層上のメニューに戻るには MENU ボタンを押します。）



下記のメッセージが表示され、シーンファイルの変更が完了します。

11 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除する。

- SAVE を行わないで電源を OFF にした時は、シーンファイルの設定値が元に戻ります。
- シーンファイルの設定値を工場出荷時の設定に戻す場合は、ステップ **9** で INITIAL を選び、ステップ **10** ～ **11** を同様に行います。

SD メモリーカードにシーンファイルなどを保存する P2

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SD メモリーカードに保存、読み出しすることができます。

- シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータを SD メモリーカードに書き込みます。SD メモリーカードから読み出した時は本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- F1～F6すべてのシーンファイルが書き替わります。
- SD メモリーカードを本機に挿入して、MEDIA スイッチを P2 側にしてください。(➔ 28、33 ページ)

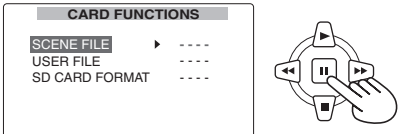
以下の説明は、シーンファイルの保存を基本に説明しています。

1 本機の POWER スイッチを ON にする。

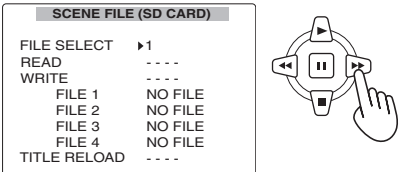
2 設定メニューCARD FUNCTIONS画面のSCENE FILE を選択し、YES を選んで ⏸(または ▷) を押す。

その他の設定値の場合は、USER FILE を選択します。

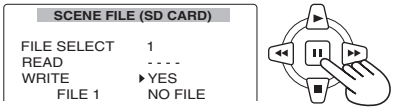
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン)」をご参照ください。(➔ 18 ページ)



3 ◁、▷ボタンでファイル番号 (1 ～ 4) を選ぶ。

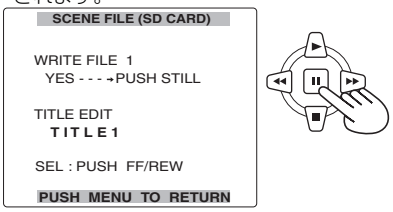


4 △、▽ボタンで WRITE を選び、⏸ボタンを押す。



5 ◁ボタンでYESを表示させ、⏸ボタンを押す。

- 下図の場合は、TITLE1 がファイル名になります。(ファイル名を変更するには ➔ 下記)
- 書き込みが完了すると、WRITE OK が表示されます。



6 MENU ボタンを4回押して、メニューモードを解除する。

ファイルを読み出すには

1) 手順 **1** ～ **3** を行い、手順 **4** で READ を選んで ⏸ボタンを押す。
読み込みが完了すると、READ OK が表示されます。

ファイルにタイトルを付けるには

1) 手順 **1** ～ **4** を行う。
2) △、▽ボタンで文字を選び、▷ボタンで次の文字に移動する。
   - 入力できる文字は以下の通りです。
     （スペース)、A～Z、0～9、: ; < = > ? @ [¥] ^ _ - . /
   - 本体またはリモコンの RESET ボタンで全文字を消去できます。
3) すべての入力が終わったら、文字の左端で◁ボタン（または右端で ▷ボタン）を押し、⏸ボタンを押す。

- WRITE NG FORMAT ERRORが表示された場合は、SD メモリーカードをフォーマットしてください。(➔ 33 ページ)
- WRITE NG WRITE PROTECT が表示された場合は、SD メモリーカードのプロテクトを解除してください。
- WRITE NG CANNOT ACCESS が表示された場合は、その他の動作（再生中など）を終了してから操作してください。
- WRITE NG ERROR が表示された場合は、SD メモリーカードの不良が考えられます。交換してください。

クリップメタデータについて

P2

P2 カードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。（表示の方法は ➔70 ページ）

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機にロードするものがあります。（ロードの方法は ➔72 ページ）

SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成するには

「P2 ビューア最新アップデート版」が必要です。以下のウェブサイトからダウンロードの上、パソコンにインストールしてください。
http://panasonic.biz/sav/

クリップメタデータの内容

下線の項目は、SD メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は撮影時に自動的に設定されます。

GLOBAL CLIP ID :
クリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。

USER CLIP NAME :
ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO :
記録映像の FRAME RATE（フレームレート）、PULL DOWN（プルダウン方式）、ASPECT RATIO（アスペクト比）を表示します。

AUDIO :
記録音声の SAMPLING RATE（サンプリング周波数）、BITS PER SAMPLE（量子化ビット数）を表示します。

ACCESS :
CREATOR（収録者名）、CREATION DATE（収録日）、LAST UPDATE PERSON（最終更新者）、LAST UPDATE DATE（最終更新日）を表示します。

DEVICE :
MANUFACTURER（機材のメーカー名）、SERIAL NO.（機材のシリアルナンバー）、MODEL NAME（機材のモデル名）を表示します。

SHOOT :
SHOOTER（撮影者名）、START DATE（撮影開始日時）、END DATE（撮影終了日時）、LOCATION - ALTITUDE/LONGITUDE/LATITUDE/SOURCE/PLACE NAME（撮影地 - 高度 / 経度 / 緯度 / 情報源 / 場所の名前）を表示します。

SCENARIO :*2
PROGRAM NAME（番組名）、SCENE NO.（シーンナンバー）、TAKE NO.（テイクナンバー）を表示します。

NEWS :
REPORTER（リポーター名）、PURPOSE（取材目的）、OBJECT（取材対象）を表示します。

MEMO :*3
NO.（メモ番号）、OFFSET（クリップ先頭からのフレーム位置）、PERSON（テキストメモの記録者名）、TEXT（メモの内容）を表示します。

*1 メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、グローバルクリップ ID がそのまま USER CLIP NAME になります。
*2 SCENARIO を入力する時は、必ず PROGRAM NAME を入力してください。SCENE NO.、TAKE NO. のみの入力はできません。
*3 MEMO を入力する時は、必ず TEXT を入力してください。PERSON のみの入力はできません。

- P2 ビューア以外で編集したファイルは、読み込めないことがあります。（「UNKNOWN DATA」と表示されます。）
- 本機では、日本語と印刷可能な ASCII 文字のみ表示可能です。
- 本機では、文字数の表示制限があるためすべてのデータを表示できません。（データが消えているわけではありません。）すべてを確認するには P2 ビューアなどをご使用ください。

カウンターを利用する

カウンター表示（P2 カード / テープ）

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。

1 **COUNTER ボタンを押す。**
ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。(➔ 90 ページ)

0 : 00. 00
カウンター値の表示
P2 モードでは再生時のカウンターは表示されません。

M 0 : 00. 00（テープのみ）
メモリーストップモードのカウンター値の表示

TC XX:XX:XX:XX
タイムコードの表示（720/24PN に設定している時は、フレームけたを 24 フレームで表示します。それ以外の設定では、フレームけたを 30 フレームで表示します）

tc XX:XX:XX:XX（P2 カードのみ）
OPERATION TYPE 項目（➔99 ページ）を FILM CAM に設定している時のみ、タイムコードのフレームけたを 24 フレームに変換して表示します。ただし、720/24PN、720/30PN に設定しているときは、tc は表示しません。

UB XX XX XX XX
ユーザーズビットの表示

FR ーーー ー
プログレッシブモードで撮影を行う時のフレームレート情報（30P/24P/24PA）とフレーム変換を行うシーケンス情報の表示

無表示：
データを表示しません。

カウンター値をリセットする
カウンター値を表示中に、COUNTER RESET ボタンを押します。

メモリーストップモード（テープ）

再生や撮影を行った後、あらかじめ設定した位置付近に戻して、自動的にテープを停止させることができます。

1 **COUNTER ボタンを押して、メモリーストップモードのカウンターを表示する。**

2 **テープの任意の位置で、COUNTER RESET ボタンを押しカウンター値をリセットする。**

3 **再生や撮影を行う。**

4 **動作モードボタンを押して、VCR モードにする。(➔ 65 ページ)**

5 **テープの巻き戻しや早送りを行うと、カウンターのリセットを行った付近で自動的にテープ走行が停止します。**

アフレコを行う時に、OUT 点でカウンター値をリセットしておくと、メモリーストップモードでアフレコを停止することができます。
(➔ 82 ページ)

1394TC プリセットモード

マルチカメラで撮影する時に、TC の初期値を同期にセットさせることができます。(以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。)

1 **2 台の機器を 1394 ケーブルで接続し、電源を入れます。(接続のしかたは ➔ 79 ページ)**

2 **MASTER 側をカメラモードにし、1394 端子から映像信号が出力される状態にします。**
- 両カメラの記録フォーマットを合わせてください。

以下はすべて SLAVE 側の操作です。

3 **MCR/VCR モードに切り替え、設定メニュー RECORDING SETUP 画面の FIRST REC TC を PRESET モードにし、カウンターを TCG 表示にします。**
- REGEN 設定では行えません。

4 **設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 1394 IN PRESET 項目で、ON を選択します。(➔ 107 ページ)**
- 画面に 1394 TC と表示されます。

5 **テープの場合は、テープを停止またはイジェクト状態にします。**

6 **COUNTER RESET/TC SET ボタンを押します。1394 から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。**

7 **カメラモードに切り替えます。**

内蔵電池の充電 / タイムデータを設定する

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。ビューファインダーや液晶モニターの画面に［ ］の表示が出る時は、内蔵電池が消耗しています。
以下の方法で充電してください。
充電完了後、日時を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続する。
(➔ 20 ページ)
- 本機の POWER スイッチは、OFF のままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。
- 内蔵電池が充電されます。
- 充電を行った後は、TC やメニューを確認してください。

充電後も［ ］が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

タイムコードを設定する

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(➔ 106 ページ)
- **TC MODE 項目**
- **TCG 項目**
- **FIRST REC TC 項目 (テープのみ)**
- **TC PRESET 項目**
- **1394 TC REGEN 項目**（MCR/VCR モードの時にメニュー項目が表示されます。）

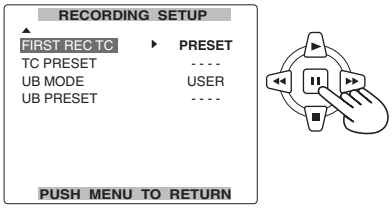
MCR/VCR モードの時は、1394 TC REGEN 項目が ON に設定されていると、上記に示す項目の設定を変更することができません。

タイムコードを指定する (TC PRESET 項目)

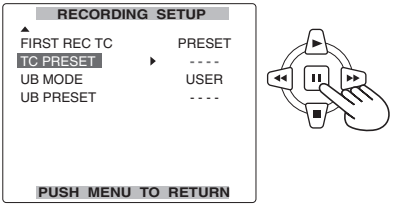
任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

1 本機の POWER スイッチを ON にする。

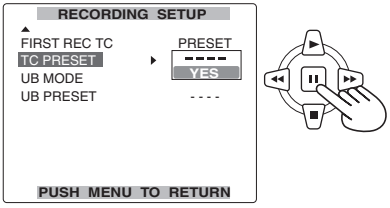
2 (テープのみ) 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の FIRST REC TC 項目で PRESET を選択する。
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン)」をご参照ください。(➔ 18 ページ)



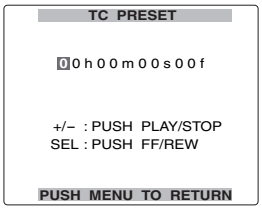
3 ▲、▼ ボタンを押して TC PRESET 項目に移動し、■ ボタンを押す。

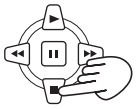


4 ▼ ボタンを押して YES に移動し、■ ボタンを押す。

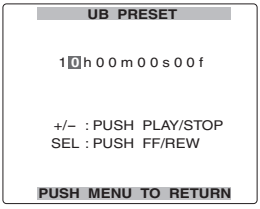


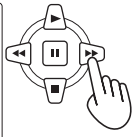
5 下記の画面が表示されたら
タイムコード値を設定する。
⏵、⏷ボタンを押して、タイムコード値を選択します。



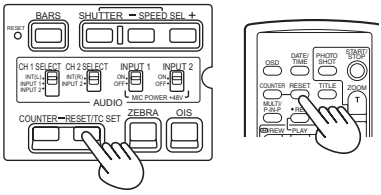


⏩ボタンを押して次のけたに移動し、再度⏵、⏷ボタンで値を選択します。





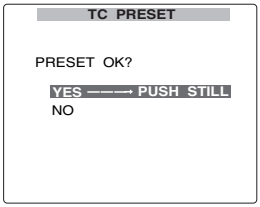
タイムコードを設定している時に COUNTER RESET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。

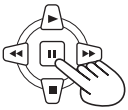


本体 または **リモコン**

6 タイムコード値の設定が完了したら
MENU ボタンを押す。

7 ⏵ボタンを押して YES に移動し、⏸ボタンを押す。





8 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモードを解除する。

本機では、フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。そのためフォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでご注意ください。

記録フォーマット	フレームレート	タイムコードの調整
1080i/24P 1080i/24PA 480i/24P 480i/24PA	—	5 フレーム単位
720P/60P 720P/30P 720P/24P	24	
720P/24PN	—	4 フレーム単位
720P/30PN	—	2 フレーム単位

ユーザーズビットを設定する

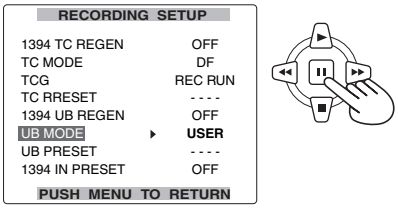
ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 けたまでのメモ（日付、時刻）などの情報をサブコードトラックに記録できます。
ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

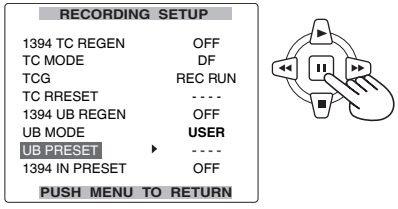
2 **設定メニュー RECORDING SETUP 画面の UB MODE で USER を選択する。**

- メニューの操作 (➔ 95 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン)」をご参照ください。(➔ 18 ページ)

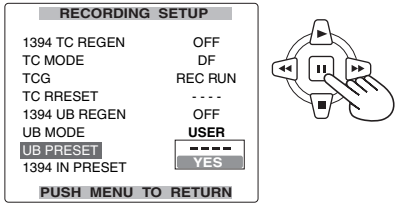
例：MCR モード時



3 **▲、▼ボタンを押して UB PRESET 項目に移動し、⏸ボタンを押す。**



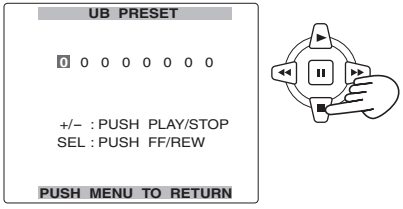
4 **▼ボタンを押して YES に移動し、⏸ボタンを押す。**



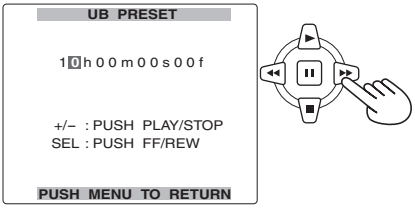
5 **ユーザーズビットを設定する。**

▲、▼ボタンを押して、ユーザーズビットの文字を選択します。

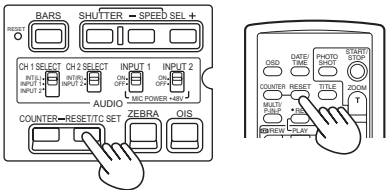
- 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の 0 ～ 9 とアルファベットの A ～ F です。



▶ボタンを押して次のけたに移動し、再度▲、▼ボタンで文字を選択します。



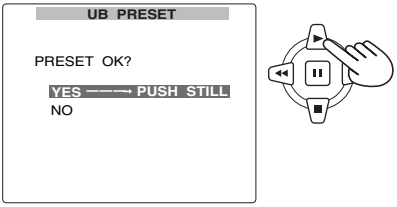
ユーザーズビットを設定している時に、COUNTER RESET ボタンを押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。



本体　または　**リモコン**

6 ユーザーズビットの設定が完了したら
MENU ボタンを押す。

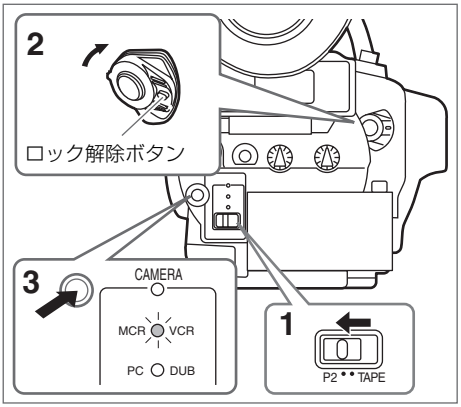
7 ▷ボタンを押して YES に移動し、⏸ボタンを
押す。



8 MENU ボタンを 2 度押して、メニューモード
を解除する。

再生の基本操作 (P2 カード)

P2

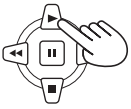
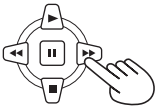
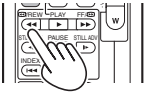
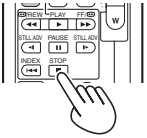
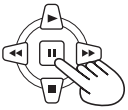
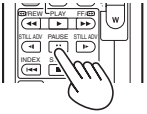


1 電源を入れる前に
MEDIA スイッチを P2 側にする。

2 **POWER スイッチを ON にする。**
ロック解除ボタンを押しながら POWER スイッチを ON の位置まで動かします。

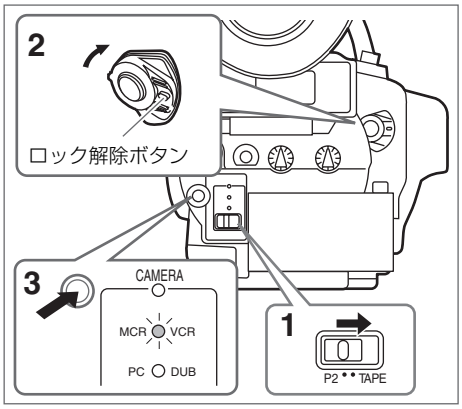
3 **動作モードボタンを押して、MCR ランプを点灯させる。**
本機が MCR モードになります。
- 押すたびに、以下のように切り替わります。
  MCR ⇄ CAMERA
  MCR の後に動作モードボタンを長押しすると、PC（パソコン接続）モードになります。
  (➔ 83 ページ)

サムネールを使ったクリップの再生について詳しくは 66 ページをご覧ください。

本機の操作ボタン		リモコン
	**再生する（▶）** 停止中に押すと、選択されたクリップの頭から再生します。 再生中に押すと、可変速サーチモード (➔ 73 ページ) になり、× 1 倍速で再生します。	
	**早送り再生をする（▶▶）** 再生中に押すと、選択中のクリップ内で早送り再生します。(× 4 倍速) サムネール画面を解除している時は、停止中でも行えます。 押したままにすると、速度が速くなります。(× 32 倍速) 一時停止中に押すと、クリップを 1 つ進めます。	
	早戻し再生をする（◀◀） 再生中に押すと、選択中のクリップ内で早戻し再生します。(× 4 倍速) サムネール画面を解除している時は、停止中でも行えます。 押したままにすると、速度が速くなります。(× 32 倍速) 一時停止中に押すと、クリップを 1 つ戻します	
	停止する（■）	
	**一時停止する（❚❚）** 再度押すと、再生に戻ります。	

再生の基本操作（テープ）

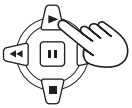
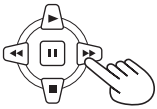
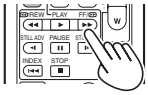
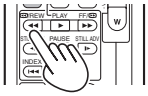
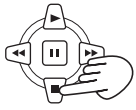
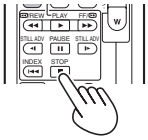
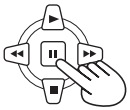
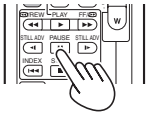
TAPE



1 電源を入れる前に
MEDIA スイッチを TAPE 側にする。

2 **POWER スイッチを ON にする。**
ロック解除ボタンを押しながら POWER スイッチを ON の位置まで動かします。

3 **動作モードボタンを押して、VCR ランプを点灯させる。**
本機が VCR モードになります。
- 押すたびに、以下のように切り替わります。
  VCR ⇄ CAMERA
  VCR の後に動作モードボタンを長押しすると、DUB（ダビング）モードになります。
  （➔ 86 ページ）

本機の操作ボタン		リモコン
	**再生する（▶）** 停止中に押すと、停止位置から再生します。 再生中に押すと、可変速サーチモード（➔ 73 ページ）になり、× 1 倍速で再生します。（音声は再生されません。）	
	**早送り再生、早送りをする（▶▶）** 再生中に押すと、早送り再生します。（× 10 倍速） 停止中に押すと、テープを早送りします。	
	早戻し再生、巻き戻しをする（◀◀） 再生中に押すと、早戻し再生します。（× 10 倍速） 停止中に押すと、テープを巻き戻します。	
	**停止する（■）**	
	**一時停止する（❚❚）** 再度押すと、再生に戻ります。	

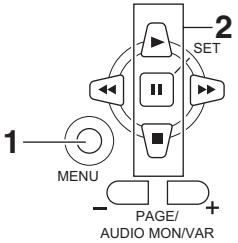
テープ保護モード
本機はテープ保護のため、再生一時停止や記録一時停止の状態で約５分経過すると、自動的に停止状態になります。ただし、低温時の再生一時停止状態では、停止する時間が早くなります。

サムネール画面について

P2 カードでの 1 回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。MEDIA スイッチが P2 の状態で MCR モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。（クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。）
サムネール画面を使って、以下のようなことが行えます。
- クリップの再生、修復、削除や、ショットマークの付加、消去
- P2 カード、SD メモリーカードのフォーマット
- SD メモリーカードから本機へメタデータ（撮影情報など）のロードなど

サムネール画面の基本操作

サムネールメニューを使うには：

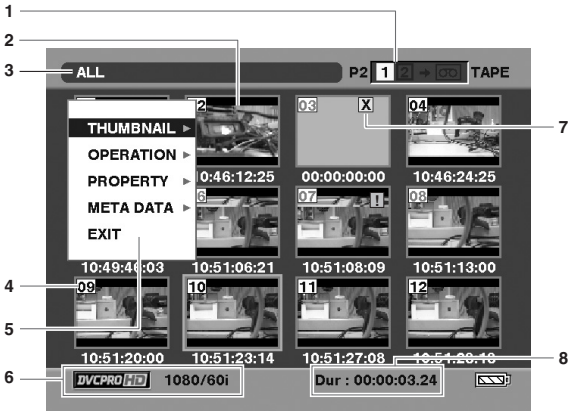


1 **サムネール画面で MENU ボタンを押し、メニューを表示させる。**

2 **▲、▼ボタンで項目を選び、⏸（または▶）ボタンを押す。**
さらにメニューが表示された場合は、この操作を繰り返します。
- 1 つ前の画面に戻るには、EXIT を選んで ⏸を押すか、または ◀ボタンを押します。
- メニューモードを解除するには MENU を押します。

サムネールを選ぶには：◀、▶ボタンでサムネールを選び（黄色の枠が移動）、⏸ボタンを押す。（枠が青緑色に変わります。）再度⏸ボタンを押すと、選択は解除されます。ページ移動するには、PAGE（− または ＋）ボタンを押します。

クリップを再生するには：サムネールを選んで ▶ ボタンを押す。（再生について詳しくは ➔ 64 ページ）
- 記録フォーマット（下図 6）と同じクリップのみ再生できます。



- THUMBNAIL
  - ALL CLIP
  - SAME FORMAT CLIPS
  - SELECTED CLIPS
  - MARKED CLIPS
  - TEXT MEMO CLIPS
  - SLOT CLIPS
  - SETUP
  - EXIT
- OPERATION
  - DELETE
  - FORMAT
  - REPAIR CLIP
  - EXIT
- PROPERTY
  - CLIP PROPERTY
  - CARD STATUS
  - DEVICES
  - PROPERTY SETUP
  - SYSTEM INFO
  - EXIT
- META DATA
  - LOAD
  - RECORD
  - INITIALIZE
  - PROPERTY
  - EXIT

- コンポーネント映像出力端子からはサムネール画面は出力されません。

1 **スロット番号 / ダビングモード表示**
選択されたクリップが、どのスロットの P2 カードにあるかを示しています。(番号が黄色になります。) クリップが2つのスロットにまたがって記録されている場合は、両方の番号が黄色になります。
ダビングモードの時は、矢印とテープマークが点灯します。

2 **サムネール**
各クリップの最初の映像を表示します。

3 **サムネールの表示状態 (➔ 68 ページ)**
サムネール表示するクリップの種類を示しています。

4 **クリップ番号**
撮影した順番に表示されます。(2000 まで)
記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。
赤数字のクリップを再生するには、設定メニュー RECORDING SETUP の REC FORMAT 項目を、下記 6 のフォーマットに合わせてください。(➔ 105 ページ)

5 **メニュー表示**
各種メニュー項目が表示されます。
EXIT を選び ⏸ ボタンを押すと、メニュー表示が消えて元の画面に戻ります。

6 **記録モード / フォーマット表示**
記録した映像の記録モードとフォーマットが表示されます

7 **各種インジケーター**
M：ショットマーク
ショットマークが付いていることを示しています。(➔ 右記)
W：ワイド
16:9 の画角で記録されていることを示しています。(480i 記録の場合)
!：不完全クリップ
2 枚の P2 カードにまたがって記録されているのに、片方のカードがスロットに入っていない場合に表示されます。
X：不良クリップ
記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合があるクリップに表示されます。
黄色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは修復が可能です。
赤色の不良クリップインジケーターが表示されたクリップは修復できませんので、削除してください。削除できない場合は、バックアップを取った後に P2 カードをフォーマットしてください。
フォーマットが異なるクリップの場合は、代わりに (?) が表示されます。
V：ボイスメモ
ボイスメモがあることを示しています。(本機では記録 / 再生はできません)
T：テキストメモ
テキストメモがあることを示しています。
E：エディットコピー
エディットコピークリップであることを示しています。(本機では編集できません。)
P：プロキシ
プロキシが付加記録されていることを示しています。(本機では記録できません。)

8 **デュレーション表示**
選択したクリップのデュレーションが表示されます。

クリップにショットマークを付ける

ショットマーク (M) を付けておくと、好みのクリップを探すのに便利です。

1 ⏪、⏩ボタンを押して、黄色の枠をショットマークを付けたいクリップに移動させる。

2 ショットマーク機能を割り当てた USER ボタンを押す。(➔ 103 ページ)

ショットマークを解除するには、上記操作を再び行ってください。

サムネール画面を解除する

設定メニューの操作 (➔ 95 ページ) を行うには、サムネール画面を解除する必要があります。
ノンリニア編集機器から本機をコントロールする場合も同様に解除してください。

1 AUDIO DUB/THUMBNAIL ボタンを押す。

通常の再生待機画面 (1394 入力モード) になります。

ダイレクト撮影機能について

MCR モードの時に START/STOP ボタン (赤) を押すと、自動的にカメラモードに切り替わり、撮影が始まります。

サムネールの操作

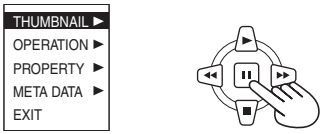
P2

サムネールの表示方法を選ぶ（THUMBNAIL）

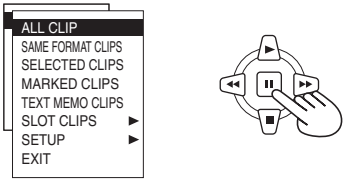
好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。
また、サムネール表示のしかたをさらに細かく設定することもできます。

1 **サムネール画面で MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。(➔ 66 ページ)

2 **▲、▼ボタンでTHUMBNAILを選び、⏸(または⏭) ボタンを押す。**



3 **▲、▼ボタンで項目を選び、⏸ボタンを押す。**



ALL CLIP：
すべてのクリップを表示します。
SAME FORMAT CLIPS：
記録フォーマットと同じクリップを表示します。
SELECTED CLIPS：
任意に選択したクリップを表示します。
MARKED CLIPS：
ショットマークが付いたクリップを表示します。
TEXT MEMO CLIPS：
テキストメモが付いたクリップを表示します。テキストメモの位置のサムネール、TC、メモの総数、および現在の順番が表示されます。

テキストメモを削除するには

1) ⏸ボタンを押して編集画面を表示させ、サムネールを選ぶ。
2) MENU ボタンを押してメニューを表示させ、OPERATION-DELETE を選ぶ。

SLOT CLIPS：
特定のスロットにある P2 カードのクリップを表示します。
SETUP：
各種セットアップを行います。
EXIT：1 つ前の画面に戻ります。

SETUP を選んだ場合のみ、次の手順 **4** に進んでください。

4 **▲、▼ボタンで設定項目を選び、⏸ボタンを押す。**

MARKED IND.：
ショットマークインジケーターの表示 / 非表示（ON/OFF）を設定します。
TEXT MEMO IND.：
テキストメモインジケーターの表示 / 非表示（ON/OFF）を設定します。
VOICE MEMO IND.：
ボイスメモインジケーターの表示 / 非表示（ON/OFF）を設定します。
WIDE IND.：
ワイドインジケーターの表示 / 非表示（ON/OFF）を設定します。
PROXY IND.：
プロキシインジケーターの表示 / 非表示（ON/OFF）を設定します。
DATA DISPLAY：
クリップの時間表示の部分を、タイムコード（TC）/ ユーザービット（UB）/ 撮影時間（TIME）/ 撮影日（DATE）/ 撮影日時（DATE TIME）のいずれかから選択します。
DATE FORMAT：
記録日時の表示順を、年月日（YMD）/ 月日年（MDY）/ 日月年（DMY）のいずれかから選択します。
この表示は、クリップのプロパティで表示される記録日、および DATA DISPLAY で表示される記録日に反映されます。
THUMBNAIL SIZE：
1 画面に表示されるサムネールを、LARGE（3 x 2）/NORMAL（4 x 3）のいずれかから選択します。
THUMBNAIL INIT：
上記すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
EXIT：1 つ前の画面に戻ります。

5 **MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。**

クリップの消去やカードのフォーマットなどを行う（OPERATION）

以下の操作が行えます。
必要に応じて各準備を行ってください。

クリップの消去

- 消去するクリップを選び ⏸ ボタンを押してください。

P2 カード、SD メモリーカードのフォーマット

- フォーマットするカードを本機に挿入してください。
- 実行するとすべてのデータが消去されます。

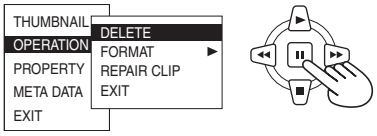
不良クリップの修復

- 修復する不良クリップ（ X が表示）を選んでおいてください。（ただし X が赤色の場合は修復できません。）

1 **サムネール画面で MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。（➔ 66 ページ）

2 **🔼、🔽 ボタンでOPERATIONを選び、⏸（または⏩）ボタンを押す。**

3 **🔼、🔽 ボタンで項目を選び、⏸ ボタンを押す。**



DELETE：
選択したクリップを消去します。
消去する / しない（YES/NO）を選び、⏸ ボタンを押してください。

FORMAT：
P2 または SD メモリーカードをフォーマットします。
FORMAT に移動するとカード選択画面が出ますので、P2 のスロット（SLOT1/SLOT2) または SD CARD を選び、⏸ ボタンを押します。
フォーマットする / しない（YES/NO）を選び、⏸ ボタンを押してください。

REPAIR CLIP：
不良クリップを修復します。
修復する / しない（YES/NO）を選び、⏸ ボタンを押してください。
- クリップを修復するとTEXT MEMOのデータは消去されます。

EXIT：1 つ前の画面に戻ります。

4 **MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。**

- クリップをエクスプローラーなどの操作でコピーした場合、クリップに「！」インジケーターが表示されることがあります。このような場合には、下記のウェブサイトから最新の P2 ビューアをダウンロードの上、パソコンにインストール後、再度コピーしていただくことで、「！」を解除できる場合があります。

http://panasonic.biz/sav/

クリップやカードの情報を確認する（PROPERTY）

以下の操作が行えます。
必要に応じて各準備を行ってください。

クリップ情報の確認
- 確認するクリップにカーソルを移動してください。

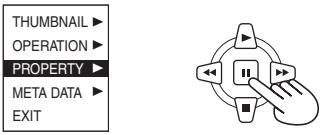
P2 カード情報の確認
- P2 カードを本機に挿入してください。

SD メモリーカード情報の確認
- SD メモリーカードを本機に挿入してください。

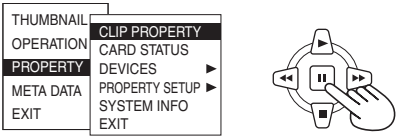
P2 カード容量表示の設定
本機システムのバージョン確認

1 **サムネール画面で MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。(➔ 66 ページ)

2 **▲、▼ボタンで PROPERTY を選び、❚❚(または▶) ボタンを押す。**



3 **▲、▼ボタンで項目を選び、❚❚ボタンを押す。**



CLIP PROPERTY：
選択したクリップの情報が表示されます。(➔ 右記)

CARD STATUS：
P2 カードの情報が表示されます。(➔ 71 ページ)

DEVICES：
SD メモリーカードの情報が表示されます。(➔ 71 ページ)

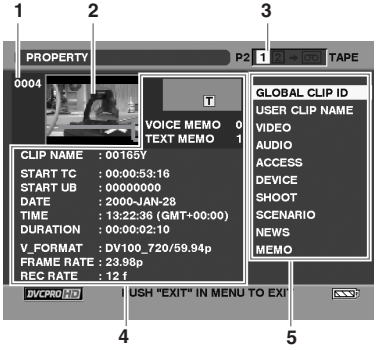
PROPERTY SETUP：
P2 カードの容量表示方法を設定します。
P2 CARD CAP を選んだ後、REMAIN（残量）または USED（使用量）を選択し、❚❚ボタンを押してください。

SYSTEM INFO:
本機システムのバージョンが表示されます。

EXIT：1 つ前の画面に戻ります。

4 情報画面を解除するには
MENU ボタンを押し、▼ボタンで EXIT を選び、❚❚ボタンを押す。

クリップの情報画面



1 クリップ番号

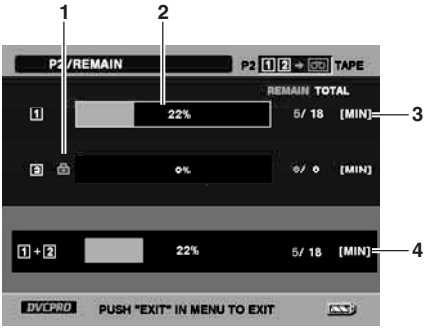
2 サムネール

3 スロット番号 / ダビングモード表示

4 クリップ情報
クリップに付加された各種インジケーターや、さまざまなデータを表示します。(P2 カードにライトプロテクトがかけられている時は、🔒を表示します。)
CLIP NAME：クリップ名
START TC：記録開始時のタイムコードの値
START UB：記録開始時のユーザービットの値
DATE：記録した日付
TIME：記録開始時の時刻
DURATION：クリップの長さ
V_FORMAT：ビデオ信号フォーマット
FRAME RATE：再生フレームレート
REC RATE：記録フレームレート
- この表示は 720P/24PN および 720P/30PN 記録時に SCENE FILE 画面の FRAME RATE 項目の設定が Default 以外の収録時に表示されます。

5 クリップメタデータ
映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。
▲、▼ボタンで項目を選び、❚❚ボタンを押してください。(クリップメタデータの内容については ➔ 58 ページをご覧ください。)

P2 カードの情報画面



1 書き込み禁止マーク

2 P2 カードの状態

P2 カードの残量を、メーターとパーセントで示します。

またカードの状態によっては、以下のような表示が出ます。

FORMAT ERROR :

フォーマットされていない P2 カードが挿入されています。

NOT SUPPORTED :

本機に対応していないカードが挿入されています。

NO CARD :

カードが入っていません。

- 選択されているスロット（黄色数字で表示）のカード情報を、SET ボタンを押すことで見ることができます。

BRAND：メーカー名

MODEL NO.：品番

SERIAL NO.：シリアル番号

USER ID：ユーザー ID

3 P2 カード残量 / 総容量

P2 カードの残量 / 総容量を分単位で表示します。

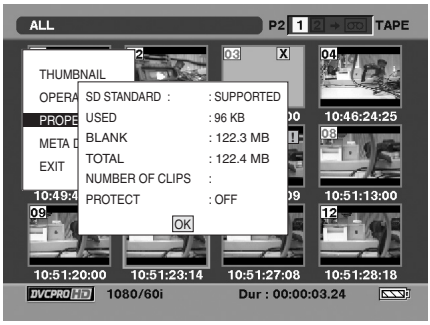
分以下は切り捨てのため、スロット合計とは一致しない場合があります。

4 スロット合計

2 つのスロットを合計した数値です。

ただし、書き込み禁止状態の P2 カードの残量は、総残量に含まれません。

SD メモリーカードの情報画面



SD STANDARD :

SD メモリーカードが SD 準拠でフォーマットされている / いない（SUPPORTED/NOT SUPPORTED) を表示します。

USED : 使用量

BLANK : 残量

TOTAL : 全容量

NUMBER OF CLIPS : クリップ数

PROTECT :

SD メモリーカードの書き込み禁止状態を表示します。

メタデータのアップロードなどを行う（META DATA）

以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

メタデータのロード

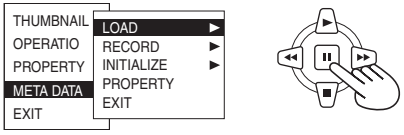
- メタデータを記録したSDメモリーカードを本機に挿入してください。（メタデータの作成については ➔58 ページ）

メタデータを P2 カードに記録する / しないの選択
本機内メタデータの初期化
本機内メタデータの表示

1 **サムネール画面で MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。（➔ 66 ページ）

2 **▲、▼ボタンでMETA DATAを選び、■（または▶）ボタンを押す。**

3 **▲、▼ボタンで項目を選び、■ボタンを押す。**



LOAD：
SD メモリーカードにセットしたメタデータを本機にロードします。
LOAD に移動した状態で ■ボタンを押すと、SD メモリーカードのメタデータが表示されますので、再度 ■ボタンを押してください。
ロードする / しない（YES/NO）を選び、■ボタンを押してください。

RECORD：
本機にロードするメタデータを同時に P2 カードに記録するかどうかを設定します。
記録する / しない（ON/OFF）を選び、■ボタンを押してください。工場出荷モードは OFF です。

INITIALIZE：
本機に記録されたメタデータを初期化します。RECORD の ON/OFF 設定を含め、すべてクリアされます。
初期化する / しない（YES/NO）を選び、SET を押してください。

PROPERTY：
本機に記録されたメタデータを表示します。

EXIT：1 つ前の画面に戻ります。

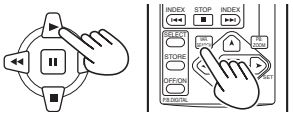
4 **MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。**

再生に便利な機能

可変速サーチ（P2 カード / テープ）

再生速度を変えて、場面を探すことができます。

1 再生中に、▶ ボタンを押す。
リモコンの場合は、VAR. SEARCH ボタンを押してください。



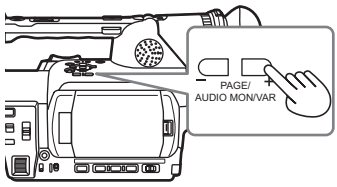
本体　または　**リモコン**

ビューファインダーや液晶モニターに［1 ×］が表示され、× 1 倍速で再生します。
この時、音声は再生されません。

2 AUDIO MON/VAR ボタンを押して、再生速度を切り替える。
リモコンの場合は、SET ボタンの［▼］または［▲］を押してください。

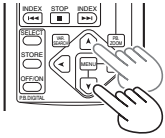
- P2 カードの場合は、ボタンを押すごとに 1/5 倍速、1 倍速、2 倍速、4 倍速、12 倍速、24 倍速と再生速度が変更します。
- テープの場合は、ボタンを押すごとに 1/5（LP モードは 1/3）倍速、1 倍速、2 倍速、5 倍速、10 倍速、20 倍速と再生速度が変化します。
- ＋ボタンで正方向に速度を変化させ、－ボタンで逆方向に速度を変化させます。

本体



または

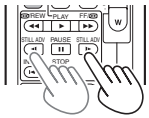
リモコン



通常の再生に戻すには、▶ ボタンまたはリモコンの VAR. SEARCH ボタンを押します。

スロー再生（P2 カード / テープ）

1 再生中に、リモコンの STILL ADV ボタン（◀❙ または ❙▶）を押す。



通常の再生に戻すには、▶ ボタンを押します。

早送り / 早戻し再生（P2 カード）

1 P2 カードの再生中に、◀◀（早戻し）または ▶▶（早送り）ボタンを押す。
× 4 倍速で早送り / 早戻し再生します。
押したままにすると、速度が早くなります。
（×３２倍速）

本体　または　**リモコン**

通常の再生に戻すには、▶ ボタンを押します。

早送り / 巻き戻し再生（テープ）

1 テープの再生中に、◀◀（巻き戻し）または ▶▶（早送り）ボタンを押す。
× 10 倍速で早送り / 巻き戻し再生します。

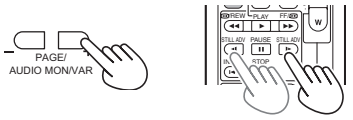
本体　または　**リモコン**

通常の再生に戻すには、▶ ボタンを押します。

コマ送り再生（P2 カード / テープ）

1 **再生中に、❚❚ ボタンを押して、一時停止状態にする。**

2 PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンを押す。
リモコンの場合は STILL ADV ボタン（▮► または ◄▮）を押します。
• 押し続けると、連続してコマ送りします。



本体　　または　**リモコン**

通常の再生に戻すには、► ボタンを押します。

クリップ送り / 戻し（P2 カード）

1 **再生中に、❚❚ ボタンを押して、一時停止状態にする。**

2 **◀◀（早戻し）または ▶▶（早送り）ボタンを押す。**

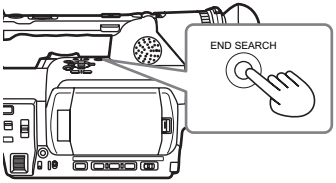
本体　　または　**リモコン**

エンドサーチ（テープ）

無記録部分を検索することや、撮影した最後の部分を検索することができます。

1 **設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の END SEARCH 項目で、検索動作を設定する。(➔ 113 ページ)**
BLANK：
テープの無記録部分を検索します。
REC END：
撮影した最後の部分を検索します。

2 VCR モードの時は
END SEARCH ボタンを押す。
• テープの無記録部分を検索し、無記録部分の数秒手前で静止画になります。
カメラモードの時は
END SEARCH ボタンを 1 秒以上長押しする。
• テープの無記録部分を検索し、無記録部分の数秒手前で撮影一時停止状態になります。



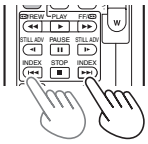
• REC END に設定していても、テープを取り替えると、撮影した最後の部分を検索することができません。
• テープに記録部分がない場合は、テープ終端で停止します。
• テープ始端付近や途中に無記録部分がある場合、正しく動作しないことがあります。
• 記録する時は、検索した画像を確認してから行ってください。

インデックスサーチ（テープ）

テープに記録されたインデックス信号 (➔ 50 ページ) を検索します。
インデックスサーチは、付属のワイヤレスリモコンで行うことができます。

1 テープの再生中に、ワイヤレスリモコンの INDEX ボタン（I◀◀ または ▶▶I）を押す。

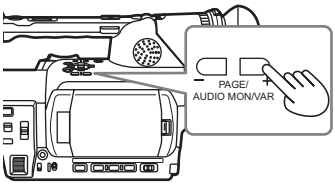
- ビューファインダーや液晶モニターの画面に［S1］が表示されて、次の場面の頭出しを始めます。
- 頭出し動作開始後、INDEX ボタンを押すごとに、［S2］［S3］が表示され、2 場面目以降の頭出しをすることができます。頭出しをすると、その部分から再生を始めます。（頭出し指定ができるのは、前後 9 場面目までです。



- サーチを途中でやめる場合は、■ ボタンを押します。

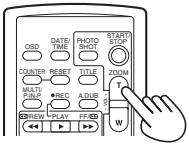
インデックスとインデックスの間隔が 1 分以内の場合は、うまく働かないことがあります。

音量を調整する（P2 カード / テープ）



1 AUDIO MON/VAR ボタンで、内蔵スピーカーと PHONES ジャックから出力される音量を調整する。

リモコンの場合、ZOOM/VOL ボタンを押します。



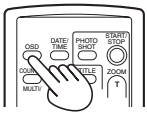
テレビに接続して見る（P2 カード / テープ）

AV コード（別売）、S 映像コード（別売）、またはコンポーネント映像コード（付属）を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

1 本機とテレビを接続する。(➔ 80 ページ)

2 本機を再生する。

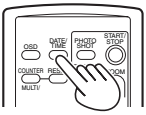
- ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示する時は、リモコンの OSD ボタンを押します。（ただし、テープでの記録時には表示されません。）再度、OSD ボタンを押すと、表示が消えます。



撮影日時を確認する（P2 カード / テープ）

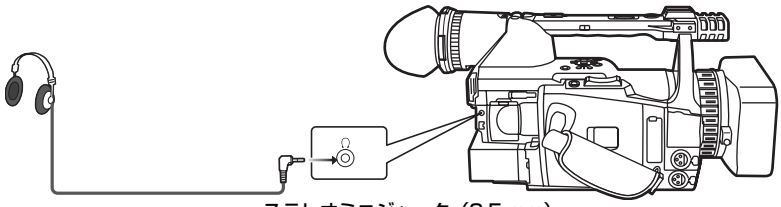
リモコンの DATE/TIME ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

時刻の表示
↓
日付の表示
↓
時刻と日付の表示
↓
表示なし



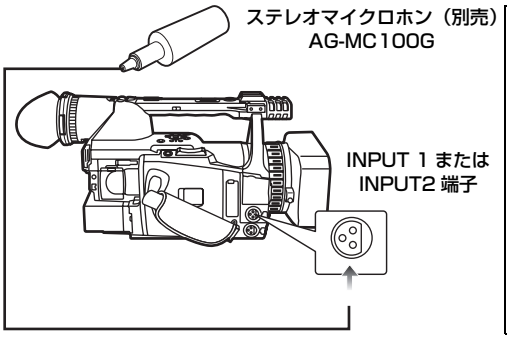
外部機器を接続する

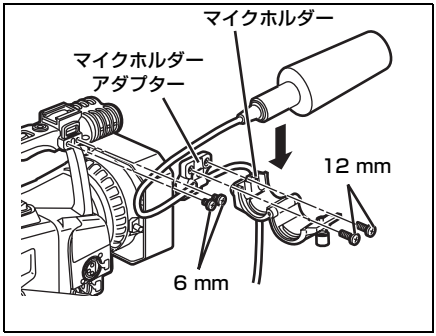
ヘッドホン



ステレオミニジャック（3.5 mm）

外部マイク

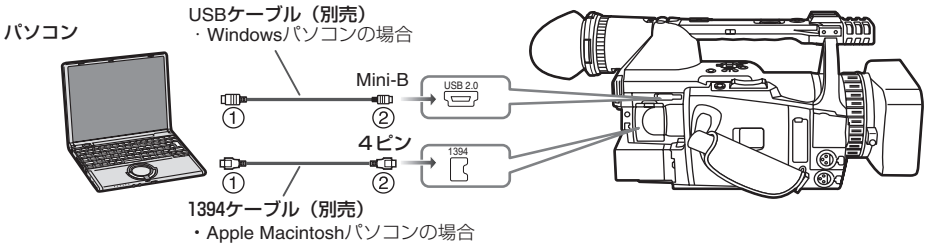




- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。
- マイクホルダーおよびマイクホルダーアダプターをネジで取り付ける際、ゴムとの摩擦音がしますが、しっかりと締め付けてください。

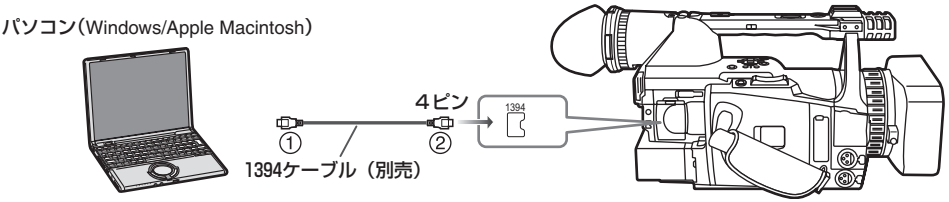
パソコン（ノンリニア編集 / ファイル転送）

ファイル転送 / ノンリニア編集



- パソコンの条件等については ➔ 83 ページ

1394 AVC 転送 / ノンリニア編集



- ノンリニア編集機器から本機をコントロールする場合は、本機のサムネール画面を解除してください。（➔ 67 ページ）
- パソコンから本機への転送中に、本機から同時に出力される映像・音声信号については保証されません。

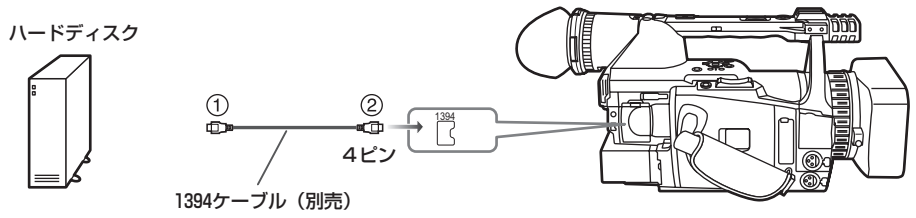
Macintosh に本機を接続する場合

- Macintosh の電源を入れた後、1394 ケーブルを接続してください。本機がマウントされないことがあります。
- Macintosh が省電力設定によってスリープした後は、本機を認識しないことがあります。この場合、1394 ケーブルを抜いて再度挿入してください。

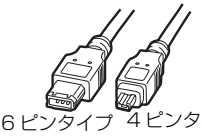
Macintosh に本機が正しくマウントされない場合

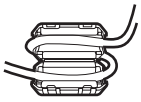
- P2 カードのアクセスランプがオレンジ色点滅している時：
  1. アプリケーション→ユーティリティ→ディスクユーティリティを起動する
  2. X.X GB Panasonic ディスクのボリュームの中からグレー表示のものを選び、「マウ ント」をクリックする。
- P2 カードのアクセスランプが消灯している時：
  P2 カードを抜いて再度挿入してください。それでもマウントされない時は、1394 ケーブルを抜いて再度挿入してください。

ハードディスク（データコピー）

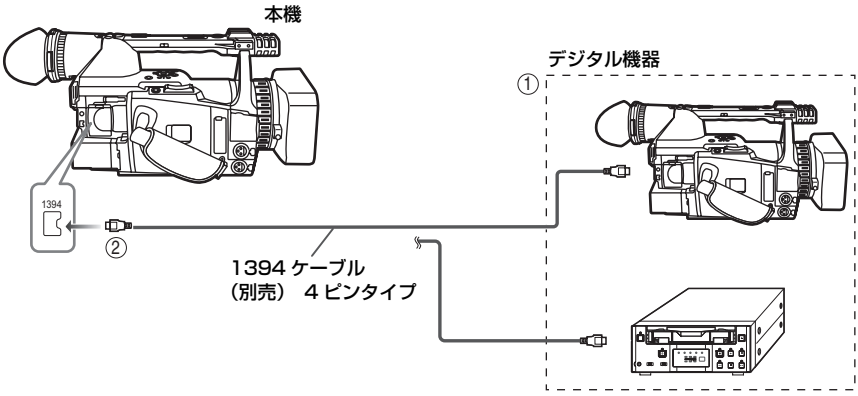


• 1394 ケーブルを接続する時や外す時は、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
• **6 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合、1394 ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。また 1394 ケーブルは、6 ピン端子を使用している機器を先に接続してください。(①→②)。USB ケーブルも同様です。**
• 1394 端子に 1394 ケーブルを接続した時に、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
• パソコンと接続する場合は、パソコン側の端子から 5 センチ程度に収まるように、1394 ケーブルにフェライトコア（付属）を取り付けてください。ケーブルを右図のように巻きつけた後、「パチッ」と音がしてロックするまでフェライトコアを閉めてください。

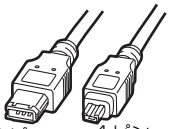



フェライトコア（付属）

デジタルビデオ（ダビング）



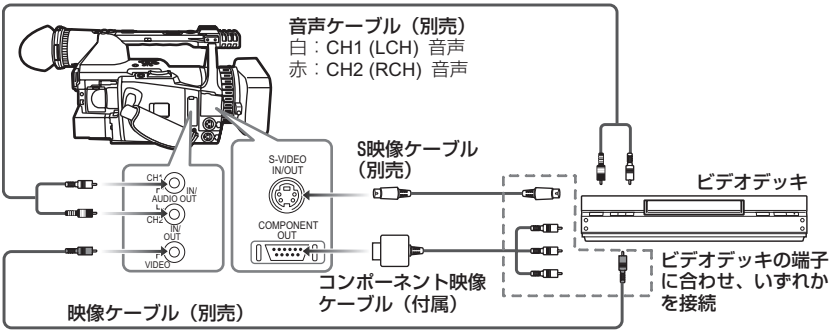
■ 1394 端子が搭載されているデジタルビデオ機器を接続して、映像信号や音声信号、また、タイムコードなどを、デジタルで伝送することができます。
• 1394 ケーブルを接続する時や外す時は、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
• 6 ピンタイプの 1394 端子を使用している機器と接続する場合、1394 ケーブルと端子の形状をよく確認して接続してください。逆に接続すると、本機内部の部品が破損し、故障の原因となります。また 1394 ケーブルは、6 ピン端子を使用している機器を先に接続してください。(①→②)
• 外部機器からの信号を記録する場合、映像信号が入力されていることを確認してから記録を行ってください。
• 外部機器から信号を記録している時は、外部機器側で出力を停止したり、ケーブルを抜かないでください。再度記録を行う時に認識できないことがあります。



• 1394 端子に 1394 ケーブルを接続した時に、外部から強い負荷を加えないでください。端子が破損することがあります。
• 外部機器からの信号を記録する場合、再生映像は保証されません。(映像確認レベルです。)
• DVD 機器での自動録画機能は正常に動作しないことがあります。その場合、手動で録画してください。

ビデオデッキ（ダビング）

コンポーネント映像ケーブルの場合は、本機からの出力のみです。



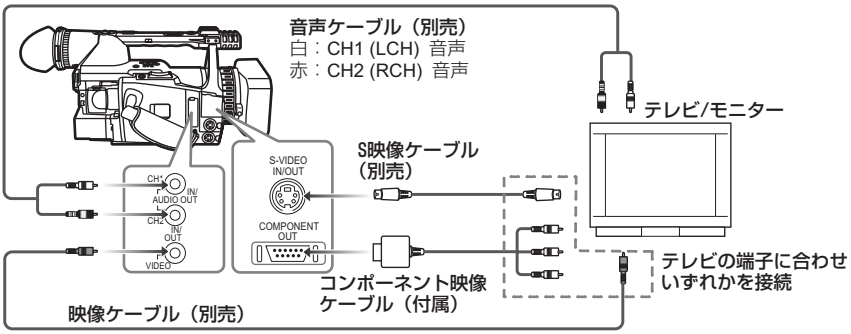
■ 外部機器の映像信号や音声信号を本機に入力する場合、外部機器の出力端子に接続します。（テープモードのみ）

■ 本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- アフレコを行う時以外は、S-VIDEO IN/OUT 端子や VIDEO IN/OUT 端子に映像信号が入力されていないと、音声信号を記録することができません。
- S-VIDEO IN/OUT 端子と VIDEO IN/OUT 端子では、S-VIDEO IN/OUT 端子の信号が優先されます。

テレビ / モニター（再生 / ダビング）

コンポーネント映像ケーブルの場合は、本機からの出力のみです。



- COMPONENT OUT と、S-VIDEO または VIDEO OUT を同時に接続すると、COMPONENT OUT の出力が優先されます。同時出力はできません。
- コンポーネント映像ケーブルで接続する時、接続機器の端子が BNC タイプの場合は、ピン -BNC 変換プラグ（付属）をご使用ください。

アフレコをする

TAPE

テープに撮った映像に、BGM やナレーションを入れることができます。

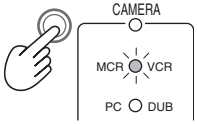
1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目で、音声の記録方式を選択する。**
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)

32K(12bit)：
12bit/32kHz（4 チャンネル）で音声を記録します。
アフレコを行っても、撮影時の音声を残しておく場合は、この設定にしてください。
48K(16bit)：
16bit/48kHz（音質の良い 2 チャンネル）で音声を記録します。
アフレコを行うと、撮影時の音声が消えます。

3 **撮影を行う。**

4 **動作モードボタンを押して、VCR モードに切り替える。**



5 **設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の A. DUB INPUT 項目で、記録する音声を選択する。**
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)

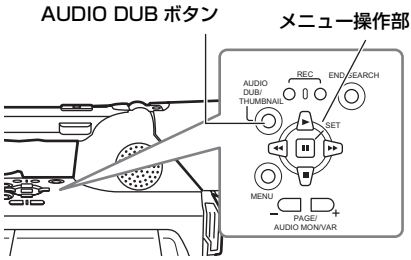
MIC：
内蔵マイクロホンや INPUT1/2 端子に接続した外部機器の音声を記録します。(CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチで切り替えます。)
A_IN：
AUDIO IN/OUT 端子（ピンジャック）に接続したオーディオ機器の音声を記録します。

6 **アフレコしたい場面を探し、一時停止状態にする。**

7 **AUDIO DUB ボタンを押して、アフレコの準備状態にする。**
リモコンの場合は、A. DUB ボタンを押します。
- 「A.DUB ❚❚」が表示されます。

8 **❚❚ ボタンを押し、音声を入力してアフレコを開始する。**
再度 ❚❚ ボタンを押すと、一時停止状態になります。
引き続きアフレコを行う時は、手順 7、8 を繰り返します。

- アフレコを終了する時は、■ ボタンを押します。



LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコできません。

編集

各入力と記録される音声トラック

入力	撮影時	アフレコ時
内蔵マイク L	CH1	CH3
内蔵マイク R	CH2	CH4
INPUT 1（XLR）	CH1	CH3
INPUT 2（XLR）	CH2（CH1）	CH4（CH3）
AUDIO IN/OUT CH1（ピンジャック）	ー	CH3
AUDIO IN/OUT CH2（ピンジャック）	ー	CH4

撮影時に記録する音声トラックは、CH1 SELECT スイッチと CH2 SELECT スイッチで変更可能です。
アフレコ時に記録する音声トラックは、AV IN/OUT SETUP 画面の A. DUB INPUT 項目（➔ 109 ページ）で変更可能です。

音声入力レベルを調整する

内蔵マイクロホンや、INPUT 1/2 端子に入力された音声信号の記録レベルを、AUDIO コントロールつまみで調整します。

- AUDIO IN/OUT CH1/CH2 端子に入力された音声信号は調整できません。

アフレコした音声を聞く

設定メニュー PLAYBACK FUNCTIONS 画面の 32K AUDIO 項目で、アフレコした音声と、撮影時の音声を切り替えることができます。
（➔ 108 ページ）

ST1：
撮影時の音声を再生します。

ST2：
アフレコした音声を再生します。

MIX：
撮影時の音声とアフレコした音声を同時に再生します。

音声を聞きながらアフレコする

「ST2」に設定すると、アフレコ中の音声を確認できます。
マイク入力でアフレコを行っている時は、ヘッドホンを使うと音声を聞きながらアフレコすることができます。
AUDIO IN/OUT 端子に接続したオーディオ機器でアフレコを行っている時は、スピーカーで音声を聞きながらアフレコすることができます。

メモリーストップモードを使ってアフレコの編集をする

1）あらかじめ、アフレコを終了させる位置でメモリーストップモードのカウンターをリセットしておきます。（➔ 59 ページ）
2）アフレコを開始する位置までテープを巻き戻して、アフレコを開始します。
3）リセットした位置で、自動的にテープが停止します。

P2 カードのノンリニア編集をする（PC モード） P2

編集用のパソコンと USB ケーブル（Windows）、または 1394 ケーブル（Apple Macintosh）で接続して、P2 カード内の映像データをノンリニア編集することができます。(接続 ➔ 78 ページ)

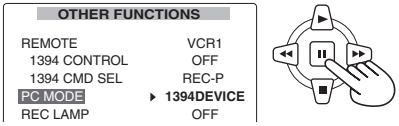
USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。
- Windows2000 または WindowsXP を搭載
- USB 専用ドライバーがインストールされている（付属の CD-ROM に添付）
- USB2.0（High Speed、MassStrageClass）対応（USB1.1 は対応していません）
- パソコンは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパソコンの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。
  また、3 m を超える USB ケーブルは使用しないでください。誤動作の原因になります。
- Macintosh での動作は保障していません。

1394 接続を行う場合は次の条件が必要です。
- Apple MacOSX 10.3 以上を搭載
- 1394.a（SBP2 プロトコル）に対応
- Windows での動作は保障していません。

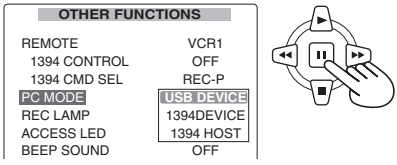
- P2 カードを本機に挿入し、MEDIA スイッチを P2 側にしてください。(➔ 28 ページ)

1 本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の PC MODE を選択し、⏸(または▷ボタン)を押す。
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン)」をご参照ください。(➔ 18 ページ)



3 △、▽ボタンで USB DEVICE または 1394 DEVICE を選び、⏸ボタンを押す。



4 MENU ボタンを 2 回押して、メニューモードを解除する。

5 動作モードボタンを押して MCR ランプを点灯させ、さらに長押し（2秒以上）する。
PC ランプが点灯し、PC モードになります。アクセス可能な状態になると、本機で USB（または 1394）DEVICE CONNECT が表示されます。(DISCONNECT が表示された場合は操作できません)

6 パソコンでノンリニア編集を行う。
パソコンのマイコンピューターに、P2 カードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。
- 詳しくは、パソコン側の編集ソフトの説明をご覧ください。
- カードを入れ替える場合、USB 接続の時はアクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してください。1394 接続の時はドライブアイコンをゴミ箱にいれてからカードを抜いてください。
- PC モードの間は、本機の操作が行えません。
- ケーブルを抜く時は、パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。1394 接続の場合は、本機で 1394 DEVICE DISCONNECT と表示されたのを確認してからケーブルを抜いてください。
  USB 接続の場合は、USB DEVICE CONNECT 表示のままですので、カードにアクセスしていないことを十分に確認の上、ケーブルを抜いてください。

7 本機の電源を切る。
- 動作モードボタンを長押ししても、PC モードは解除できません。

P2 カードは Type- Ⅱ準拠ですので、パソコンのカードスロットに直接挿入して、ノンリニア編集することもできます。
- Card Bus ドライバーが CD-ROM（付属）に入っています。

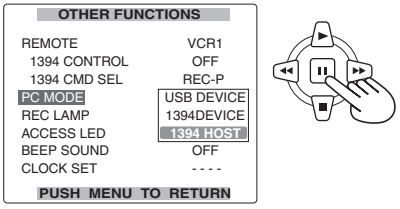
P2 カードから HDD にコピーする（1394 ホストモード）

P2

- コピーに十分な容量の HDD（ハードディスク）をご使用ください。
- HDD を本機用にフォーマットしてから行います。HDD 内のすべてのデータは消去されますので、ご注意ください。
- 本機と 1 台の HDD を 1394 ケーブルで接続してください。(➔ 78 ページ)
  電源が入ってない HDD であっても、複数台の接続（チェーン、ハブなど）は行わないでください。
- P2 カードを本機に挿入し、MEDIA スイッチを P2 側にしてください。(➔ 28 ページ)

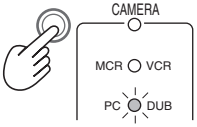
1 **接続する HDD（1394.a SBP2 対応）の電源を入れ、IEEE1394 ケーブルで接続した後、本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の PC MODE 項目で、1394 HOST を選び、⏸ボタンを押す。**
- メニューの操作 (➔ 95 ページ)

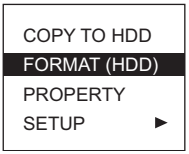


3 **MENU ボタンを 2 回押して、メニューモードを解除する。**

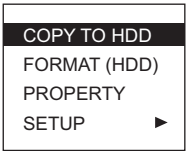
4 **動作モードボタンを押して、MCR ランプを点灯させ、さらに長押し（2秒以上）する。**
PC ランプが点灯し、PC モードになります。



5 **HDD をフォーマットしていない場合のみ ▲、▼ボタンで FORMAT(HDD) を選び、⏸ボタンを押す。**
その後、▲、▼ボタンで YES を選び、⏸ボタンを押してください。
フォーマットが始まります。（フォーマットは約 2～3 秒程度で終了します。）

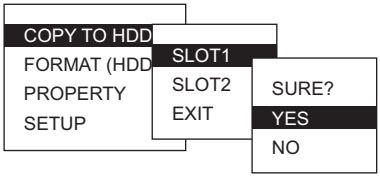


6 **フォーマットが終了したら ▲、▼ボタンで COPY TO HDD を選び、⏸ボタンを押す。**



- HDD へのコピーはカード単位で行われます。

7 **▲、▼ボタンでカードスロットを選び、⏸ボタンを押す。**
その後、▲、▼ボタンで YES を選び、⏸ボタンを押してください。
コピーが始まります。
- 1 台の HDD につき 15 回までコピーできます。



8 **コピーが終了したら本機の電源を切る。**
- 動作モードボタンを長押ししても、1394 ホストモードは解除できません。

HDD にコピーした内容を確認するには

左記手順 **4** の後、▲、▼ボタンで PROPERTY を選んで、⏸ボタンを押す。
HDD の中身が表示されます。

- 各項目の詳細を見るには、▲、▼ボタンで項目を選び、⏸ボタンを押してください。

HDD へのコピー時にベリファイ（データ検査）を行うには

左記手順 **4** の後、▲、▼ボタンで SETUP の VERIFY 項目から、YES を選ぶ。

- ベリファイ中に処理を中断しても、P2 カードのコピーは終了しています。

- ハードディスクから P2 カードへのコピーはできません。
- HDD は以下の条件でご使用ください。
  1）1394 バス以外から電力を供給する。（本機からは供給されません）
  2）HDD を本機用にフォーマットしてもよい。
  3）HDD の動作保証範囲内（温度など）で使用する。
  4）HDD を振動する場所や不安定な場所に置かない。
- HDD によっては正しく動作しない場合があります。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2 カードを取り出したり、本機や HDD の電源を切ったりしないでください。電源の再起動が必要になります。
- HDD（1394.a SBP2 対応）を接続せずに 1394HOST モードに入り、それから HDD を接続した場合は動作保証されません。いったん電源を切り、1394HOST モードを解除してください。
- **HDD は非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。HDD の故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
- **本機からのコピーに使用している HDD を他のパソコンなどで置き替えた場合、以後の本機での動作、および HDD のデータは保証できません。**

- 不良クリップが含まれる P2 カードは、事前に修復してからコピーすることをお勧めします。
- コピー、フォーマットなどに支障がないよう、安定した電源での使用をお勧めします。

警告表示

HDD CAPACITY FULL!
HDD の空き容量が足りません

TOO MANY PARTITIONS!
パーティションが多すぎます

HDD DISCONNECTED!
HDD との接続が切断されました

CANNOT INITIALIZE!
初期化できません

TOO MANY TARGETS!
1394 の接続先が多すぎます

CANNOT ACCESS TARGET!
接続先にアクセス出来ません

CANNOT ACCESS CARD!
カードへアクセスできません

MISMATCH COMPONENT!
接続先と整合がとれません

UNKNOWN DEVICE CONNECTED!
HDD 以外のデバイスが接続されました

P2 CARD IS UNFORMATTED!
未フォーマットの P2 カードです

CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!
P2 カードにコンテンツがないのでコピーできません

VERIFICATION FAILED!
ベリファイで不一致が発見されました

TURN POWER OFF!
電源を切ってください

CANNOT RECOGNIZE HDD!
HDD の認識に失敗しました

ダビングをする

P2 カードの内容をテープにダビングする（ダビングモード）

P2 カード内の任意のクリップを、本機に挿入したテープにダビングすることができます。
ダビングできるクリップの記録フォーマットは、1080i および 720P のすべてです。いずれも DV フォーマットで記録されます。

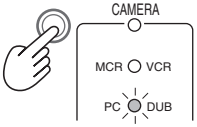
- テープが記録禁止になってないか、確認してください。（ダビング操作中はエラーメッセージが出ません。）
- P2 カードとテープを本機に挿入し、MEDIA スイッチを TAPE 側にしてください。(➔ 28、31 ページ）
- ダビングする場合、設定メニューの SCENE FILE 画面の DETAIL LEVEL 項目を多め（＋5 程度）に設定することをお勧めします。

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **動作モードボタンを押して VCR ランプを点灯させる。**

3 **記録を開始する位置までテープを進める。**
- エンドサーチ（➔ 74 ページ）などを使うと便利です。

4 **動作モードボタンを長押し（2秒以上）する。**
DUB ランプが点灯し、ダビングモードになります。



液晶画面に P2 カードのクリップがサムネール表示されます。

- **ダビングできるフォーマットを設定するには**
  1）THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を閉じ、MENU ボタンでメニューを開く。
  2）DUBBING SETUP➔FORMAT SEL と選び、フォーマットを選択する。
  サムネール画面左下の記録フォーマット表示と一致させてください。
  （バリアブルフレームレートのスタンダード記録したクリップは 720P/60P となりますので、FORMAT SEL で 720P/60P を選択してください。）
  3）MENU ボタンでメニューを閉じ、THUMBNAIL ボタンを押してサムネール表示に戻る。

ダビングできるフォーマットのクリップは黒数字、それ以外は赤数字で表示されます。（赤数字のクリップはダビングできません。）

- **720/24PN フォーマットクリップのダビング時のプルダウン設定をするには**
  1）THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面を解除し、MENU ボタンでメニューを開く。
  2）DUBBING SETUP → PULLDOWN SEL と選び、24P または 24PN を選択する。
  24P: 2:3 プルダウン
  24PN: 2:3:3:2 プルダウン
  3）MENU ボタンでメニューを閉じ、THUMBNAIL ボタンを押してサムネール画面に戻る。

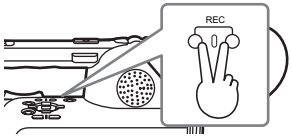
5 **◁、▷ボタンでダビングしたいクリップを選び、SET ボタンを押す。**
同じ操作を繰り返すことで、複数のクリップを選ぶこともできます。選び終わったら、THUMBNAIL メニューで SELECTED CLIPS 表示に切り替え、サムネール画面の先頭のクリップにカーソルがあることを確認してください。

- **手順4で選んだフォーマットのクリップをすべてダビングする場合は**
サムネール画面の先頭の有効クリップ（黒数字のもの）にカーソルを合わせてください。

- ダビングはカーソルのあるクリップから始まりますので、スタート前に確認してください。
- カーソルが赤数字のクリップにあるとダビングが始まりません。

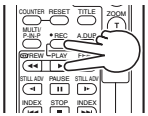
6 **REC の 2 つのボタンを同時に押す。**
リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。
ダビングが始まります。終了すると自動的に停止し、サムネール画面に戻ります。（途中で停止するには、■ ボタンを押します。）

- クリップ途中からダビングを始めたい場合は、まずクリップを再生し、好みの位置で ❚❚ ボタンを押して一時停止状態にしてください。



本体

または



リモコン

7 **動作モードボタンを長押し（2 秒以上）して、ダビングモードを解除する。**

- VCR の設定メニューで、RECORDING SETUP の TCG 項目を FREE RUN に設定しておくと、クリップが持つタイムコードをテープに引き継ぐことができます。
- 4CH 記録したクリップの場合、3CH と 4CH の音声は無音でダビングされます。
- ダビングの IN 点は、実際の位置より多少前後することがあります。
- 3 枚以上のカードに連続記録されたクリップは、2 枚分のみのダビングとなります。3 枚目以降をダビングするには、一度停止し、再度ダビングを行ってください。（ホットスワップ再生ができないため。）
- ダビングモード中は、USER ボタンに SHOT MARK、INDEX/MEMO、SLOT SEL を割り当てても動作しません。ただし、割り当てた USER ボタンの情報は DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示されます。

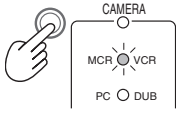
デジタル入出力（P2 カード / テープ）

1394 端子を持ったデジタルビデオ機器と本機とを 1394 ケーブルで接続すると、デジタル信号による高画質なダビングを、双方向に行うことができます。

- MEDIA スイッチで、P2 カードまたはテープを選んでおいてください。(➔ 28、31 ページ)

1 **デジタルビデオ機器を、本機に接続する。**
(➔ 79 ページ)

2 **本機の動作モードボタンを押して、MCR/VCR モードに切り替える。**

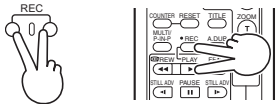


- MCR モード時はサムネール画面を解除してください。
- 接続した機器は、再生または記録できるように設定してください。
- 2 台目のカメラレコーダーなどとデジタルダビングを行う場合は、出力側と入力側のデジタル信号フォーマットが同じでなければ記録できません。
- 720P/24PN および 720P/30PN 設定の場合は、MCR モードでのデジタル出力のみ行えます。デジタル入力はできません。
- 1394 入力映像はコンポーネント映像出力端子からは出力されません。

3 **再生側で再生を行う。**

4 **記録側で記録を開始する。**

- 本機の場合は、REC の 2 つのボタンを同時に押します。(リモコンで操作する場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。)



本体　　または　　**リモコン**

- VCR モードでは、再生一時停止の状態でこの 2 つのボタンを同時に押すと、記録待機状態になります。(MCR モードでは記録待機状態になりません。)また、❚❚ ボタンを押すごとに、記録と記録待機状態を切り替えます。

5 **記録側の記録を終了する。**

- 本機の場合は、■ ボタンを押します。

6 **再生側の再生を終了する。**

- 本機の場合は、■ ボタンを押します。

- テープの場合、デジタルダビングを行った時の音声は、記録側のメニュー設定に関係なく、再生側と同じ音声モードで記録されます。
  P2 カードの場合は、DV フォーマットは 48K2CH または 4CH に変換します。
  1080i と 720P では CH1 ～ CH4 をそのまま記録し、CH5 ～ CH8 は記録されません。
- 記録側のメニューで、1394TC REGEN 項目や 1394UB REGEN 項目を ON に設定してダビングを行うと、再生側のタイムコードやユーザービットをコピーすることができます。(➔ 106 ページ)
  この時、再生側の映像を受信していることを、記録側の画面で確認してから記録を開始してください。
  記録側で受信していない時に記録を開始すると、タイムコードやユーザービットを正しくコピーできない場合があります。

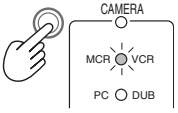
アナログ出力（P2 カード / テープ）

本機で撮った内容を、S-VHS（VHS）カセットなどに記録することができます。

- MEDIA スイッチで、P2 カードまたはテープを選んでおいてください。(➔ 28、31 ページ)

1 **録画用のビデオ機器を、本機に接続する。**
(➔ 80 ページ)

2 **動作モードボタンを押して、MCR/VCR モードに切り替える。**



3 **本機を再生する。**

4 **ビデオ機器の記録を開始する。**

録画が終わったら、ビデオ機器を停止してください。
本機の再生を終了する時は、■ ボタンを押します。

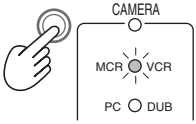
アナログ入力（テープ）

S-VHS（VHS）カセットなどの内容をテープにダビングしたり、テレビ番組を記録することができます。

- MEDIA スイッチを TAPE 側にしてください。（➔ 31 ページ）

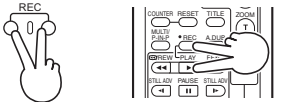
1 ビデオデッキやテレビを、本機に接続する。（➔ 80 ページ）

2 本機の動作モードボタンを押して、VCR モードに切り替える。



3 外部機器の再生を行う。

4 REC の 2 つのボタンを同時に押す。
リモコンの場合は、REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押します。



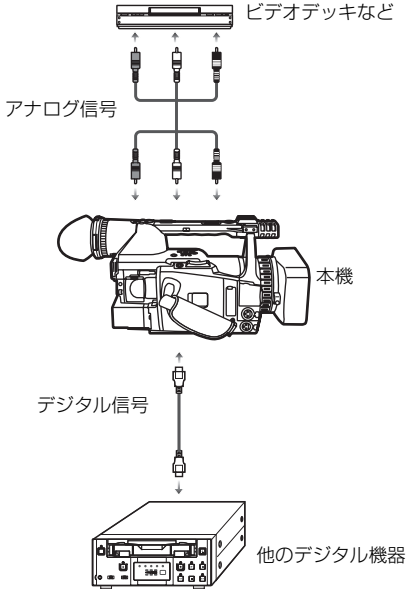
- 再生一時停止の状態で、この 2 つのボタンを同時に押すと記録待機状態になります。
  ❚❚ ボタンを押すごとに、記録と記録待機状態を切り替えます。

終了する時は、■ ボタンを押します。

- 外部機器の再生も終了させてください。

- 音声レベルの調整はできません。
- P2 モード時はアナログ入力できません。

AD（アナログ / デジタル）変換について
(VCR モードのみ)
設定メニュー AV IN/OUT SETUP 画面の 1394 OUT 項目で「ON」を選択すると、本機を AD（アナログ / デジタル）変換として使うことができます。(➔ 109 ページ)
外部機器からアナログ信号で入力した映像を、本機の 1394 端子を通して、他のデジタルビデオ機器にデジタル信号で出力することができます。

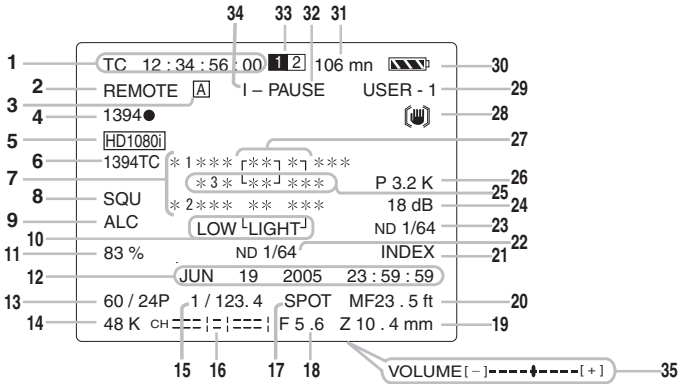


- 通常は 1394 OUT 項目を「OFF」にしておいてください。「ON」に設定していると、映像が乱れることがあります。
- S 映像ケーブルも使用できます。

画面の表示

通常の表示

セーフティゾーンについては 36 を参照してください。



1 タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

COUNTER：（テープ、P2 カードのカメラモードのみ）

カウンター値

M COUNTER：（テープのみ）

メモリーストップモードのカウンター値

TC：

タイムコード値

タイムコード値が P2 カードやテープから正しく読みとれなかった時には、［TC ＊］を表示します。

ドロップフレームモード運用している時は、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

tc：（P2 カードのみ）

タイムコード値（フレーム桁を 24 フレームで表示）

タイムコード値が P2 カードから正しく読みとれなかった時には、［tc ＊］を表示します。

ドロップフレームモード運用している時は、秒とフレームの間のコロンが「.」になります。

UB：

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が P2 カードやテープから正しく読みとれなかった時には、［UB ＊］を表示します。

FR：

撮影するフレームレート情報

FR 60I ： 標準（60i インターレース）モード（60 フィールド / 秒）

FR 60P ： 60P プログレッシブモード（60 フレーム / 秒）

FR 30P ： 30P プログレッシブモード（30 フレーム / 秒）

FR 24P ： 24P プログレッシブモード（24 フレーム / 秒）

FR 24PA： 24P アドバンスモード（24 フレーム / 秒）

FR 24P と FR 24PA のモードの時は、最終けたにフレーム変換のシーケンス情報を表示します。

2 ワーニング情報表示

REMOTE：

ワイヤレスリモコンの機器設定が違う場合、点滅します。

：

本機内部に結露が発生した時に点灯します。

：

シリンダーヘッドが汚れている時に点滅します。

または：

P2 カードまたはテープが挿入されていない時や記録禁止状態の時に点滅します。

FULL または END：

P2 カードの残量がない時、またはテープが終端位置になった時に点滅します。

LACK：

ループレックモードで P2 カードの残量が不足している時に点滅します。

：

カレンダー用の内蔵電池が消耗している時に点灯します。（➔ 60 ページ）

3 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示
AUTO/MANUAL スイッチを切り替えた時に、設定メニューの AUTO SW 画面で設定された機能が動作している場合に表示します。

4 バックアップ用機器の状態表示
1394 端子に接続されている、バックアップ機器の状態を表示します。
設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を OFF に設定していると表示されません。
1394●: 記録
1394❚❚: 記録待機
1394 🖂: バックアップ機器が制御できない状態
1394: バックアップ機器が未接続
1394 ーー: バックアップ機器は接続されていますが、記録や記録待機状態になっていない

5 記録フォーマット（P2 カード）（➔ 105 ページ）**/ 記録時間（テープ）表示**

6 1394 TC 表示
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の 1394 IN PRESET 項目が ON の時に表示されます。ただし、FIRST REC TC 項目が REGEN の時は表示されません。(MCR/VCR モードの時は表示されます。)

7 情報表示
状況に応じて、下記のような情報を表示します。
- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示
- 警告表示 (➔ 93 ページ)
- モードチェックボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示

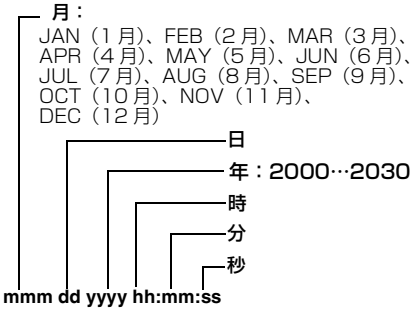
8 スクイーズ記録表示
設定メニュー CAMERA SETUP 画面の ASPECT CONV 項目で SQUEEZE を選択して（➔ 101 ページ）スクイーズ記録を行っている時や、スクイーズ記録された映像を再生している時に表示します。

9 マイクレベル自動制御表示
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON にした時に表示します。

10 AWB エラー表示
LOWLIGHT :
オートホワイトバランス調整時、輝度が低すぎる時に表示します。

11 マーカー輝度表示
マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを 0% ～ 99% で表示します。99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

12 日付と時刻表示



13 記録 / 再生フレームレート表示
720/30PN および 720/24PN の時以外は、記録フレームレートのみを表示します。

14 オーディオ・サンプリング周波数表示（テープのみ）

15 シャッタースピード表示
シャッタースピードを表示します。

16 オーディオレベルメーター表示
(➔ 54 ページ)

17 オートアイリス制御表示
STD：標準オートアイリス制御
SPOT：スポットライト用のオートアイリス制御
BACK：逆光補正用のオートアイリス制御

18 アイリス表示
F 値を表示します。
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、撮影時の F 値が再生時にも表示されます。

19 ズームポジション表示
Z00（広角最大）～ Z99（望遠最大）でズームポジションを表示します。
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM・FOCUS 項目で、単位を mm に切り替えられます。

20 フォーカス制御情報表示
99 ～ 00 でフォーカス制御情報を表示します。オートフォーカスの時は AF、マニュアルフォーカスの時は MF と表示されます。マクロ制御に設定している時は、AF または MF が白黒反転表示になります。
95（焦点距離：無限大）
:
00（焦点距離：約 5 cm）
ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。
また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM・FOCUS 項目で、単位を feet または m に切り替えられます。

21 インデックス / メモ / マークイン記録表示（INDEX/TEXT MEMO/MARK IN）
記録中に、あらかじめ INDEX/MEMO 機能を割り当てた USER ボタンを押して、インデックス / メモ信号を記録する時に点灯します。記録の前に USER ボタンを押すと、点滅します。（インデックス / メモ信号記録の待機状態）

22 推奨 ND フィルター表示
現在の撮影条件下で、推奨する ND フィルターを表示します。

23 ND フィルター表示
選択している ND フィルターを表示します。［ND一一］が表示されている時は、ND FILTER スイッチがずれています。（OFF、1/8、1/64 以外の位置）
ND FILTER スイッチの位置を確認してください。

24 ゲイン表示
設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。（オートモード時は AGC 表示。）
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、撮影時のゲイン値がテープ再生時にも表示されます。

25 AWB 動作表示
ホワイトバランスの動作を表示します。

26 AWB 情報表示
ホワイトバランスの情報を表示します。
ATW：ATW 設定時
P3.2 K/P5.6 K：プリセット時
Ach/Bch：A/B 時
LOCK：ATW ロック時

27 マーカー表示
撮影時に ZEBRA ボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

28 手ぶれ補正 表示
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の CAMERA DATA 項目を ON にしていると、手ぶれ補正モードで撮影した場合、カメラデータとしてテープ再生時にも を表示します。

29 シーンファイル名表示（カメラモード時）/ DUB 表示（ダビングモード時）
（➔ 56、86 ページ）

30 バッテリー残量表示
バッテリーの残量が少なくなるにつれ、 ➔ ➔ ➔ ➔ と変わります。
容量がなくなると、 （ ）が点滅します。
（AC アダプター使用時に 以外が表示される場合がありますが、問題ありません）

31 メディア残量表示
残量の計算中は無表示になります。また、テープでスロー再生を行っている時は、残量が表示されません。ループレック中は、「LOOP」と表示されます。

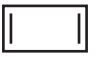
32 動作状態表示
REC ： 記録
PAUSE： 記録待機
▯▯ ： 再生一時停止
STNDBY： スタンバイ（シリンダーヘッドを停止）
A. DUB ▯▯ :アフレコ記録待機
A. DUB ▷ :アフレコ記録
▷ ： 再生
▷▷（◁◁）:早送り / 早送り再生（巻き戻し / 早戻し再生）
▯▷（◁▯）:スロー再生（逆方向スロー再生）
CHK：レックチェック
▷▷|（|◁◁）:頭出し（逆方向頭出し）
▯▯▷（◁▯▯）:コマ送り再生（逆方向コマ送り再生）
BLANK： ブランクサーチ
REC END：レックエンドサーチ
× ▷ **/ ×** ▷▷ **(×** ◁ **/ ×** ◁◁**)**：
可変速サーチ（逆方向可変速サーチ）

33 メディア情報表示
P2 カードが挿入されているカードスロット、および基本情報を表示します。
1 2 **点灯**：記録可能な P2 カード
1 2 **緑色点灯**：記録対象の P2 カード
1 2 **点滅**：カード認識中
- -：カード未挿入
P : ライトプロテクトがかかっている
F : 容量がいっぱい
X : 認識不可

34 特殊記録
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の REC FUNCTION 項目を INTERVAL、ONE SHOT、LOOP に設定している時、または PRE REC を ON に設定している時に表示します。

35 モニター音量レベルメーター
PAGE/AUDIO MON/VAR ボタンを押すと、内臓スピーカーと PHONE ジャックから出力される音量が表示されます。

36 セーフティゾーン
DISPLAY SETUP 画面の SAFETY ZONE 項目（➔110 ページ）の設定により、範囲を表示します。
4:3　4:3 に切り出した位置を表示します。



90%　一般的な家庭用テレビで表示できる範囲 (90%) を表示します。

警告表示

COPY INHIBITED
コピーガードされている入力信号なので、正しく記録することができません。
EXTERNAL1394 DISCONNECT
設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目を EXT に設定して、1394 端子に外部機器を接続しないで撮影を行った時に表示します。
INCOMPATIBLE CARD
規格が違うカードなので、使用することができません。
INCOMPATIBLE TAPE
規格が違うテープ（データ保存用テープなど）なので、使用することができません。
LOW BATTERY
バッテリーの電源が消耗しているため操作できません。
UNPLAYABLE TAPE（OTHER FORMAT）
テープフォーマットが違うため、再生することができません。
UNABLE TO A. DUB（LP RECORDED）
LP モードで記録されているテープなので、アフレコを行うことができません。

＜サムネール画面＞
CANNOT ACCESS
クリップにアクセスできません。
CANNOT DELETE
クリップを削除できません。
CANNOT FORMAT
P2 カードおよび SD メモリーカードをフォーマットできません。
CANNOT REPAIR
クリップを修復できません。
CARD FULL
P2 カードの記録容量が足りません。
WRITE PROTECTED
P2 カードおよび SD メモリーカードが記録禁止状態です。
NO CARD
P2 カードおよび SD メモリーカードが入っていません。
NO FILE
ファイル（バージョンアップファイル等）がありません。

エラー表示

本機や P2 カード、テープなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードやテープを交換するか、もしくは最寄りのサービスセンターにご相談ください。

AUTO OFF
テープ走行系の異常が発生した時に表示します。AUTO OFF を表示した時は、本機の電源が自動的に OFF になります。
CYLINDER LOCK（シリンダーロック）
LOADING LOCK（ローディングロック）
UNLOADING LOCK
（アンローディングロック）
T REEL LOCK（テイクアップリールロック）
S REEL LOCK（サプライリールロック）
CANNOT PLAY
再生時に異常が生じた時に表示します。
CARD ERR （1）（2）（1/2）
（数字のスロットの P2 カード異常）
CLIP ERROR（クリップ異常）
ERROR（その他）
SYSTEM ERROR
システムに異常が発生した時表示します。電源を入れ直してください。
P2 MICON ERROR（P2 マイコン応答なし）
P2 CONTROL ERROR （P2 制御異常）
REC RAM OVERFLOW
（記録 RAM のオーバーフロー）
TURN POWER OFF
カードをアクセス中に抜いて異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。
REC WARNING
記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでも警告が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
CARD ERR （1）（2）（1/2）
（数字のスロットの P2 カード異常）
- 警告が続く場合は電源をOFFにしてください。
- 再度記録しても警告が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

ERROR（その他）
WARNING
カメラ系の異常が発生した時に表示します。再度記録してください。
FOCUS LOCK（フォーカス動作異常）
PSD NG（手ぶれ検出異常）
GYRO NG（手ぶれ補正制御異常）
1394
1394 接続や信号に異常が発生した時に表示します。(P2 モードのみ)
1394 INITIAL ERROR（接続異常）
1394 INPUT ERROR（入力異常）
1394 INPUT ERROR （OTHER FORMAT）
（入力フォーマット違い）

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押した時や、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目（➔ 111 ページ）の設定により表示します。

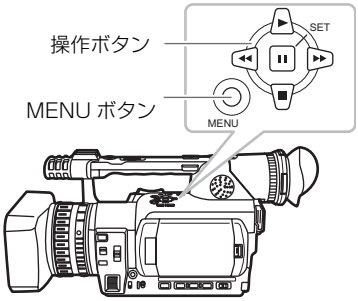
表示項目	MODE CHECK	DISPLAY	OTHER DISPLAY 項目の設定		
			ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	———	———	———
3 AUTO/MANUAL スイッチ動作表示	○	○	○	○	×
5 記録フォーマット / 記録時間表示	○	○	○	×	×
7 情報表示	○	—	×	×	×
8 スクイーズ記録表示	○	○	○	○	×
9 マイクレベル自動制御表示	○	○	○	×	×
12 日付と時刻表示	○	○	———	———	———
13 記録 / 再生フレームレート表示	○	○	○※1	×	×
14 オーディオ・サンプリング周波数表示	○	○	○	×	×
15 シャッタースピード表示	○	○	○	○	×
16 オーディオレベルメーター表示	○	○	———	———	———
17 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	×
18 アイリス表示	○	○	○	○	×
19 ズームポジション表示	○	○	———	———	———
20 フォーカス制御情報表示	○	○	———	———	———
22 推奨 ND フィルター表示	○	○	○	○	×
23 ND フィルター表示	○	○	○	×	×
24 ゲイン表示	○	○	○	○※2	×
26 AWB 情報表示	○	○	○	○※3	×
28 手ぶれ補正表示	○	○	○	○	×
29 シーンファイル名 /DUB 表示	○	○	○	×	×
30 バッテリー残量表示	○	○	———	———	———
31 メディア残量表示	○	○	———	———	———
36 セーフティゾーン表示	———	———	———	———	———

○：表示する
×：表示しない
—：他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。
DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。
※1 FRAME RATE が 60i の時は表示されません。
※2 0dB は表示されません。
※3 プリセット 3.2 K と 5.6 K のみ表示します。

設定メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて、本機の設定を設定メニューで変更することができます。

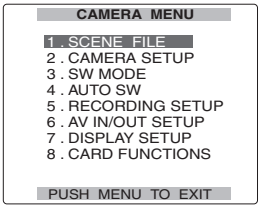


設定メニューの操作方法

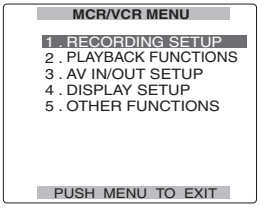
- サムネールメニューが表示されている場合は、AUDIO/THUMBNAIL ボタンを押して解除してください。(➔67 ページ)
- 青文字で表示されているメニュー項目は使用できません。

1 **撮影中や記録動作以外時に、MENU ボタンを押す。**
下記の機能画面が、ビューファインダーや液晶モニターに表示されます。

CAMERA モード（例）



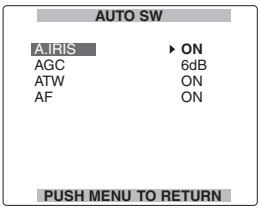
MCR/VCR モード（例）



2 **▲、▼ボタンで、設定したい機能に反転表示している部分を移動する。**

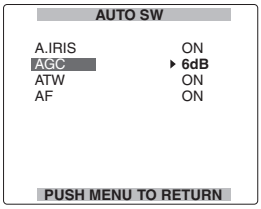
3 **⏸(または▶) ボタンを押して、設定項目を表示する。**

例：



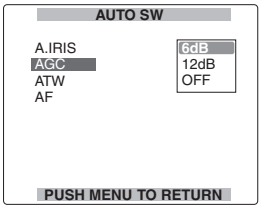
4 **▲、▼ボタンで、設定したい項目に移動する。**

例：



5 **⏸ボタンを押して、設定する。**
数値などを変更する時は、▲、▼ボタンで、設定値を変更します。

例：



（次ページへ続く）

6 **他の項目を変更する場合は、4 ～ 5 を繰り返す。**
設定を終了する場合は、MENU ボタンを押して、機能画面に戻ります。

7 **他の機能を変更する場合は、2 ～ 5 を繰り返す。**
メニューモードを終了する場合は、再度 MENU ボタンを押して、通常画面に戻ります。

設定メニューを初期化する

設定メニューは、ユーザーファイルとシーンファイルに分かれており、それぞれを工場出荷時の状態に初期化することができます。

ユーザーファイル（シーンファイル以外の全項目）を初期化するには
OTHER FUNCTIONS 画面の USER FILE 項目で、INITIAL を選択すると、現在使用しているユーザーファイルのメニュー設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

シーンファイル (SCENE FILE) を初期化するには
6 つのシーンファイルのうち、初期化したいファイルをシーンダイヤルで選択してください。その後、SCENE FILE 画面の SAVE/INIT 項目で INITIAL を選択すると、選択したシーンファイルのみの設定値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- シーンダイヤルで選択していないファイルには影響を与えません。

設定メニューの構成

カメラ（CAMERA）モードのメニュー

P2 **TAPE** は、それぞれ P2 モード、TAPE モードでのみ設定できることを表しています。

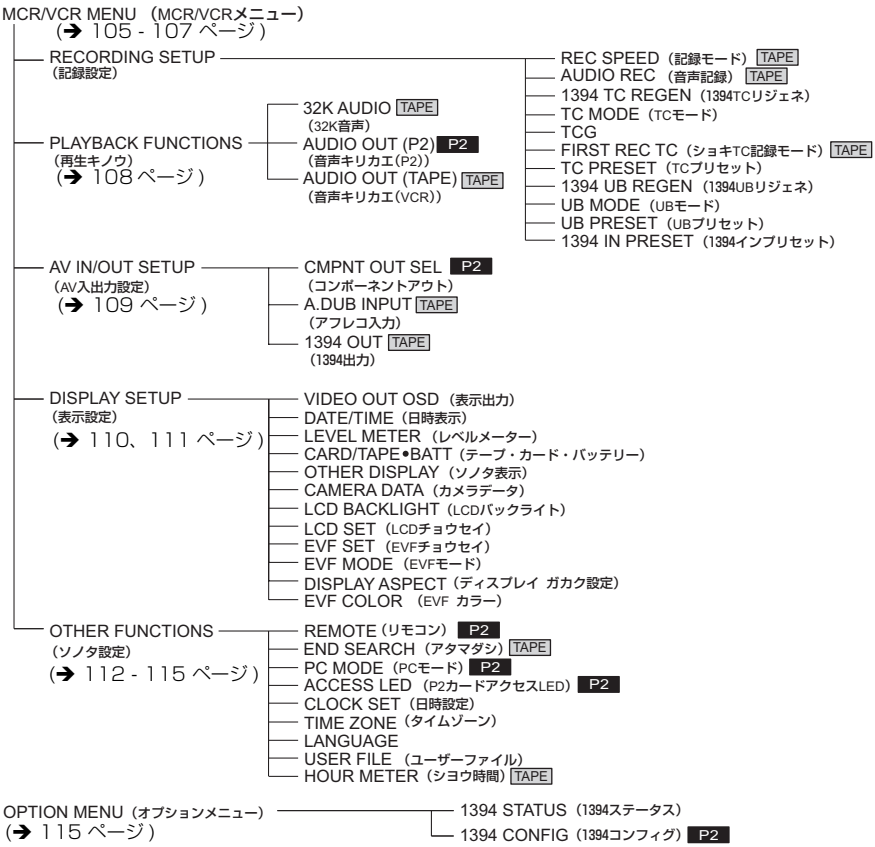
CAMERA MENU（カメラメニュー）

- SCENE FILE（シーンファイル）
  （➔ 99 - 101 ページ）
  - OPERATION TYPE（カメラソウサタイプ）
  - FRAME RATE（フレームレート） P2
  - SYNCRO SCAN（シンクロスキャン）
  - DETAIL LEVEL（ディテール）
  - V DETAIL LEVEL（Vディテール）
  - DETAIL CORING（ディテールコアリング）
  - CHROMA LEVEL（イロレベル）
  - CHROMA PHASE（シキソウ）
  - COLOR TEMP（イロオンド）
  - MASTER PED（ペデスタル）
  - A.IRIS LEVEL（オートアイリスレベル）
  - NEWS GAMMA（ニュースガンマ）
  - GAMMA（ガンマ）
  - KNEE（ニー）
  - MATRIX（マトリックス）
  - SKIN TONE DTL（スキンディテール）
  - V DETAIL FREQ（Vディテールハバ）
  - NAME EDIT（シーンネーム設定）
  - SAVE/INIT（ホゾン・ショキカ）
- CAMERA SETUP
  （カメラキノウ）
  （➔ 101 ページ）
  - ASPECT CONV（ガカク設定）
  - SETUP(P2)（セットアップ(P2)） P2
  - SETUP(TAPE)（セットアップ(VCR)） TAPE
- SW MODE
  （スイッチモード）
  （➔ 102、103 ページ）
  - MID GAIN（M ゲイン）
  - HIGH GAIN（H ゲイン）
  - ATW（オートホワイトバランス）
  - HANDLE ZOOM（ハンドルズーム）
  - IRIS DIAL（シボリホウコウ）
  - USER1
  - USER2
  - USER3
- AUTO SW
  （オートスイッチ）
  （➔ 104 ページ）
  - A.IRIS（オートアイリス）
  - AGC（オートゲインコントロール）
  - ATW（オートホワイトバランス）
  - AF（オートフォーカス）
- RECORDING SETUP
  （記録設定）
  （➔ 105 - 107 ページ）
  - REC FORMAT(P2)（記録フォーマット(P2)） P2
  - REC FORMAT(TAPE)（記録フォーマット(VCR)） TAPE
  - 480i REC MODE(480i 記録モード) P2
  - REC FUNCTION（記録キノウ） P2
  - ONE SHOT TIME（ワンショット記録時間） P2
  - INTERVAL TIME（インターバル時間） P2
  - PREREC MODE（プリレック） P2
  - REC SPEED（記録モード） TAPE
  - AUDIO REC（音声記録） TAPE
  - MIC ALC（マイクALC）
  - MIC GAIN 1（マイクゲイン1）
  - MIC GAIN 2（マイクゲイン2）
  - 25M REC CH SEL（25M記録音声センタク） P2
  - TC MODE（TCモード）
  - TCG
  - FIRST REC TC（ショキTC記録モード） TAPE
  - TC PRESET（TCプリセット）
  - UB MODE（UBモード）
  - UB PRESET（UBプリセット）
- AV IN/OUT SETUP
  （AV入出力設定）
  （➔ 109 ページ）
  - CMPNT OUT SEL P2
    （コンポーネントアウト）
  - HP MODE（ヘッドホン音声チエン）
- DISPLAY SETUP
  （表示設定）
  （➔ 110、111 ページ）
  - ZEBRA DETECT 1（ゼブラ設定1）
  - ZEBRA DETECT 2（ゼブラ設定2）
  - MARKER（マーカー）
  - SAFETY ZONE（セーフティゾーン）
  - VIDEO OUT OSD（表示出力）
  - DATE/TIME（日時表示）
  - LEVEL METER（レベルメーター）
  - ZOOM•FOCUS（ズーム・フォーカス）
  - CARD/TAPE•BATT（テープ・カード・バッテリー）
  - OTHER DISPLAY（ソノタ表示）
  - LCD BACKLIGHT（LCDバックライト）
  - LCD SET（LCDチョウセイ）
  - EVF SET（EVFチョウセイ）
  - SELF SHOOT（タイメンモード）
  - EVF MODE（EVFモード）
  - DISPLAY ASPECT（ディスプレイ ガカク設定）
  - EVF COLOR（EVF カラー）
- CARD FUNCTIONS
  （SDカードキノウ）
  （➔ 112 ページ）
  - SCENE FILE（シーンファイル） P2
  - USER FILE（ユーザーファイル） P2
  - SD CARD FORMAT P2
    （SDカード フォーマット）
- OTHER FUNCTIONS
  （ソノタ設定）
  （➔ 112-115 ページ）
  - REMOTE（リモコン）
  - 1394 CONTROL（1394コントロール）
  - 1394 CMD SEL（1394コマンドセレクト）
  - END SEARCH（アタマダシ） TAPE
  - PC MODE（PCモード） P2
  - REC LAMP（撮影ランプ）
  - ACCESS LED（P2カードアクセスLED） P2
  - BEEP SOUND（おしらせブザー）
  - CLOCK SET（日時設定）
  - TIME ZONE（タイムゾーン）
  - POWER SAVE（ショウデンリョクモード）
  - LANGUAGE
  - USER FILE（ユーザーファイル）
  - HOUR METER（シヨウ時間） TAPE

OPTION MENU（オプションメニュー）
（➔ 115 ページ）
- 1394 STATUS（1394ステータス）
- 1394 CONFIG（1394コンフィグ） P2

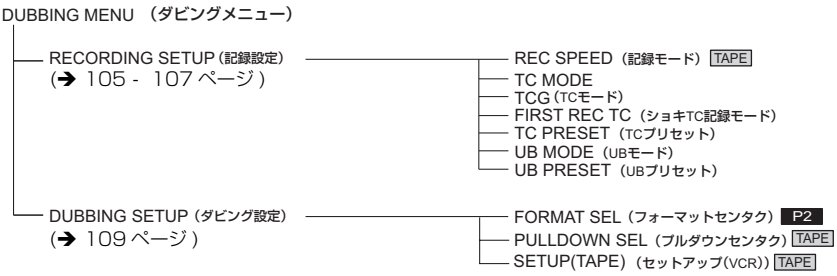
MCR/VCR（再生および外部入力）モードのメニュー

P2 TAPE は、それぞれ P2 モード、TAPE モードでのみ設定できることを表しています。



ダビングモードのメニュー

ダビングモード時のみ表示されます。



設定メニュー一覧

SCENE FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
OPERATION TYPE P2 TAPE	(カメラ)	シャッターやフレームレート動作をビデオ系またはフィルム系に切り替えます。 VIDEO CAM : SYNCRO SCAN : 1/n で表示 FILM CAM : SYNCRO SCAN : 角度で表示
FRAME RATE P2	(カメラ)	720P 設定で FILM CAM 時に、撮影の間隔および露光時間を切り替えます。 DEFAULT の値は、記録フォーマットのフレームレートに依存します。 DEFAULT、12、18、20、22、24、26、30、32、36、48、60 FRAME
SYNCRO SCAN P2 TAPE	(カメラ)	テレビ画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 操作ボタンを▲方向や▼方向に押したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 OPERATION TYPE 項目が VIDEO CAM の場合 : • 60P/60i の時 : 1/60.0…1/249.8 • 30P/30PN の時 : 1/30.0 …1/48.0 …1/249.8 • 24P/24PA/24PN の時 : 1/24.0 …1/48.0 …1/249.8 OPERATION TYPE 項目が FILM CAM の場合 : 「180.0d」のように角度で表示されます。 10.0deg….180.0deg….350.0deg（0.5 度ステップで可変）
DETAIL LEVEL P2 TAPE	(カメラ)	画像の輪郭補正（水平垂直の両方向）の強弱の調整を行います。 – 7…0…+7
V DETAIL LEVEL P2 TAPE	(カメラ)	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 – 7…0…+7
DETAIL CORING P2 TAPE	(カメラ)	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 – 2…0…+7 －方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 ＋方向にするとノイズが少なくなります。
CHROMA LEVEL P2 TAPE	(カメラ)	クロマレベルの調整を行います。 – 7…0…+7
CHROMA PHASE P2 TAPE	(カメラ)	クロマ位相の微調整を行います。 – 7…0…+7
COLOR TEMP P2 TAPE	(カメラ)	色温度の微調整（ホワイトバランス調整を行った後の微調整）を行います。 – 7…0…+7
MASTER PED P2 TAPE	(カメラ)	映像の基準とする黒のマスターペデスタルの調整を行います。 – 15…0…+15
A. IRIS LEVEL P2 TAPE	(カメラ)	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 – 4…0…+4
NEWS GAMMA P2 TAPE	(カメラ)	ニュースガンマカーブを選択します。 ON OFF

_____は工場出荷モードです。

SCENE FILE 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
GAMMA P2 TAPE	(カメラ)	ニュースガンマ以外のガンマカーブを選択します。 HD NORM : HD 撮影に適したガンマ設定です。 LOW : 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着きのある映像にします。コントラストは、シャープになります。 SD NORM : DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH : 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストは、ソフトになります。 B.PRESS : LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINE-LIKE_D : 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE_V : コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE ガンマを選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く（約 1/2）することをお勧めします。
KNEE P2 TAPE	(カメラ)	白飛びを押さえるために、CCD が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル（ニーポイント）を設定します。 AUTO : 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW : 低めの設定（約 80% から圧縮を開始） MID : 中間の設定（約 90% から圧縮を開始） HIGH : 高めの設定（約 100% から圧縮を開始）
MATRIX P2 TAPE	(カメラ)	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM : 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 ENRICHED : NORM より鮮やかな色を表現します。 FLUO. : 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 CINE-LIKE : 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。

_____は工場出荷モードです。

SCENE FILE 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
SKIN TONE DTL P2 TAPE	(カメラ)	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。ON にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON OFF
V DETAIL FREQ P2 TAPE	(カメラ)	480i モードでのプログレッシブモードで撮影する時の垂直方向のディテールを設定します。 THIN ：ディテールを細くします。 MID ：ディテールを少し太くします。 THICK：ディテールを太くします。 「THIN」や「MID」に設定してプログレッシブモードで撮影した映像を、通常のモニターテレビ（60i：インターレース）で再生した場合、水平の線や水平に近い斜めの線に、ちらつき感が生じます。プログレッシブの環境で再生する時や編集等後処理を行う場合は、「THIN」や「MID」に設定することで、「THICK」に設定した時よりも高解像度の映像が得られます。
NAME EDIT P2 TAPE	(カメラ)	シーンファイルダイヤルで選択されているシーンファイルの、ファイル名を編集します。
SAVE/INIT P2 TAPE	(カメラ)	SAVE : 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 • SAVE を行わないで、メニューモードを解除した場合、MCR/VCR モードに切り替えた時や電源を OFF にした時は、シーンファイルの設定値が元に戻ります。 INITIAL : シーンファイルダイヤルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。

CAMERA SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
ASPECT CONV P2 TAPE	(カメラ)	480i で記録する映像のアスペクト比を選択します。記録フォーマットが 1080i、720P の時は選択できません。（➔45 ページ） NORMAL LETTER BOX SQUEEZE
SETUP (P2) P2	(カメラ)	P2 モードの 480i での映像信号のセットアップレベルを設定します。 0% : カメラ出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 7.5%A: カメラ出力はセットアップ 7.5%、記録上はセットアップ 0% になります。
SETUP (TAPE) TAPE	(カメラ)	TAPE モードの 480i での映像信号のセットアップレベルを設定します。 0%: カメラ出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 7.5%: カメラ出力、記録上ともセットアップ 7.5% になります。

_____は工場出荷モードです。

SW MODE 画面

項目	表示モード	設定内容
MID GAIN P2 TAPE	(カメラ)	GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、<u>6dB</u>、9dB、12dB
HIGH GAIN P2 TAPE	(カメラ)	GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 0dB、3dB、6dB、9dB、<u>12dB</u>
ATW P2 TAPE	(カメラ)	WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW（自動追尾式のホワイトバランス）機能の動作を設定します。ただし、AUTO/MANUAL スイッチや USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。 Ach： WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 Bch： WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 PRST： WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 <u>OFF</u>： ATW 機能を動作させません。
HANDLE ZOOM P2 TAPE	(カメラ)	HANDLE ZOOM スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。 <u>L/OFF/H</u>： 1/2/3 の各位置に、LOW（低速）/OFF/HIGH（高速）を設定します。（OFF は、ズーム動作を行いません。） L/M/H： 1/2/3 の各位置に、LOW（低速）/MID（中速）/HIGH（高速）を設定します。 L/OFF/M： 1/2/3 の各位置に、LOW（低速）/OFF/MID（中速）を設定します。（OFF は、ズーム動作を行いません。）
IRIS DIAL P2 TAPE	(カメラ)	IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定します。(MANUAL IRIS モード時) <u>DOWN OPEN</u>： IRIS ダイヤルを下方向に回した時に、絞りが開きます。 UP OPEN： IRIS ダイヤルを上方向に回した時に、絞りが開きます。

<u>　　</u>は工場出荷モードです。

SW MODE 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
USER1 P2 TAPE	(カメラ)	USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。 REC CHECK : レックチェックを行います。 SPOTLIGHT : スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。 BACKLIGHT : 逆光補正用のオートアイリス制御（➔40 ページ） BLACKFADE : ブラックフェード（➔46 ページ） WHITEFADE : ホワイトフェード（➔46 ページ） ATW : ATW 機能の ON/OFF を切り替えます。 ATWLOCK : ATW 時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。 GAIN : 18 dB ボタンを押すと、ゲイン値を 18 dB に設定します。なお、記録フォーマットが 60i、60P 時のみ有効です。また、記録フレームレートが 22fps 以下の時およびスローシャッター（1/15）の時は無効になります。 • ゲイン値を 18 dB に切り替えた時や、18 dB から他のゲイン値に切り替えた時は、画像が一瞬乱れることがあります。 • この機能を使用する場合、MANUAL モードまたは AUTO モードでお使いの時は、設定メニュー AUTO SW 画面の AGC 項目を OFF にしてください。 FOCUS RING : フォーカスリングの機能を FOCUS または IRIS に切り替えます。FOCUS スイッチが AUTO モードの時に有効です。 INDEX/MEMO : テキストメモ記録 (P2 時)（➔49 ページ）/ インデックス記録 (TAPE 時)（➔50 ページ） SLOT SEL (P2 時のみ) : P2 カードスロットの選択（➔49 ページ） SHOT MARK (P2 時のみ) : ショットマークを記録します。（➔49 ページ）
USER2 P2 TAPE	(カメラ)	USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。 BACKLIGHT
USER3 P2 TAPE	(カメラ)	USER3 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。 INDEX/MEMO

_____は工場出荷モードです。

AUTO SW 画面

項目	表示モード	設定内容
A.IRIS P2 TAPE	(カメラ)	ON： オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行います。この時 IRIS ボタンは機能しません。 OFF： オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行いません。IRIS ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。
AGC P2 TAPE	(カメラ)	A.IRIS 項目で ON が選択された時のオートゲイン制御の動作を設定します。 6dB： オートモードの時に、最大 6 dB のオートゲイン制御を行います。 12dB： オートモードの時に、最大 12 dB のオートゲイン制御を行います。 OFF： オートモードの時に、オートゲイン制御を行いません。GAIN スイッチで選択されているゲイン制御の動作を行います。
ATW P2 TAPE	(カメラ)	ON： オートモードの時に、ATW（自動追尾式のホワイトバランス）機能が働きます。この時 WHITE BAL スイッチや USER ボタンでは、ATW 機能動作の ON/OFF を行うことができません。ただし、USER ボタンに ATWLOCK を割り当てている時は、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。 OFF： オートモードの時に、ATW 機能動作を行いません。WHITE BAL スイッチで選択されているホワイトバランス機能動作を行います。
AF P2 TAPE	(カメラ)	ON： オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行います。この時 FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンは機能しません。 OFF： オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行いません。FOCUS スイッチや PUSH AUTO ボタンで選択されているフォーカスの動作を行います。

_____は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
REC FORMAT(P2) P2	(カメラ)	P2 カードの記録フォーマットを選択します。 1080i/60i、1080i/30P、1080i/24P、1080i/24PA、720P/60P、720P/30P、720P/24P、720P/30PN、720P/24PN、480i/60i、480i/30P、480i/24P、480i/24PA
REC FORMAT(TAPE) TAPE	(カメラ)	テープの記録フォーマットを選択します。 480i/60i、480i/30P、480i/24P、480i/24PA
480i REC MODE P2	(カメラ)	記録フォーマット (480i) の記録モードを選択します。 DVCPRO50、DVCPRO、DV
REC FUNCTION P2	(カメラ)	特殊記録モードを設定します。(➔48、49 ページ) NORMAL、INTERVAL、ONE SHOT、LOOP
ONE-SHOT TIME P2	(カメラ)	ONE-SHOT REC の記録時間を設定します。(➔48 ページ) 1F、2F、4F、8F、16F、1s
INTERVAL TIME P2	(カメラ)	INTERVAL REC のインターバル時間を設定します。(➔48 ページ) 2F、4F、8F、16F、1s、2s、5s、10s、30s、1m、5m、10m
PREREC MODE P2	(カメラ)	プリレックを設定します。(➔48 ページ) ON OFF
REC SPEED TAPE	(カメラ) (VCR) (DUB)	記録時間モードを選択します。 SP : SP (標準) モード LP : LP (長時間) モード
AUDIO REC TAPE	(カメラ) (VCR)	PCM オーディオへの記録変換方式 (音声記録モード) を選択します。 32K(12bit) : 12bit/32kHz 48K(16bit) : 16bit/48kHz
MIC ALC P2 TAPE	(カメラ)	マイクレベル自動制御機能の ON/OFF を切り替えます。(➔54 ページ) ON OFF ON に設定すると、過大な入力レベルの時に音声歪みを低減することができます。音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、AUDIO コントロールつまみで調整してください。
MIC GAIN 1 P2 TAPE	(カメラ)	INPUT 1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。(➔53 ページ) -50dB -60dB
MIC GAIN 2 P2 TAPE	(カメラ)	INPUT 2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。(➔53 ページ) -50dB -60dB
25M REC CH SEL P2	(カメラ)	DVCPRO25、DV フォーマットの時に、記録するオーディオを選択します。(➔53 ページ) 2CH、4CH <ノート> • 4チャンネルに設定しても、1394 入力されているチャンネル数が 2 チャンネルの時は 2 チャンネル入力 (CH1 と CH2 に固定) になります。 • 4チャンネルに設定しても、1394 出力は 2 チャンネル出力(CH1 と CH2 に固定) になります。

_____は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
1394 TC REGEN P2 TAPE	(MCR/ VCR)	1394 端子に接続している機器の信号を記録する時、記録するタイムコードを選択します。 ON : 1394 端子に入力されている信号のタイムコードで記録します。 OFF : TC MODE 項目／ TCG 項目／ FIRST REC TC 項目で設定されたタイムコードで記録します。 • この項目が ON に設定された場合、TC MODE 項目／ TCG 項目／ FIRST REC TC 項目の設定よりも優先されます。 • 1394 端子に信号が入力されていない時は、TC MODE 項目／ TCG 項目／ FIRST REC TC 項目の設定に従います。
TC MODE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR) (DUB)	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。 DF ：ドロップフレームモードを使用します。 NDF ：ノンドロップフレームモードを使用します。 • 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P、24PA、24PN に設定している時は、この項目の設定に関係なく、ノンドロップフレームモードになります。
TCG P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR) (DUB)	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN : 動作モードに関係なく歩進させます。 ダビングモード時は、P2 カードのクリップの持つタイムコードを引き継ぐように記録します。ユーザーズビットも引き継ぎます。 REC RUN : 記録中の時に歩進させます。
FIRST REC TC TAPE	(カメラ) (VCR) (DUB)	記録開始時に記録するタイムコードを選択します。 REGEN : テープ上のタイムコードに連続する（リジェネする）ように記録します。 PRESET : テープ上のタイムコードにリジェネを行いません。TC PRESET 項目で設定した値を初期値として、タイムコードを記録します。ただし、つなぎ撮りを行った時は、強制的にリジェネを行います。
TC PRESET P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR) (DUB)	記録するタイムコードの初期値を設定します。FIRST REC TC 項目で PRESET を選択した時に有効になります。 • 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P、24PA、24PN に設定している時は、フレームの値を、0 または、5 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。
1394 UB REGEN P2 TAPE	(MCR/ VCR)	1394 端子に接続している機器の信号を記録する時、記録するユーザーズビットを選択します。 ON : 1394 端子に入力されている信号のユーザーズビットで記録します。 OFF : UB MODE 項目で選択されているユーザーズビットで記録します。 • この項目が ON に設定された場合、UB MODE 項目の設定よりも優先されます。 • ユーザーズビット情報がない信号の場合は、ユーザーズビットを記録しません。 • 1394 端子に信号が入力されていない時は、UB MODE 項目の設定に従います。

_____は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
UB MODE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR) (DUB)	ユーザーズビットとして記録する内容を設定します。 USER： ユーザーの情報を記録します。 TIME： 記録した時刻を記録します。 DATE： 記録した日付を記録します。 TCG： タイムコードジェネレーターの値を記録します。 FRM. RATE： フレーム変換のフレームレート情報を記録します。 ＊＊ 0 ＊ ＊＊ ＊ ＊ a b c d **a: ユーザーズビット値の検算情報** **b: フレームシーケンス No.** •24P/24P（ADV）モードの時は、0 ～ 4 を表示。 •60i/30P モードの時は、F を表示。 **c: フレームレート情報** •フレームレート（60/30/24） •I/P 識別情報 •変換情報 •フレームレート係数 **d: 記録管理情報** •更新フレーム情報 •REC START/STOP 情報
UB PRESET P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR) (DUB)	ユーザーズビットを設定します。ただし、UB MODE 項目で USER を選択している必要があります。
1394 IN PRESET P2 TAPE	(MCR/ VCR)	TC SET ボタンを押した時に、1394 入力の TC に内部 TCG 値を同期します。 **ON**：同期セットモードに設定します。 OFF：同期セットモードを解除します。

_____は工場出荷モードです。

PLAYBACK FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
32K AUDIO TAPE	(VCR)	32K（12bit）音声モードで記録されたテープを再生した時に、CH1 信号と CH2 信号として出力する音声を設定します。 ST1： 撮影時に記録した音声を選択します。 CH1 信号 =CH1 トラック CH2 信号 =CH2 トラック ST2： アフレコ記録した音声を選択します。 CH1 信号 =CH3 トラック CH2 信号 =CH4 トラック MIX： 撮影時に記録した音声とアフレコ記録した音声をミックスします。 CH1 信号 =CH1 トラック +CH3 トラック CH2 信号 =CH2 トラック +CH4 トラック <ノート> 48K（16bit）音声モードで記録されている場合、CH3 と CH4 は存在しませんので、常に CH1 信号 =CH1 トラック CH2 信号 =CH2 トラック となります。
AUDIO OUT (P2) P2 AUDIO OUT (TAPE) TAPE	(MCR/ VCR)	P2 カードやテープを再生した時に、AUTIO IN/OUT 端子（ピンジャック）から出力する音声信号を設定します。 CH1・CH2： CH1 端子 =CH1 信号、CH2 端子 =CH2 信号 CH1： CH1 端子 =CH1 信号、CH2 端子 =CH1 信号 CH2： CH1 端子 =CH2 信号、CH2 端子 =CH2 信号 CH3・CH4：(P2 のみ) CH1 端子 =CH3 信号、CH2 端子 =CH4 信号 CH3：(P2 のみ) CH1 端子 =CH3 信号、CH2 端子 =CH3 信号 CH4：(P2 のみ) CH1 端子 =CH4 信号、CH2 端子 =CH4 信号

32K AUDIO 項目 /AUDIO OUT 項目の設定と AUDIO IN/OUT 端子（ピンジャック）から出力される音声トラック TAPE

音声記録モード	32K AUDIO 項目の設定	AUDIO OUT 項目の設定	AUDIO IN/OUT CH1 の出力	AUDIO IN/OUT CH2 の出力
32K（12bit）	ST1	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2
	ST2	CH1・CH2 CH1 CH2	CH3 CH3 CH4	CH4 CH3 CH4
	MIX	———	CH1+CH3	CH2+CH4
48K（16bit）	———	CH1・CH2 CH1 CH2	CH1 CH1 CH2	CH2 CH1 CH2

_____は工場出荷モードです。

DUBBING SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
FORMAT SEL **P2**	(DUB)	ダビング時再生するクリップのフォーマットを選択します。 1080i/60i、1080i/30P、1080i/24P、1080i/24PA、720P/60P、720P/30P、720P/24P、720P/30PN、720P/24PN
PULLDOWN SEL **TAPE**	(DUB)	P2 カードからダビング時に 24PN（ネイティブ記録）の再生でのプルダウン方式を選択します。 24P： 24 コマ／秒の画像を2：3変換方式で 60 フィールドのインターレース信号に変換します。 24PA： 24 コマ／秒の画像を2：3：3：2のアドバンス変換方式で 60 フィールドのインターレース信号に変換します。
SETUP **TAPE**	(DUB)	ダビング時の 480i での映像信号のセットアップレベルを設定します。 0%: カメラ出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 7.5%: カメラ出力、記録上ともセットアップ 7.5% になります。

AV IN/OUT SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
CMPNT OUT SEL **P2**	(カメラ) (MCR)	コンポーネント端子の種類を設定します。 720P：D4 端子対応モニター 1080i：D3 端子対応モニター 480i：D1 端子対応モニター • 720P で記録したものを 1080i 出力する時のみクロスコンバートされます。その他の場合は変換なしで出力されます。
HP MODE **P2** **TAPE**	(カメラ)	ヘッドホンの出力を切り替えます。 LIVE： マイクから入力された音声をそのまま出力します。音の遅延が気になる場合に選択します。 RECORDING： 記録される状態の音声（映像と同期した音声）を出力します。
A. DUB INPUT **TAPE**	(VCR)	アフレコを行う時に記録する音声を選択します。（➔81 ページ） MIC：内蔵マイク、INPUT1、INPUT2 端子からの入力設定 A. IN：AUDIO IN/OUT 端子からの入力設定
1394 OUT **TAPE**	(VCR)	入力されているアナログ信号をデジタル信号に変換して、1394 端子から出力する機能の ON/OFF を切り替えます。 ON　OFF

_____は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
ZEBRA DETECT 1 P2 TAPE	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、<u>80%</u>、85%、90%、95%、100%、105%
ZEBRA DETECT 2 P2 TAPE	(カメラ)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、<u>100%</u>、105%、OFF <ノート> • OFF に設定した時は、このゼブラパターンを表示しません。
MARKER P2 TAPE	(カメラ)	マーカーの表示 ON/OFF を切り替えます。（➔44 ページ） <u>ON</u> OFF • ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押して、マーカーを表示することができます。
SAFETY ZONE P2 TAPE	(カメラ)	SAFETY ZONE を設定します。 OFF、<u>90%</u>、4 : 3
VIDEO OUT OSD P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 ON <u>OFF</u> <ノート> • テープ使用時、ON に設定しても記録中は OSD が出力されません。ただし、記録待機中の 1394 出力には OSD が出力されます。不要な場合は OFF に設定してください。 • テープ使用時にバックアップ記録する場合、この項目を ON に設定していると、本機が記録状態以外の時は 1394 出力に OSD が出力されます。OTHER FUNCTIONS 画面の 1394 CONTROL 項目（➔112 ページ）を OFF 以外に設定してバックアップ記録している場合は、予期せず OSD が記録されることがありますので特にご注意ください。
DATE/TIME P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 <u>OFF</u> : 日付や時刻を表示しません。 TIME : 時刻を表示します。 DATE : 日付を表示します。 TIME&DATE : 日付と時刻を表示します。 • OFF 以外に設定すると、映像出力信号には、VIDEO OUT OSD の設定に関係なく、日付や時刻が表示されます。（リモコンで OFF にすることもできます。➔76 ページ）
LEVEL METER P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	オーディオレベルメーターの表示 ON ／ OFF を切り替えます。 <u>ON</u> OFF

<u>　　</u>は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
ZOOM・FOCUS P2 TAPE	(カメラ)	ズーム値とフォーカス値の単位表示を切り替えます。 OFF、NUMBER、mm/feet、mm/m <ノート> mm/feet 表示、mm/m 表示には誤差がありますので目安としてお使いください。
CARD/TAPE・BATT P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	カード / テープ残量とバッテリー残量の表示 ON/OFF を切り替えます。 ON OFF
OTHER DISPLAY P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報量を設定します。(➔94 ページ) OFF、PARTIAL、ALL
CAMERA DATA P2 TAPE	(MCR/VCR)	ON に設定すると、テープを再生する時撮影時のカメラ情報（手ぶれ補正、絞り値、ゲイン値など）を表示します。 ON OFF <ノート> P2 モードでは 480i REC MODE（➔105 ページ）が DV の時のみ表示します。
LCD BACKLIGHT P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	液晶モニターのバックライトを調整します。HIGH に設定すると、通常より明るくなります。 HIGH NORMAL
LCD SET P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。(➔26 ページ) LCD COLOR LEVEL LCD BRIGHTNESS LCD CONTRAST
EVF SET P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。(➔26 ページ) EVF COLOR LEVEL EVF BRIGHTNESS EVF CONTRAST
SELF SHOOT P2 TAPE	(カメラ)	対面撮影を行う時に、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。(➔43 ページ) NORMAL MIRROR
EVF MODE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	液晶モニターとビューファインダーの表示切り替えを選択します。 ON : ビューファインダーには常に映像を表示します。 AUTO : 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。
DISPLAY ASPECT P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	液晶モニターとビューファインダーのアスペクトを選択します。 AUTO : 記録モード、再生モード等の情報をもとに自動的に切り替えます。 4:3 : 4:3 に固定します。 <ノート> 16:9 表示は、画面上下に黒帯が表示されます。映像は欠けません。
EVF COLOR P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	ビューファインダー表示をカラー／モノクロから選択します。 ON : カラー表示 OFF : モノクロ表示

_____は工場出荷モードです。

CARD FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
SCENE FILE P2	(カメラ)	SCENE FILE を４つまで SD メモリーカードへ保存できます。保存したファイルにはタイトルを付けることもできます。 READ：読み出し WRITE：書き込み
USER FILE P2	(カメラ)	SCENE FILE 以外の項目の設定値を４つまで SD メモリーカードへ保存できます。保存したファイルにはタイトルを付けることもできます。 READ：読み出し WRITE：書き込み
SD CARD FORMAT P2	(カメラ)	SD メモリーカードをフォーマットします。

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
REMOTE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/VCR)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。(➔22 ページ リモコンの設定) VCR1： VCR1 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 VCR2： VCR2 用に設定されたリモコンでの操作を受け付けます。 OFF： リモコンでの操作を受け付けません。
1394 CONTROL P2 TAPE	(カメラ)	1394 端子にバックアップ用の機器を接続して、バックアップ撮影を行う場合の制御方法を設定します。 OFF： バックアップ用の機器を制御しません。 EXT： 本機の START/STOP ボタンで、バックアップ用の機器を制御します。本機で撮影している映像を、バックアップ用の機器で記録します。ただし、本機は記録動作を行いません。 BOTH： 本機で撮影している映像を、本機とバックアップ機器の両方で記録します。 CHAIN： 撮影中に本機のメディアが終端付近になると、記録待機状態にしているバックアップ用の機器で、自動的に記録を開始します。
1394 CMD SEL P2 TAPE	(カメラ)	本機の START/STOP ボタンを押した時に、バックアップ用の機器が行う記録動作を設定します。 REC_P： 記録と記録一時停止に切り替わります。 STOP： 記録と停止に切り替わります。 <ノート> バックアップ用の機器に、記録一時停止の機能がない場合は、STOP を選択してください。

_____は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
END SEARCH TAPE	(カメラ) (VCR)	END SEARCH ボタンを押した時の動作を設定します。 BLANK：テープの無記録部分の検索 REC END：撮影した最後の部分の検索
PC MODE P2	(カメラ) (MCR)	データ転送に使用する端子を選択します。(USB と 1394 の同時使用はできません。) USB DEVICE: USB 端子を使ったファイル転送モード 1394 DEVICE： 1394 端子を使ったファイル転送モード 1394 HOST： 1394 端子を使って P 2カードから外部ハードディスクにファイルをコピーするモード
REC LAMP P2 TAPE	(カメラ)	タリーランプの点灯を設定します。 OFF： タリーランプは点灯しません FRONT： フロントのタリーランプ（マイクロホン側）が点灯します。 REAR： リアのタリーランプ（ビューファインダー側）が点灯します。 BOTH： フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。
ACCESS LED P2	(カメラ) (MCR)	アクセスランプの ON/OFF を切り替えます。 ON： 通常通りの仕様で点灯、点滅 OFF： いかなる場合も消灯にする
BEEP SOUND P2 TAPE	(カメラ)	ビープ音の ON/OFF を切り替えます。 ON OFF ON に設定すると、下記の時にビープ音を発信します。 ビープ音を発信する時は、出力端子からの音声信号をミュートしてビープ音を出力します。 •記録中に P2 カードおよびテープが FULL になった時 •電源 ON 時に記録可能なテープが入っていない時 •記録禁止のテープを挿入した時 •本機内部に結露が発生した時 •本機に異常が発生した時 <ノート> AV IN/OUT SETUP 画面の HP MODE 項目で LIVE を選んでいる場合、ON に設定してもビープ音は鳴りません。
CLOCK SET P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR)	本機の内蔵カレンダーを設定します。

_____は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
TIME ZONE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR)	GMT に対して、− 12:00 から＋ 13:00 まで 30 分単位（ただし＋ 12:45 はあり）で設定します。（下記参照） +9 : 00

時　差	地　域	時　差	地　域
00:00	グリニッジ	− 00:30	
− 01:00	アゾレス諸島	− 01:30	
− 02:00	中部大西洋	− 02:30	
− 03:00	ブエノスアイレス	− 03:30	ニューファンドランド島
− 04:00	ハリファックス	− 04:30	
− 05:00	ニューヨーク	− 05:30	
− 06:00	シカゴ	− 06:30	
− 07:00	デンバー	− 07:30	
− 08:00	ロサンゼルス	− 08:30	
− 09:00	アラスカ	− 09:30	マルケサス諸島
− 10:00	ハワイ	− 10:30	
− 11:00	ミッドウェイ諸島	− 11:30	
− 12:00	クワジャリン	＋ 11:30	ノーフォーク島
＋ 13:00		＋ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
＋ 12:00	ニュージーランド	＋ 09:30	ダーウィン諸島
＋ 11:00	ソロモン諸島	＋ 08:30	
＋ 10:00	グアム	＋ 07:30	
＋ 09:00	東京	＋ 06:30	ラングーン
＋ 08:00	北京	＋ 05:30	ボンベイ
＋ 07:00	バンコク	＋ 04:30	カブール
＋ 06:00	ダッカ	＋ 03:30	テヘラン
＋ 05:00	イスラマバード	＋ 02:30	
＋ 04:00	アブダビ	＋ 01:30	
＋ 03:00	モスクワ	＋ 00:30	
＋ 02:00	東ヨーロッパ	＋ 12:45	チャタム諸島
＋ 01:00	中央ヨーロッパ		

_____は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
POWER SAVE P2 TAPE	(カメラ)	約5分間、上面操作キー、DISP/MODE CHK ボタン、USER1-3 ボタン、EVF DTL ボタンの操作がなかった時の省電力モードを選択します。 ON： 本機の電源を OFF の状態にします。 OFF： 本機の電源を OFF にせずに、シリンダーヘッドの停止状態を保持します。 •IEEE1394 ケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源 OFF にはなりません。
LANGUAGE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR)	メニュー表示言語を設定します。 ENGLISH：英語 JAPANESE：日本語
USER FILE P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR)	LOAD： 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 SAVE： 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 INITIAL： ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 LOAD や INITIAL を行った時は、設定値を有効にするために、本機の POWER スイッチを OFF にし、再度 ON にしてください。 •INITIAL を実行しても、TIME ZONE 項目（➔114 ページ）の設定は変更されません。
HOUR METER TAPE	(カメラ) (VCR)	シリンダーヘッドの総回転時間（時間単位で 5 けた）を表示します。

OPTION MENU 画面

DISP/MODE CHK ボタンを押したままにして、撮影状態の内容が表示されてから MENU ボタンを押すと表示されます。ノンリニア編集時に接続状態を確認したい時に使用します。

項目	表示モード	設定内容
1394 STATUS P2 TAPE	(カメラ) (MCR/ VCR)	1394 状態表示サブ画面が表示されます。 •P2 使用時 FORMAT: 入力、もしくは出力されている信号フォーマット RATE: 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50: 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH: 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED: 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 STATUS: IEEE1394 デジタルインターフェイスで入力、もしくは出力されている信号の状態 VIDEO: 入力、もしくは出力されるビデオ信号の状態 AUDIO: 入力、もしくは出力されるオーディオ信号の状態 •テープ使用時 FORMAT: 入力、もしくは出力されている信号フォーマット RATE: 入力、もしくは出力されている信号の転送レート 60/50: 入力、もしくは出力されている信号の方式 CH: 入力、もしくは出力されているチャンネルの値 SPEED: 入力、もしくは出力されている信号の転送速度 MODE: IEEE1394 デジタルインターフェイスで入力、もしくは出力されている信号の状態 RX: 受信状態 TX: 送信状態
1394 CONFIG P2	(カメラ) (MCR)	1394 拡張用メニューが表示されます。 DFLT：通常はこのままでお使いください。 1-255

_____は工場出荷モードです。

故障？と思ったら（Q&A）

電源関係

電源が入らない。	• バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。 接続を確認してみてください。	P20
電源がかってに切れる。	• バッテリーの消耗やテープの摩耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が 5 分以上続くと、自動的に電源が切れます。 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面の POWER SAVE 項目を確認してください。	P115
電源が入ってもすぐに切れる。	• バッテリーが消耗していませんか。 バッテリー残量表示が点滅していたり、▭ の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。電源を入れた時、CAM、MCR、PC のランプが上から順に点滅し電源が切れてしまう場合も同様です。 バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。 • 結露が発生していませんか。 寒い所から温かい所にカメラを持ち込んだ時など、内部に結露が発生することがあります。この場合は、自動的に電源が切れ、テープ取り出し以外の操作はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。	P19 P124

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	• 十分に充電されていますか。 AC アダプターの CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。 • 低い温度の所で使っていませんか。 バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 • バッテリーが寿命になっていませんか。 バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。	P19 —— ——
バッテリーが充電できない	• DC コードが AC アダプターに接続されていませんか。 DC コードを接続していると充電できません。	——

撮影（一般）

撮影が始まらない。	• POWER スイッチが ON になっていますか。 • 結露が発生していませんか。 結露が発生していると、テープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。	P23 P124
自動でピントが合わない。	• マニュアルフォーカスモードになっていませんか。 オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 • オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。 オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わすことができます。 **ピントの合いにくい場面** ・遠くと近くのものを撮る ・汚れたガラスの向こうのものを撮る ・暗い場所を撮る ・キラキラと光るものが周りにある ・動きの速いものを撮る ・コントラストの少ないものを撮る	P39 ——

撮影（P2 カード使用時）

P2 カードを正しく入れているのに撮影できない。	• MEDIA スイッチが「TAPE」側になっていませんか。 「P2」側に切り替えてください。	P28
	• P2 カードの書き込み禁止スイッチが「PROTECT」側になっていませんか。 「 PROTECT 」側になっていると録画できません。	P29
	• P2 カードのメモリー残量が極端に少なくなっていませんか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。	——
	• P2 カードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。 本機でフォーマットしてください。	P29
	• 2 GB の P2 カードは使用できません。	——

撮影（テープ使用時）

テープを正しく入れているのに撮影できない。	• MEDIA スイッチが「P2」側になっていませんか。 「TAPE」側に切り替えてください。	P31
	• VCR ランプが点灯していませんか。 VCR モードの時は、撮影することができません。動作モード切り替えスイッチを押してカメラモードにしてください。	P31
	• テープの誤消去防止つまみが開いていませんか。 テープについている誤消去防止つまみが開いている（SAVE 側になっている）と録画できません。	P32
	• テープの終端（テープの一番最後）位置になっていませんか。 新しいテープに交換してください。	——
	• カセットホルダーが開いていませんか。 カセットホルダーが開いていると、カメラの操作ができません。	——
	• AUTO OFF/T REEL LOCK が表示していると、テープが切断していることが考えられます。テープを確認してください。	——

編集

アフレコができない。	• テープの誤消去防止つまみが開いていませんか。 誤消去防止つまみが開いている（SAVE 側になっている）と編集できません。	P32
	• LP モードで撮影した部分に編集しようとしていませんか。 LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。	——
SD メモリーカードが読めない。	• SD メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。 本機でフォーマットしてください。	P33
	• テープモードでは SD メモリーカードは読めません。P2 モードに切り替えてください。	P33
ノンリニア編集ができない。	• パソコンと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P83
外部機器にダビングできない。	• 外部機器は正しく接続されていますか。	P79、80

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	• 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。	——
テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない。	• 30 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。 • 実際のテープ残量より 2 ～ 3 分少ない表示が出る場合があります。	—— ——

再生

再生ボタンを押しても再生できない。	• カメラモードになっていませんか。 動作モードボタンを押して、MCR/VCR ランプを点灯させてください。	P64、65
P2 カードまたはテープが再生できない。	• MEDIA スイッチは正しい位置になっていますか。 「P2」または「TAPE」に切り替えてください。	P64、65
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	• デジタル特有の現象です。故障ではありません。	——
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	• テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。 テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。 • コンポーネント映像ケーブルを接続している時は、VIDEO OUT および S-VIDEO OUT 端子から映像が出ません。	—— P80
テープの再生画像がきれいに映らない。	• 本機のヘッドが汚れていませんか。 ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。	——
本機のスピーカーから再生音声が出ない。	• 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。 AUDIO MON/VAR ボタン＋を押して音量を調整してください。	P75
音声が重なって聞こえる。	• 設定メニュー PLAYBACK FUNCTIONS 画面の 32K AUDIO 項目を MIX に設定していませんか。 • 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 32K(12bit) に設定して記録したテープにアフレコ編集すると、記録時の音声と後から録音した音声が重ねて聞こえます。それぞれの音声を別々に聞くこともできます。	P108 P105
アフレコすると元の音声が消えてしまった。	• 設定メニュー RECORDING SETUP 画面の AUDIO REC 項目を 48K（16bit）に設定して撮影した部分にアフレコすると元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に 32K(12bit) に設定して撮影してください。	P105
ホットスワップ再生ができない。	• 本機はホットスワップ再生に対応していません。 ダビング時には一度停止し、P2 カードを入れ替えてください。	P87

その他

テープの取り出しができない。	• 電源の供給はされていますか。 AC アダプターやバッテリーが正しく入っていますか。 電源が供給されていると、POWER スイッチを ON にしなくてもテープを取り出すことができます。	P20
テープの取り出し操作以外なにもできない。	• 結露が発生していませんか。 結露が発生していると、テープの取り出し操作以外はできなくなります。結露がなくなるまでお待ちください。 • EJECT スイッチをスライドさせてカセットホルダーが開いた後、すぐにカセットホルダーを閉じると、イジェクト以外の操作が行えなくなることがあります。この時は、再度、EJECT スイッチをスライドさせてカセットホルダーを開き、カセットメカニズムがイジェクト動作を完了したことを確認してから、カセットホルダーを閉じてください。	P124 ——
リモコンが働かない。	• リモコンのボタン電池が消耗していませんか。 リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、ボタン電池が消耗しています。新しいボタン電池と交換してください。 • リモコンの設定は合っていますか。 リモコンと本機の［REMOTE］設定が合っていないと、リモコンを操作しても動作しません。	P22 P22
本機を前後に傾けた時に、カタカタと音がする。	• MCR/VCR モードの時や、POWER スイッチが OFF の時は、カメラ部の構造にカタカタと音がする部分があります。故障ではありません。	——
電源を入れた時や、MCR/VCR モードからカメラモードに切り替えた時、一瞬カタッと音がする。	• カメラ起動時の初期化動作です。カメラ構造によるもので、故障ではありません。	——

使用上のご注意

雨天、降雪中、海岸などで使う時は、カメラに水が入らないようご注意ください。
- カメラやカードおよびテープの故障につながります。（修理できなくなることがあります。）

磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）からカメラを遠ざけてください。
- テレビの上やその周辺でカメラを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめることがあります。
- マイクロコンピューターから放出される電磁波は、カメラに悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器によりカメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、AC アダプターをコンセントから抜きます。そしてもう一度バッテリーを入れるか、AC アダプターを接続します。その後カメラの電源を入れます。

カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。
- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようご注意ください。
- 砂やほこりでカメラやカードおよびテープが破損することがあります。（カードおよびテープを出し入れする時にはご注意ください。）

AC アダプターとバッテリーについて
- バッテリー本体の温度が極端に高かったり低かったりする時、もしくはバッテリーが長期間使用されずに放電したままになっている時、［CHARGE］ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- バッテリーが適温でも［CHARGE］ランプが点滅し続ける時は、バッテリーか AC アダプターに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かい時、充電時間は通常より長くかかります。
- AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- AC アダプターの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

本製品には充電式電池を使用しております。ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、お買い上げの販売店、最寄りの松下電器の販売店、サービスセンター、販売会社、または、充電式電池リサイクル協力店へご持参下さい。
使用済み充電式電池（バッテリー）の取り扱い：
- 端子部をセロハンテープなどでおおい、リサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

カメラを持ち運ぶ時、落とさないようにご注意ください。
- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶ時は、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱ってください。

カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

使用後は、必ずテープを取り出し、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。
- テープを入れたままにしておくと、たるんで破損の原因になります。

バッテリーの特性について
このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった5分ほどしかもちません。
バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。
カメラからバッテリーを確実に外してください。（付けたままにしておくと、カメラの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。）長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください。
バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。
また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。
変形したバッテリーをカメラに入れたり、ACアダプターに付けると、カメラやACアダプター側を傷めることがあります。

メモリーカードを破棄／譲渡する時のお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶について
- 液晶モニターやビューファインダーに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。
- 液晶部は、精密度の高い技術で作られています。99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。
- カメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。
内部の部品が破損するおそれがあります。

端子の保護キャップについて
使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

本機搭載ドライバーのアップデート

ドライバーに関する最新情報は、下記のウェブサイトより、P2 のサポートページをご覧ください。

http://panasonic.biz/sav/

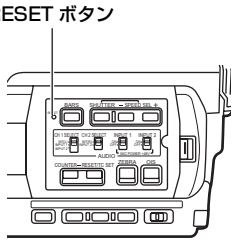
ドライバーのアップデートの際は、サムネールメニューの PROPERTY → SYSTEMINFO で本機のバージョンを確認の上、上記のサイトにアクセスし、必要に応じてドライバーをダウンロードしてください。アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、上記サイトをご覧ください。

- インストールする時は、必ず AC アダプターを接続してください。
- 本機で使用する SD メモリーカードは SD 規格に準拠したものをお使いください。
  また、SD メモリーカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。パソコンでフォーマットする必要がある場合は、専用ソフトウェアを上記のサイトからダウンロードしてご使用ください。

システムリセット

電源が入っているのに操作できないなど、トラブルが起こった時は、システムマイコンのリセットを行います。
カメラ本体の RESET ボタンを先の細いもので押してください。
リセットを行っても、確定した設定メニューの値や、メモリーしている内容は消えません。

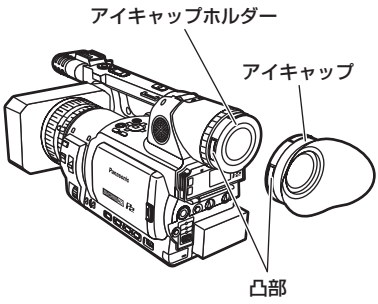
本機が正常に動作している時は、押さないでください。

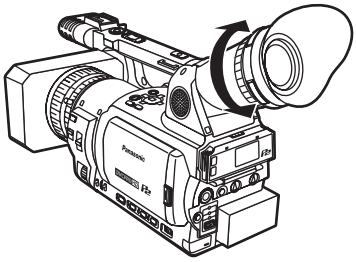


お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。
- ベンジンやシンナーを使うと、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、AC コードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラをふいてください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ
ビューファインダーの内部にホコリが付着した場合、アイキャップホルダーを取り外して除去してください。
- アイキャップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対にふかないでください。ホコリが付着した時は、エアーブロアなどで吹き飛ばしてください。
- アイキャップホルダーは、アイキャップを付けた状態で反時計方向に回して取り外します。(アイキャップホルダーは、固めに締めてあります。) この時、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイキャップホルダーを取り付ける時は、アイキャップホルダーとカメラ本体の凹凸部を合わせ、時計方向にカチッと音がするまで回してください。





ビデオヘッド

ビデオヘッドが汚れていると、再生した時に部分的にモザイク状のノイズが出たり、画像全体が青くなります。
汚れがひどくなると、記録能力が低下し、最悪の場合は記録ができなくなります。

ヘッド汚れが起こる原因
- 空気中のほこりの多さ。
- 高温、多湿な環境。
- テープの傷。
- 長時間の使用。

クリーニングテープを使う（別売品 ➔ 130 ページ）

①クリーニングテープをカメラレコーダーに挿入し、POWER スイッチを ON にします。
②動作モードボタンを押し、VCR ランプが点灯していることを確認します。
③操作ボタン▶を押し、10 秒以内に■を押します。
（この時テープは巻き戻さないでください。）
④クリーニングテープを取り出し、他のテープで試しに記録・再生をし、画像をチェックします。
⑤映像が鮮明でない場合、①〜④の手順を繰り返します。
（クリーニングテープは 4 回以上続けて使用しないでください。）

- クリーニングテープは途中で巻き戻さないでください。テープの最後で巻き戻し、テープの始めから同様にもう一度使ってください。
- クリーニングしてもすぐにヘッドが汚れる時はテープが劣化している場合がありますので、直ちに使用を中止してください。
- クリーニングテープを使いすぎると、ヘッド摩耗の原因になります。摩耗すると、ヘッドをクリーニングした直後でも映像がきれいに再生されません。
- クリーニングテープを使用してもヘッド汚れが改善されない場合は、販売店での掃除・修理が必要です。販売店にご相談ください。

定期点検

美しい画像をご覧いただくために、ビデオヘッドなどの摩耗部品を、およそ使用 2000 時間を目安に交換されることをお勧めします。
（ただし、温度、湿度、ほこりなどの使用環境によって、この時間は大幅に異なります。）

結露

内部に結露が起こった時の見わけかたと処置のしかた

カメラの電源を入れた後、結露表示マーク [◆] が点滅したら、カメラ内に結露が起こっています。この場合、数秒間経過すると自動的に電源が切れます。結露表示マーク [◆] が表示されても、P2 モードにすると動作します。もう一度 TAPE モードにすると、結露表示マーク [◆] が再表示され、数秒後自動的に電源が切れます。
次の処置をしてください。

①テープを出します。
その他の機能は働きません。結露の状態によっては、テープが出てこない場合があります。この場合は、2 〜 3 時間待ってから出してください。
②カセットホルダーを開けたまま、2 〜 3 時間待ちます。
待ち時間は、結露の状態や周囲の温度により異なります。
③2 〜 3 時間後、電源を入れて、結露表示が消えているかどうかを確かめます。
結露表示が消えていても念のため 1 時間ほど待ってから使ってください。

結露表示が出る前にも、結露にご注意ください。
- 結露は徐々に進行しますので、内部で結露が始まってから 10 〜 15 分間は、結露表示が出ない場合があります。

特に温度が低い寒冷地では、つゆが凍結し、霜になることがあります。このような場合は、霜が溶けてつゆになるまでさらに 2 〜 3 時間ほどかかります。

保管上のお願い

保管時は、カメラからテープを出し、バッテリーを外してください。
湿気が少なく比較的温度が一定な場所にそれぞれ保管してください。
[推奨温度：15 ℃～ 25 ℃]
[推奨相対湿度：40% ～ 60%]

カメラレコーダー

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- **バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、カメラで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。

P2 カード

- 本機から取り出した時は、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクター部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。

テープ

- 高温になる所には保管しないでください。テープが傷んで、再生時にモザイク状のノイズが出ることがあります。
- テープは始端（巻き始め）まで巻き戻して保管してください。テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみます。必ず始端まで確実に巻き戻してください。
- 元のケースに入れて保管してください。ほこりや直射日光（紫外線）、湿気などはテープを傷めることがあります。ほこりには堅い鉱物質の粒子も混じっており、テープにほこりが入るとカメラのヘッドやその他の部品を傷めてしまいます。必ずもとのケースに戻す習慣をつけてください。
- 半年に一度は巻き直しをしてください。テープを 1 年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度の変化による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。また、テープどうしが張り付いてしまうことがあります。
- 強い磁気を持つ物質や機器の近くにテープを置かないでください。
- テープの表面には極めて細かな磁気粒子がコーティングされており、ここで信号を記録しています。磁気ネックレスやおもちゃなどは、思ったより磁気が強く、記録内容を消したり、画面や音声にノイズを発生させる原因となることがあります。

SD メモリーカード

- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License （GPL ）ならびに GNU Lesser General Public License （LGPL ）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。

   GPL/LGPL の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダを参照してください。（なお、原文（英文）で記載しております。）また、ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

   http://panasonic.biz/sav/

   なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
   MIT の内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。LDOC という名前のフォルダを参照してください。（なお、原文（英文）で記載しております。）

- LEICA/ ライカは、ライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。
- SD ロゴは商標です。

その他、この説明書に記載されている、各種説明、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録フォーマット一覧

				フレームレート			
				60	30P	24P	24PA
ビデオフォーマット	P2カード	DVCPRO HD	1080i/60i	1080i/60i	1080i/30P over 60i	1080i/24P over 60i	1080i/24PA over 60i
			720P/60P	720P/60P	720P/30P over 60P	720P/24P over 60P	—
			720P/30PN	720P/60P ネイティブ記録	720P/30PN	720P/24P ネイティブ記録	—
			720P/24PN	720P/60P ネイティブ記録	720P/30P ネイティブ記録	720P/24PN	—
		DVCPRO50 DVCPRO DV	480i/60i	480i/60i	480i/30P over 60i	480i/24P over 60i	480i/24PA over 60i
	テープ	DV					

				フレームレート							
				12	18	20	22	26	32	36	48
ビデオフォーマット	P2カード	DVCPRO HD	1080i/60i	—							
			720P/60P	720P/12P - 48P over 60P							
			720P/30PN	720P/12P - 48P ネイティブ記録							
			720P/24PN	720P/12P - 48P ネイティブ記録							
		DVCPRO50 DVCPRO DV	480i/60i	—							
	テープ	DV									

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス
などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。
※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
ただし、下記の部品につきましては、保証期間内でも使用時間による保証となります。
メカニズムユニット：2,000 時間

■ 補修用性能部品

当社では、メモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。
※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。
部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。
定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AG-HVX200
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

【総合】

電源電圧　DC7.2 V/7.9 V
消費電力
11.6 W（ビューファインダー使用時）
12.0 W（液晶モニター使用時）

□は安全項目です。

動作周囲温度
0 ℃～ 40 ℃
動作周囲湿度
10% ～ 85%（結露なし）
質量
2.5 kg（バッテリーや付属品を除く）
外形寸法（幅×高さ×奥行き）
168.5 mm × 180.0 mm × 390.0 mm

【カメラ】
撮像素子
CCD 型個体撮像素子× 3
（1/3 型、インターライン型、プログレッシブ対応）
レンズ
LEICA DICOMAR 光学式手ぶれ補正レンズ、電動 / マニュアル切り替え 13 倍ズーム、F1.6（f=4.2 mm ～ 55 mm）
（35 mm 換算：32.5 mm ～ 423 mm）
色分解光学系
プリズム方式
ND フィルター
1/8、1/64
ゲイン切り替え
0/+3/+6/+9/+12/+18 dB（60i/60P モード）
0/+3/+6/+9/+12 dB（30P/30PN/24P/24PA/24PN モード）
シャッタースピード
プリセット
60i/60P モード：
1/60 (OFF)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒
30P/30PN モード：
1/30、1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000 秒
24P/24PA/24PN モード：
1/24、1/50 (OFF)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000 秒
シンクロスキャン
60i/60P モード：1/60.0 秒～ 1/249.8 秒
30P/30PN モード：1/30.0 秒～ 1/249.8 秒
24P/24PA/24PN モード：
1/24.0 秒～ 1/249.8 秒
シャッター開角度
10 度～ 350 度まで 0.5 度ステップで設定可能（SCENE FILE の OPERATION TYPE が FILM CAM 設定時）
スローシャッタースピード
60i/60P モード：1/15、1/30
30P/30PN モード：1/15
24P/24PN モード：1/12（720P モードのみ）
最低照度
3 ルクス（F:1.6、ゲイン +12dB、1/24 シャッター時）
レンズフード
広視野大型レンズフード
フィルター径
82 mm

【ビデオ P2】(DVCPRO HD 1080i 720P)
サンプリング周波数
Y：74.25 MHz、PB/PR：37.125 MHz
量子化
8 bit
ビデオ圧縮方式
DCT+ 可変長符号
ビデオ圧縮比率
1/6.7
ビデオ記録ビットレート
100 Mbps

【オーディオ P2】(DVCPRO HD 1080i 720P)
サンプリング周波数
48 kHz
量子化
16 bit/4 CH
周波数特性
20 Hz ～ 20 kHz
ワウ・フラッター
測定限界値以下

【メモリーカード】
映像記録フォーマット：
DVCPRO HD
1080i/60i (30P over 60i、24P over 60i、24PA over 60i)
720P/60P (30P over 60P、24P over 60P)
720P/30PN
720P/24PN
DVCPRO50/DVCPRO/DV
480i/60i (30P over 60i、24P over 60i、24PA over 60i)
音声記録フォーマット：
PCM デジタル記録
48 kHz　16 ビット　4CH（DVCPRO HD/DVCPRO50）
48 kHz　16 ビット　2CH/4CH 切り換え（DVCPRO/DV）
記録・再生時間：
約 4 分：
AJ-P2C004HG を 1 枚使用し、DVCPRO HD、音声 4CH で記録時

約 8 分：
AJ-P2C008HG を 1 枚使用し、
DVCPRO HD、音声 4CH で記録時
＜ノート＞
- この時間は、P2 カードに 1 ショットを連続記録した場合のものです。記録するショット数によっては、記録できる時間は上記の時間より短くなる場合があります。
- DVCPRO HD は 720P/30PN、720P/24PN を除きます。

【テープ】

記録フォーマット
デジタルビデオ SD 仕様

テープフォーマット
Mini DV 方式

記録ビデオ信号
480i/60i（NTSC）
24P/24PA/30P モードでは、480i/60i に変換して記録

フレームレート
60i（480i）、24P、24PA、30P

記録オーディオ信号
PCM デジタル記録
16bit：48kHz/2CH
12bit：32kHz/4CH

記録トラック
デジタル・ビデオ / オーディオ：
ヘリカルトラック
タイムコード：
ヘリカルトラック（サブコード領域）

テープスピード
SP モード：18.812 mm/ 秒
LP モード：12.555 mm/ 秒

記録時間（AY-DVM60 使用時）
SP モード：60 分
LP モード：90 分

使用テープ
6.35 mm 幅メタルテープ

FF/REW 時間
約 140 秒（AY-DVM60 使用時）

【映像入出力】

アナログコンポーネント出力
D 端子（D4/D3/D1 対応）× 1
Y: 1.0 V [p-p]、75Ω
PB/PR: 0.7 V [p-p]、75Ω

アナログ・コンポジット入出力（入出力自動切換）
ピンジャック× 1、1.0 V [p-p]、75Ω

S-VIDEO 入出力（入出力自動切換）
4 ピン× 1、Y/C セパレート信号入出力
Y：1.0 V [p-p]、75 Ω
C：0.286 V [p-p]、75 Ω

【オーディオ入出力】

XLR 入力
XLR（3 ピン）× 2（INPUT 1、INPUT 2）、
LINE/MIC 切り替え、ハイインピーダンス
LINE：0 dBu
MIC：-50 dBu/-60 dBu（メニューにて切り替え）

LINE 入出力（入出力自動切換）
ピンジャック× 2（CH1、CH2）
入力：316 mV、ハイインピーダンス
出力：316mV、600Ω

内蔵マイク
ステレオマイクロホン

ヘッドホン
ステレオミニジャック（3.5 mm 径）

内蔵スピーカー
28 mm 丸形× 1

【その他入出力】

デジタルインターフェース
4 ピン、デジタル入出力（IEEE1394 規格準拠）

USB
Type mini B コネクター（USB ver. 2.0 準拠）

カメラリモート
ミニジャック（3.5 mm 径）(FOCUS, IRIS)
スーパーミニジャック（2.5 mm 径）(ZOOM S/S)

DC 入力
2P × 1、DC 7.9 V

【モニター】

LCD
3.5 インチ、液晶カラーモニター（21 万画素）

ビューファインダー
0.44 インチ、液晶カラービューファインダー（23.5 万画素）

【AC アダプター】

定格入力	100 V - 240 V AC、50/60 Hz　24 W
定格出力	7.9 V DC、1.9 A（ビデオカメラ）
	8.4 V DC、1.2 A（充電時）

▭は安全項目です。

質量
160 g

外形寸法（幅×高さ×奥行き）
70 mm × 44.5 mm × 116 mm

【別売周辺機器】

超指向性マイクロホン
AG-MC100G

バッテリー
VW-VBD35（2700 mAh）
VW-VBD55（5400 mAh：付属のバッテリーと同等品）

クリーニングテープ
AY-DVMCL

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

Memo

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください

松下電器産業株式会社　システム事業グループ

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　☎（06）6901− 1161

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）All Rights Reserved.

T